



第3期 南幌町 社会教育中期推進計画

ともに学び、ともに考え、
ともに実践する地域社会を目指して
～未来につながるレインボープラン～

2017～2021
南幌町教育委員会

はじめに

全国的な人口減少や超高齢化という大きな課題に直面している昨今、全ての人が安心して暮らし続けるためには、地域の特性を活かした持続的な社会を創造することが必要です。

教育分野においても、人間関係の稀薄化や地域における地縁的なつながりの稀薄化などにより、地域社会や家庭における教育力の低下が問題視され、学校教育並びに社会教育が果たす役割は、益々重要となっています。

本町においては、生涯学習センター、町民プールの新設など教育環境が充実する中、個人の要望に応じた学習活動の充実と家庭教育や地域づくりなど社会の要請に対応した社会教育の充実が望まれるところです。

「第3期社会教育中期推進計画」は、人口減少や少子高齢化、子ども達を巡る諸問題などの課題があっても、住み慣れた地域で、健康で安心して暮らせる環境を創り出すことが重要であるとの答申の趣旨を尊重し策定しました。

今後、5年間、この中期計画の具現化を図るべく努めてまいりますので、関係機関・団体並びに町民の皆様の深いご理解とご支援、ご協力を心からお願いいたします。

なお、今般の社会教育中期推進計画の策定にあたり、聞き取り調査などにご協力をいただきました皆様や答申をいただきました社会教育審議会委員の皆様にお礼と感謝を申し上げご挨拶とさせていただきます。

平成29年4月

南幌町教育委員会教育長 高山 和己

答申を終えて

平成27年6月、教育委員会より「第3期社会教育中期推進計画」の策定について諮問を受けました。

社会教育審議会では、町民の意見を計画に反映させていくには、どのような方法、手順で策定していくことが良いのかを議論しあい、教育委員会職員からの助言も受け、直接面談をして、意見を聞き取ることが重要との認識に立ち、委員自らが聞き取り調査を実施いたしました。

10代の中・高校生から80代の高齢者まで、文化、スポーツに携わる方や青年団、婦人会、PTAの会員など非常に幅広い世代、分野の皆さん81人の方からの意見をお聴きし、集約を行いました。

聞き取り調査を通じて感じたことは、多くの町民は、人口の減少や少子化の問題などを危惧し、健康に対する関心や情報の共有、世代間や地域での交流を求めているということでした。

約2年間の策定期間でしたが、数多くの会議、聞き取り調査を進める中で、私達委員も地域を知る良い機会となり、今後の社会教育を推進する上での礎となりました。

これからの社会は、情報技術の発達により、社会変化のテンポが速く、予測のつきにくい社会だといわれています。

そのような状況下にあっても、人と人とのつながりを大切にし、健康で安心して暮らせる地域づくりに全町民が関わって下さることを心からご祈念いたします。

結びに聞き取り調査やアンケート調査に関わって頂きました皆様、ご指導いただきました職員の皆様に、心から感謝を申し上げ答申を終えてのご挨拶いたします。

平成29年4月

南幌町社会教育審議会委員長 田中 玲子



目次

第1章 計画の基本的な観点

1. 計画策定の趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
2. 計画の位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
3. 計画策定の方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
 - (1) 現状の把握
 - (2) 計画策定
4. 計画期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

第2章 基本計画

1. 計画の構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
2. 調査の手法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
3. 基本理念・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
4. 重点目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
 - (1) 地域全体で子どもを育てるまちづくり
 - (2) 人と人、地域と地域が交流し、つながりを深めるまちづくり
 - (3) 双方向からの情報発信とそれを共有する仕組みづくり
 - (4) 町民主体の発想から行動へつなげる環境づくり
5. キーワードと視点・方向性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

第3章 推進項目と推進事業

1. 推進項目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
2. 推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
- 推進計画の体系・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
- 用語解説(本文中の※の付いている文言について、解説しています)・・・・15
- 資料編・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
 - ・第3期南幌町社会教育中期推進計画の策定について(諮問)
 - ・第3期南幌町社会教育中期推進計画(案)の答申について
 - ・第3期南幌町社会教育中期推進計画策定経過
 - ・南幌町社会教育審議会委員名簿
 - ・学習活動に関する町民アンケート

第1章 計画の基本的な観点

第1章 計画の基本的な観点

1. 計画策定の趣旨

南幌町の社会教育^{*1}は、毎年策定される単年度計画により推進されてきましたが、中期的な展望に立った計画が必要との観点から、平成17年度に「私らしい暮らしをめざして～夢とちからを育む心豊かな地域づくり～」の理念のもとに「第1期南幌町社会教育中期推進計画」を策定し、各施策に取り組んでまいりました。その後、7年間の推進期間を経て、平成24年度に「ともに学び、ともに考え、ともに実践する地域社会を目指して～未来につながるレインボープラン～」の理念のもとに、「第2期南幌町社会教育中期推進計画」を策定し、4つの重点目標と7つのキャッチフレーズ、視点・方向性を示し、推進してきました。「計画から実践へ」を合言葉に、子育て支援の充実や学社融合の体制整備、ワークショップ^{*2}を取入れた社会教育活動への住民参加などを重点的に実施し、一定の成果が表れています。

一方、情報発信や町民と行政が協働して課題を解決するなどの視点・方向性に向けた施策が、十分に生かされていないという課題も垣間見えてきました。

そこで、これまでに南幌町社会教育審議会^{*3}における「第2期南幌町社会教育中期推進計画」の視点・方向性の評価や時代の潮流を踏まえ、人口減少や少子高齢化、子ども達を巡る諸問題など、多くの課題を抱える地域社会の中にあっても、住み慣れた地域で、健康で安心して生きがいをもって、暮らせる環境をつくり出すことのできる社会教育推進の基本として、「第3期南幌町社会教育中期推進計画」を策定しました。

2. 計画の位置づけ

これまで、南幌町のまちづくりは、第5期南幌町総合計画によって推進してきました。

教育行政においても、総合計画と連動し、「地域に根ざした教育と文化の高いまちづくり」を基本政策とし推進してきました。

第5期南幌町総合計画の期間が平成28年度をもって終了し、新たに第6期南幌町総合計画が策定されることから、総合計画における基本政策を踏まえた計画とします。

また、南幌町教育大綱^{*4}の基本方針、主要施策、更に南幌町生涯学習推進基本構想^{*5}の推進項目も踏まえた計画とします。

3. 計画策定の方法

(1) 現状の把握

- ①第2期南幌町社会教育中期推進計画の施策評価（南幌町社会教育審議会）
- ②聞き取り調査（ワークショップ）
- ③生涯学習アンケート

(2) 計画策定

- ①南幌町社会教育審議会における協議
 - ・現状把握から得た町民ニーズ・課題の分析
 - ・新たな視点・方向性の検討
 - ・具体的な推進施策の検討

4. 計画期間

平成29年度から平成33年度までの5年間

第2章 基本計画

第2章 基本計画

1. 計画の構成

「第3期南幌町社会教育中期推進計画」は、基本理念、重点目標、キーワード、視点・方向性、推進項目、推進事業により構成しています。

基本理念、重点目標、キーワードについては、前計画の策定時から短期間であることや大きな状況変化がないなどの社会教育審議会の意見を踏まえ、前計画を継続して推進します。

キーワードに基づく視点・方向性については、聞き取り調査の意見などを踏まえ、見直すと共に、推進項目と主な推進事業を追加し構成しています。

重点目標とキーワード、視点・方向性とは並列するのではなく、多岐にわたって繋がりが、更に推進項目と推進事業とも繋がる構成としています。

2. 調査の手法

計画の策定にあたっては、基本となる町民の意見・要望を十分に反映させるべく、前計画の調査方法と同様、聞き取り調査を実施しました。

聞き取った項目をもとに社会教育審議会で議論を重ね、新たな視点・方向性と推進項目、推進事業に反映しています。

3. 基本理念

基本理念については、前計画の策定において共通していた「人とのつながり」「地域での交流」「双方向の情報」「住民と行政の協働」といった町民の声を大切に、「ともに学び、ともに考え、ともに実践する地域社会を目指して～未来につながるレインボープラン～」を継続します。

4. 重点目標

4つの重点目標については、前計画の聞き取り調査の基礎資料から、現状把握と課題・問題点の整理を行い、社会教育審議会での議論を進める中で、住民のニーズが高く、計画を推進する上で重要な考え方であることから継続して推進します。

また、重点目標は、キーワード、視点・方向性、推進項目の基本となる目標であり、基本理念の達成に向けた指標として位置づけています。

重点目標 1 地域全体で子どもを育てるまちづくり

子どもは地域の宝であり、町の発展を支える貴重な人材であります。

子ども達を地域全体で守り育てる環境を整えるには、家庭・地域・学校が情報の共有とお互いのニーズを把握し、良きパートナーとして、連携・協働することが重要です。

また、すべての教育の出発点である「家庭教育」を、地域全体で支援する必要性にどう取り組むかが重要です。

地域の人材や教育資源^{**6}を活用し、住民の知恵や技術、経験などを子育てや家庭教育支援に活かし、地域全体で子どもを見守り育てる環境づくりに努めます。



重点目標 2 人と人、地域と地域が交流し、つながりを深めるまちづくり



人口が減少する中であっても、住み慣れた地域で、健康で安心して、生きがいをもって暮らすことはみんなの願いです。

そのためには人と人が交流し、地域に愛着をもって、様々な活動に積極的に参加できる環境をつくることが重要です。スポーツや芸術文化、子育て、趣味など

を通して、世代間、地域間で交流する環境づくりに努めます。

また、社会教育施設^{**7}を中心に、誰もが気軽に立ち寄り交流や活動ができ、「つながり」を生み出す場の充実に努めます。

重点目標 3 双方向からの情報発信とそれを共有する仕組みづくり

インターネットの普及や様々な情報メディアの発達で、私たちを取り巻く生活環境にも大きな変化をもたらしています。

情報とは人と人をつなぐ手段であることから、一方からの情報提供だけでなく、人と人とのつながりを生み出し、自発的な行動につなげていくための情報を発信していくことが重要です。

様々な媒体を有効活用しながら、住民と行政が互いに情報を発信し、それらを共有する仕組みづくりに努めます。



重点目標 4 町民主体の発想から行動へつなげる環境づくり



社会教育を推進していく上で、町民が自主的に参画し、学んだ成果を主体的に行動へ繋げることが重要であり、個人の要望と社会の要請に応じて、町民誰もが社会教育に参画できる場が必要です。

様々な社会教育の場面で、町民と行政の話し合いの場を持ち、役割と責任を分担しながら、共通の課題や目標を見つけ、協働で課題解決や目標を達成する仕組みづくりに努めます。

5. キーワードと視点・方向性

聞き取り調査からの町民の声を社会教育審議会でもとめ、問題点や課題を解決するための方向性を示したのが視点・方向性です。

視点・方向性は基本理念、重点目標と推進項目、推進事業をつなぐもので、それぞれの推進項目が、目標に沿って進んでいるかを確認する役割も果たしています。

視点・方向性は領域や発達段階に分類せず、それぞれの推進項目と多岐にわたり結びつく指針となるものです。

また、視点・方向性がイメージしやすいように、キーワードとキャッチフレーズで表しています。



Key Word 1 家庭教育

キャッチフレーズ 全ての基本は家庭から

【視点・方向性】

家庭の教育力の向上を目指し、地域全体で子育て、家庭教育を支援する環境をつくる。

【現状と課題】

家庭は、全ての教育の出発点であり、子どもの基本的な生活習慣や学習習慣を身に付けるなど、人間形成を育む極めて重要な場です。

今日、核家族化や地縁的なつながりの稀薄化等により、子育ての知恵を学んだり、助け合う機会が少なくなる孤立化が問題視されています。

すべての親が安心して子どもを育て、家庭教育を行うことができるよう、地域全体で家庭教育を応援する必要性にどう取り組むかが課題です。



Key Word 2 学社融合^{※8}

キャッチ フレーズ 考えよう! 高めよう! なんぼろの教育力

【視点・方向性】

学校と地域の抱える課題や役割を認識し、お互いがパートナーとして連携・協働する環境をつくる。

【現状と課題】

学校教育においては、地域の宝である子ども達が健やかに成長することができるよう、「生きる力」^{※9}を育てるために、学校と家庭、地域が一体となった教育活動を目指していくことが求められています。

一方、保護者や地域からは、子ども達の社会教育活動に対する学校の協力や連携が求められています。

「地域とともに子ども達を守り育てる」環境整備を行うためには、学校教育と社会教育が抱える課題や役割を明らかにし、課題解決のための情報の共有やお互いのニーズを把握し、良きパートナーとして連携・協働する環境をつくることが課題です。

Key Word 3 意識・行動への働きかけ

キャッチ フレーズ あなたにも出来る! 一歩踏み出すまちづくり

【視点・方向性】

社会教育に関する情報を収集・分析し、発信することで活動に関わるための環境をつくる。

【現状と課題】

人口の減少が進む中であっても、住み慣れた地域で、健康で安心して、生きがいをもって暮らすことのできる環境を創りだしていくことが大切です。

そのためには、地域に強い愛着をもって、様々な活動に積極的に参加することのできる地域づくりを進める必要があります。

多くの町民がつながりをもって、個々人の知識と経験をもとに持続可能な社会^{※10}を形成していくために、社会教育に関わる情報を収集・分析し、活動に関わっていくための環境をつくり、まちづくりの継続・発展につなげていくことが課題です。

Key Word 4 体験・経験

キャッチ
フレーズ 行ってみよう! 見てみよう! やってみよう!

【視点・方向性】

生涯を通じて、スポーツや芸術、文化に触れる機会や学ぶ機会の充実を目指し、まちの教育資源の活用を図る。

【現状と課題】

若者たちは豊かな心と健やかな体の育成を求め、また、自由時間が増大した高齢者層は心の豊かさや生きがいを求めて、新たな知識や技術を習得しようとするニーズが高まっています。

「いつでも、どこでも、何でも」といった学習への要求に応えるために、まちに存在する教育資源を活用し、学びの機会を提供すると共に、年齢・体力・技術に適したスポーツ活動を体験する機会や、優れた芸術文化に触れる機会を充実することが課題です。



Key Word 5 つながり

キャッチ
フレーズ 学びとつながりを生み出す拠点づくり

【視点・方向性】

つながりを生み出す、社会教育活動の拠点となる場を充実する。

【現状と課題】

本町の社会教育活動を歴史的にみると、子ども会や青年団、婦人会等の地縁組織といった地域コミュニティによって事業が展開され、町民と行政をつなぐ中間的な組織として、地域の課題を解決するなどの役割を果たしてきました。

しかし、個々人の価値観やライフスタイルの多様化等によって、地域における人のつながりや連帯感、支え合いの意識が変化し、組織に対する考えも様々になってきています。

多様化したニーズに応えるためには、目的やテーマをもとに、新たな学びによってつながりを生み出す拠点となる場を充実し、人と人、団体と団体、学校と地域といったつながりを再構築することが課題です。

Key Word 6 担い手づくり

キャッチ
フレーズ 活かそうその知恵! その技! その経験を!

【視点・方向性】

学校や地域が求める人材を発掘し、担い手を育てる。

社会教育活動に多くの市民の知恵や経験、技術を活かし、活躍する場を拡充する。

【現状と課題】

社会教育関係団体の多くは、高齢化や少子化により、会員の減少や役員の成り手がなく後継者が不足し、組織の維持までもが大変困難な状況にあります。

「まちづくりは人づくり」と言われるように、人材の育成やリーダーの養成はまちづくりの重要な要素であり、団体を維持し地域活動を活性化していくためには、常に新たな人材の発掘や育成が必要です。

そのため、学校や地域の求めに応じた知恵や経験、技術を持った潜在する人材を発掘し、担い手として育てることが課題です。

Key Word 7 参画と協働

キャッチ
フレーズ 一緒に考え! 一緒に行動!

【視点・方向性】

誰もが社会教育活動に参画し、協働できる環境をつくる。

【現状と課題】

社会教育では、社会教育審議会やスポーツ推進委員、社会教育関係団体等の活動の場において、広く町民の意見を求める場面をつくり、また、実行委員会や運営委員会を組織するなど、町民が参画する機会をつくり、協働して事業に取り組んできました。

これまでの取組みを更に充実していくには、あらゆる機会を活用し、誰もが社会教育活動に参画し、協働できる環境を拡充していくことが課題です。

第3章 推進項目と推進事業

第3章 推進項目と推進事業

1. 推進項目

推進項目は、社会教育が進めている施策の根幹となるものです。

前計画では、基本理念、重点目標に対するキーワード、視点・方向性のみを示し、それに連動する具体的な推進項目については言及しませんでした。

その考え方として、1つの重点目標を達成するには、複数の視点・方向性をもって推進するという観点と、それに連動する施策についても、複数存在するといった観点から計画に明示しませんでした。

その考え方は継続しますが、社会教育の推進する施策をより明確にし、基本理念、重点目標、視点・方向性への評価に繋げるため、「第3期南幌町社会教育中期推進計画」においては、推進項目を計画に位置づけます。

2. 推進事業

推進事業は、推進項目に沿って実施する具体的な施策で、基本理念、重点目標、視点・方向性を達成するための手段として、主なものを示しています。時代の潮流や町民の意見・要望を参酌し、社会教育審議会での評価等を踏まえ、必要に応じて新たな事業の取組みや見直しなどを行っていきます。

推進項目 子育て・家庭教育の支援

【主な推進事業】

- 子育て支援事業
 - ・子育て支援交流事業（すくすく広場、子育てメソッド等）
 - ・ブックスタート^{※11}事業
 - ・子育て支援ネットワーク会議
- 家庭教育支援事業
 - ・親学講座^{※12}（幼稚園、小学校、中学校等）
 - ・学びカフェ^{※13}（生涯学習センター）
 - ・家庭教育ナビゲーター^{※14}の養成



推進項目 青少年健全育成の推進

【主な推進事業】

- 青少年健全育成事業
 - ・放課後子どもプラン推進事業（あそびの達人教室・MANABI家等）
 - ・青少年健全育成協議会（健全育成を考える集い等）
 - ・子ども会育成連絡協議会支援事業（たくみ祭、自然体験等）



推進項目 社会教育活動の推進

【主な推進事業】

- 成人教育推進事業
 - ・ふるさと南幌みらい塾運営事業（生涯学習講座）
 - ・さわやかカレッジ運営事業（高齢者大学）
- 地域活動活性化事業
 - ・地域ボランティア推進事業（学校支援地域本部、生涯学習サポーター制度等）
 - ・社会教育関係団体支援事業（PTA・青年団体協議会等）

推進項目 スポーツ・レクリエーション活動の推進

【主な推進事業】

- スポーツコミュニティ推進事業
 - ・各種スポーツ大会（ソフトボール大会、ミニバレーボール大会等）
 - ・社会体育関係団体支援事業（体育協会）
- 健康づくり・体力向上推進事業
 - ・スポーツ教室（町民歩こう会、新体力テスト会、フィットネス教室、スイミングスクール、アクアエクササイズ等）
- 子ども体力向上推進事業
 - ・スポーツ教室（キッズ教室、キッズ水泳教室、スキー教室、夏休み水泳教室、スイミングスクール、ジュニア教室等）
 - ・スポーツ少年団支援事業



推進項目 芸術・文化活動の推進

【主な推進事業】

- 芸術文化推進事業
 - ・芸術鑑賞事業（幼児・児童・一般・近隣市町等、映画鑑賞）
 - ・美術鑑賞事業（絵画・書道・写真等の展示）
 - ・文化事業（書初め大会、音楽祭等発表会）
 - ・文化団体の支援（文化協会等）

推進項目 ふるさとの記憶の保全

【主な推進事業】

- ふるさとの記憶保全事業
 - ・町の歴史や生活文化の資料、生活用具等の収集・保管・展示（特別展、歴史探検ツアー等の実施）
 - ・郷土芸能の伝承（南幌音頭、南幌太鼓、なんぼろ俵積み唄）

推進項目 読書活動の推進

【主な推進事業】

- 読書活動推進事業
 - ・生涯学習センター図書室の充実（蔵書の充実、夜間開館等）
 - ・読み聞かせ事業（図書室、保育所、幼稚園、小学校等）
 - ・図書室の蔵書の配本（学校、公共施設等）
- 子どもの読書活動推進事業
 - ・ブックスタート、ブックスタートプラス^{※15}事業
 - ・家読、朝読^{※16}の奨励
 - ・一日司書体験、読書通帳の発行等

推進項目 生涯学習^{※17}の推進

【主な推進事業】

- 生涯学習推進事業
 - ・生涯学習推進基本構想の推進
 - ・生涯学習推進アドバイザーの設置

推進項目 社会教育関係施設の充実

【主な推進事業】

- 生涯学習センターの充実
- スポーツセンター・町民プールの充実
- 社会教育関係施設の充実
 - ・農村環境改善センター
 - ・町営野球場
 - ・三重レークハウス
 - ・陶芸室（保健福祉総合センター）

推進計画の体系

用語解説

用語解説

1. 社会教育

学校の教育課程として行われている教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動（体育及びレクリエーションの活動を含む）を言う。（社会教育法抜粋）

2. ワークショップ

多くの当事者が集まって、自由に意見を出し合い、互いの考えを尊重しながら意見や提案をまとめあげていく合意形成の手法。

3. 南幌町社会教育審議会

12名の委員で構成され、社会教育に関する諸計画の立案、教育委員会の諮問に応じて必要な研究調査を行うなどの役割を担う。社会教育中期推進計画においては、教育委員会より諮問を受け、聞き取り調査や生涯学習アンケートなどの研究調査を経て答申を行っている。

4. 南幌町教育大綱

南幌町の教育・学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定めるもの。「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」により、総合教育会議において、首長と教育委員会が協議・調整を図り、首長が教育大綱を定めることとなった。

5. 南幌町生涯学習推進基本構想

平成28年2月に町長を本部長として設置された南幌町生涯学習推進本部において、行政内の生涯学習における情報共有や連携・協力をより一層推進し、南幌らしい生涯学習の推進に向けた基本的な考え方を示めたもの。

6. 教育資源

地域資源としてとらえられている自然資源や人的な資源（人材）のうち、教育に活用可能なもの。

7. 社会教育施設

家庭や学校以外で児童から青年、成人、高齢者に至るまで、全ての年齢の人たちに、学習や研修、スポーツや趣味に興じたり、楽しむ機会を提供することができる生涯学習のための施設のこと。

8. 学社融合

学校教育と社会教育がそれぞれの役割分担を前提とした上で、そこから一步進んで、学習の場や活動など両者の要素を部分的に重ね合わせながら一体となって子ども達の教育に取り組んでいこうという考え方。

9. 生きる力

変化の激しいこれからの社会を生きるために、子ども達が育むべき力。「確かな学力」「豊かな人間性」「健康・体力」の知・徳・体の力をバランスよく育てることが大切であるとされている。

10. 持続可能な社会

人類が生存する基盤の環境と、社会経済活動が両立した社会のことであり、自然保護の活動やリサイクル・エコ活動などは持続可能な社会を目指した取組みの一例である。

11. ブックスタート

乳幼児健診などの機会に図書館司書が赤ちゃんと絵本を開くことの大切さや楽しさを保護者に伝えながら「絵本」や「読み聞かせのアドバイス集」が入ったブックスタート・パックを無料で手渡しする事業。本町では7ヶ月健診の際に実施している。

12. 親学講座

多くの親が集まる場を活用して、家庭の教育力向上を目的とし、家庭教育に関する知識の習得や課題の共有、情報を提供する講座。

13. 学びカフェ

都市化や核家族化による人間関係の希薄化などから、子育てに関する相談や、子育て中の親同士が直接育児やしつけについて語ったり、学びあったりする場。

14. 家庭教育ナビゲーター

子育てサークルや読み聞かせグループなど、概ね幼児から小学生程度の子どもを持つ保護者とその子どもとの接点が多い団体を中心に、様々な保護者が家庭教育や子育てに関する学習相談を日常的に得られるように、相互学習を促進する人材。

15. ブックスタートプラス

ブックスタートで芽生えた読書のきっかけづくりを更に広める事業。保護者らの読み聞かせから子ども自身が読書に親しむためのきっかけづくりとして、図書をプレゼントする事業。

16. 家読・朝読

家族全員で読書し、感想を話し合うことで「家族のコミュニケーション」を深めることを目的にした読書運動及び、小・中学校などにおいて、始業時間前に10分程度の読書の時間を設け、読書を習慣づける活動。

17. 生涯学習

人が生涯にわたり学び・学習の活動を続けていくこと。

人々が自己の充実・啓発や生活の向上のために、自発的意思に基づいて行うことを基本とし、必要に応じて自己に適した手段・方法を自ら選んで生涯を通じて行う学習。

資料編

南 教 生 社 号
平成27年 6月18日

南幌町社会教育審議会委員長

田 中 玲 子 様

南幌町教育委員会委員長

仁 平 良 次

第3期南幌町社会教育中期推進計画の策定について（諮問）

町民のニーズや地域課題に対応した学習機会・学習情報の提供や学習成果の活用等の充実を図るとともに、町民の多様な学習ニーズに対応するため本町の社会教育の指針となる「第3期南幌町社会教育中期推進計画」の策定について諮問いたします。

記

1 諮問理由

現在、南幌町教育委員会では「第5期南幌町総合計画」（平成23年度～平成28年度）におけるまちづくりの基本政策の一つである「地域に根ざした教育と文化の高いまちづくり」を基本として、第2期社会教育中期推進計画（平成24年度～平成28年度）に基づき社会教育の推進に努めております。

今日、少子化や高齢化の急速な進行、情報通信技術の高度化、さらに環境問題など、社会情勢の変化に伴い人々の価値観の多様化が進み、生活環境や生活意識にも大きな影響を与えています。

このような中、生きがいを持ち充実した生活を送るため、町民自らが生涯にわたって学習活動を続け、その成果を生かすことのできる環境を整えることが求められています。

本町においては、本年4月に町民の学びの拠点であります「南幌町生涯学習センターぽろろ」を開設し、町民の自主的な学習活動への支援に努めているところです。また、来年6月には、町民プールを新たなスポーツ活動の拠点として開設するなど社会教育を取り巻く環境が変化しつつあります。

このような背景を踏まえ、町民の学習活動に対する多様なニーズに対応した、本町の社会教育の指針となる「第3期南幌町社会教育中期推進計画」の策定についてご審議を賜りたく諮問いたします。

2 計画策定の観点

- ・南幌町社会教育の現状と課題
- ・社会教育の重点目標

- ・社会教育推進の視点・方向性
- ・社会教育推進の施策

3 計画期間

平成29年度から平成33年度

4 答申期限

平成28年11月中旬

平成28年11月17日

南幌町教育委員会委員長

中 鉢 須美子 様

南幌町社会教育審議会委員長

田 中 玲 子

第3期南幌町社会教育中期推進計画（案）の答申について

平成27年6月18日付けで、南幌町教育委員会より、今日の少子化や高齢化の急速な進行、情報通信技術の高度化、さらに環境問題など、社会情勢の変化に伴い人々の価値観の多様化が進み、生活環境や生活意識にも大きな影響を与えている背景を踏まえ、町民の学習活動に対する多様なニーズに対応した、本町社会教育の指針となる第3期南幌町社会教育中期推進計画の策定について諮問を受けました。

当審議会では、聞き取り調査を中心に多岐にわたる町民の皆様の声をいただき、本町社会教育の現状と課題を踏まえ、慎重に審議した結果、「ともに学び、ともに考え、ともに実践する地域社会を目指して～未来につながるレインボープラン～」とした第2期南幌町社会教育中期推進計画の基本理念と重点目標を継続した上で、人口減少や少子高齢化、子ども達を巡る諸問題など、多くの課題を抱える地域社会の中にあっても、住み慣れた地域で、健康で安心して、生きがいをもって暮らすことのできる環境をつくり出すことを指針とした第3期南幌町社会教育中期推進計画(案)を答申いたします。

また、全国的な子ども達の活字離れや読書に親しむ機会が減少傾向にあることに鑑み、本町の子ども達の読書活動の向上を基本とした、南幌町子どもの読書活動推進計画(案)についても合せて答申いたします。

今後、社会教育を推進するにあたり、本答申の趣旨が十分反映され、まちづくりに寄与することをご期待申し上げます。

第3期南幌町社会教育中期推進計画策定経過

期 日	策 定 経 過
平成27年 6月23日(火)	○第1回南幌町社会審議会 ・第3期南幌町社会教育中期推進計画について教育委員会より社会教育審議会へ諮問 ・第3期南幌町社会教育中期推進計画の策定についての協議
7月17日(金)	○第2回南幌町社会審議会 ・第3期南幌町社会教育中期推進計画策定のための聞き取り調査についての協議
9月 2日(火)	○第1回南幌町社会審議会社会体育部会 ・聞き取り調査 (対象：スポーツ団体)
9月11日(金)	○第1回南幌町社会教育審議会文化部会 ・聞き取り調査 (芸術・文化団体)
9月14日(月)	○第1回南幌町社会教育審議会社会教育部会 ・聞き取り調査 (対象：成人団体)
10月26日(月)	○第2回南幌町社会教育審議会社会教育部会 ・聞き取り調査 (対象：女性団体)
10月28日(水)	○第2回南幌町社会教育審議会社会体育部会 ・聞き取り調査 (対象：スポーツ団体) ○第2回南幌町社会教育審議会文化部会 ・聞き取り調査 (対象：芸術・文化団体)
11月19日(木)	○教育委員・社会教育関係委員合同懇話会 ・第3期南幌町社会教育中期推進計画策定の中間報告
11月30日(月)	○聞き取り調査 (対象：青年団体)
12月25日(金)	○聞き取り調査 (対象：中・高校生)
平成28年	
1月14日(木)	○聞き取り調査 (対象：障害者団体)
1月27日(水)	○聞き取り調査 (対象：高齢者)
1月28日(木)	○聞き取り調査 (対象：高齢者)
2月29日(月)	○第3回南幌町社会審議会 ・聞き取り調査の内容から実施施策 (事業) についての協議
3月29日(月)	○第4回南幌町社会審議会 ・聞き取り調査の内容から実施施策 (事業) についての協議

第3期南幌町社会教育中期推進計画策定経過

期 日	策 定 経 過
平成28年 4月13日(水)	○第1回南幌町社会審議会 ・第3期南幌町社会教育中期推進計画の策定についての新たな視点・方向性の協議
5月23日(月)	○南幌町社会審議会三部会長会議 ・第3期南幌町社会教育中期推進計画の視点・方向性の素案協議
5月30日(月)	○第2回南幌町社会審議会 ・第3期南幌町社会教育中期推進計画の策定についての新たな視点・方向性の協議
7月11日(月)	○第3回南幌町社会審議会 ・第3期南幌町社会教育中期推進計画の策定についての新たな視点・方向性の協議、新たな施策の協議
8月22日(月)	○第4回南幌町社会審議会 ・第3期南幌町社会教育中期推進計画の策定についての新たな視点・方向性に基づいた施策等の協議 ・子どもの読書活動推進計画の協議
9月12日(月)	○第5回南幌町社会審議会 ・第3期南幌町社会教育中期推進計画の策定についての新たな視点・方向性に基づいた施策等の協議 ・子どもの読書活動推進計画の協議
10月24日(月)	○第6回南幌町社会審議会 ・第3期南幌町社会教育中期推進計画(案)の協議 ・子どもの読書活動推進計画(案)の協議
11月17日(月)	○教育委員・社会教育関係委員合同懇話会 ・第3期南幌町社会教育中期推進計画(案)の答申 ・子どもの読書活動推進計画(案)の答申

南幌町社会教育審議会委員名簿（敬称略）

●現委員

	氏 名	備 考
委員長	田 中 玲 子	社会教育関係者（文化団体）
副委員長	小野島 直 彦	社会教育関係者（スポーツ少年団）
副委員長	川 上 裕 一	社会教育関係者（文化団体・PTA）
委 員	山 本 隼	社会教育関係者（青年団体）
	松 岡 宏 之	学校教育関係者（校長会）
	松 島 摩 美	社会教育関係者（家庭教育・PTA）
	西 村 千恵子	社会教育関係者（スポーツ団体）
	相 馬 明 子	社会教育関係者（スポーツ団体）
	角 尚 史	社会教育関係者（スポーツ団体）
	石 川 卓 也	社会教育関係者（文化団体）
	穂 山 直 子	社会教育関係者（文化団体）
	永 岡 真佐子	社会教育関係者（文化団体）

●退任された委員（平成28年3月退任）

	氏 名	備 考
前副委員長	久 保 正 彦	社会教育関係者（スポーツ団体）
前 委 員	山 下 進 一	社会教育関係者（スポーツ団体）
	小野田 佐千恵	社会教育関係者（スポーツ団体）
	新 村 千 晶	社会教育関係者（スポーツ団体）

南幌町教育委員会生涯学習課（社会教育グループ）

職 名	氏 名
生涯学習課長	小 林 史 典
社会教育グループ主幹	浅 野 茂
社会教育グループ主査	鈴 木 潤 也
	三 浦 裕 一
社会教育グループ主任	山 本 恵 偉 子
	須 藤 秀 康
	前 田 洋 佑
社会教育グループ主事	中 嶋 悠 介

学習活動に関する町民アンケート

1 調査の目的

町民の生涯学習に関する意識などについて、基礎データを蓄積して、多様化する各年代層のニーズを把握し、行政が行う事業の検証や新たなニーズに応える施策を立案するための資料とすることを目的に実施する。

2 調査対象

町内在住の満20歳から満79歳までの町民

3 調査方法

調査票によるアンケート形式の調査法

4 調査期間

平成27年9月～12月

5 調査対象者数

306人（人口の5%）

6, 131人（平成27年7月1日現在の20歳から79歳の人口）

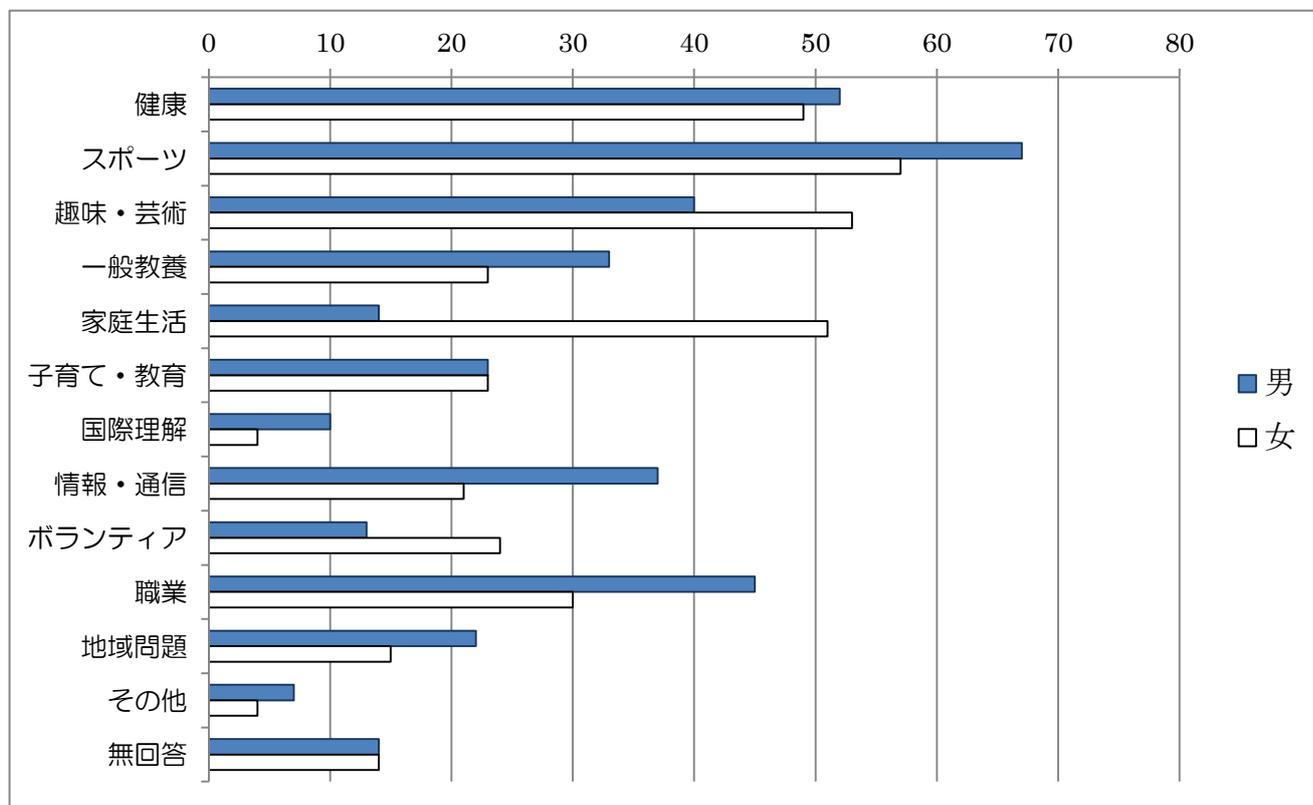
6 調査対象者の内訳

年代	回答者数		
	男性	女性	合計
20	26	25	51
30	25	26	51
40	26	25	51
50	25	26	51
60	26	25	51
70	25	26	51
合計	153	153	306

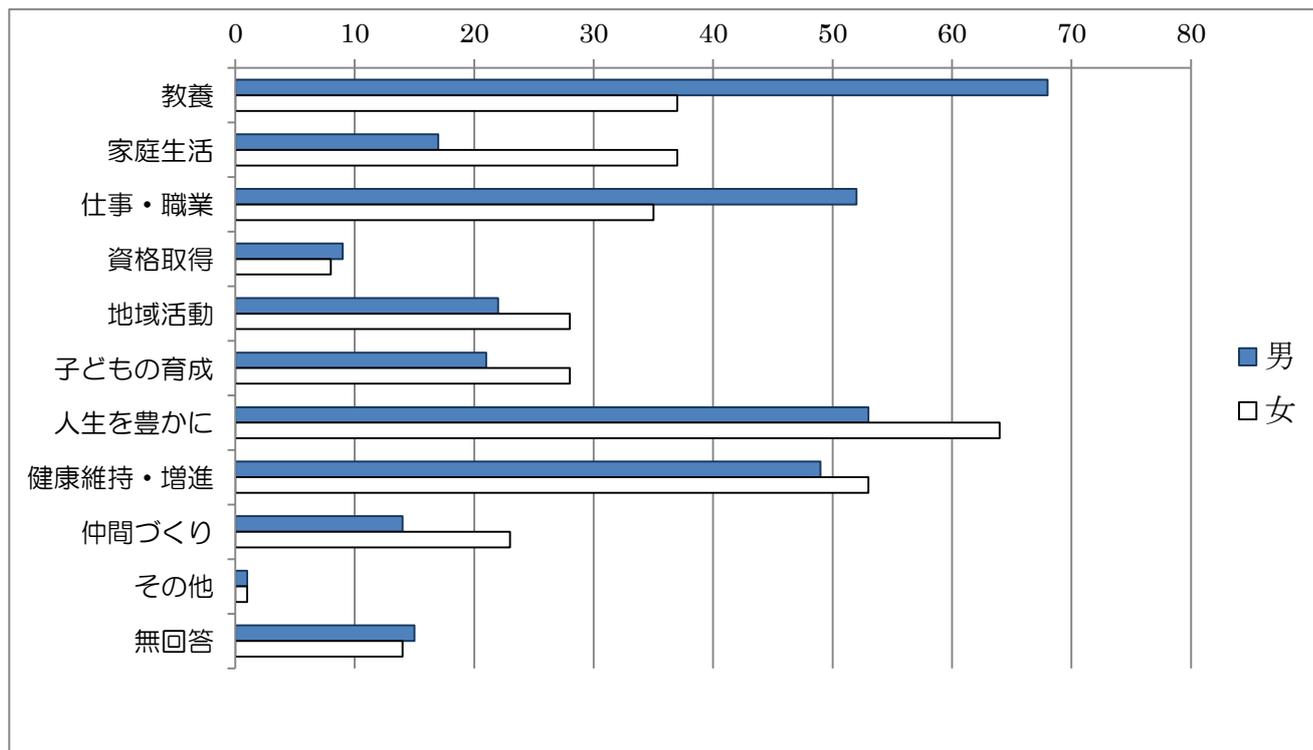
学習活動に関する町民アンケート（全体）

【回答者 男性 153名 女性 153名（合計 306名）】

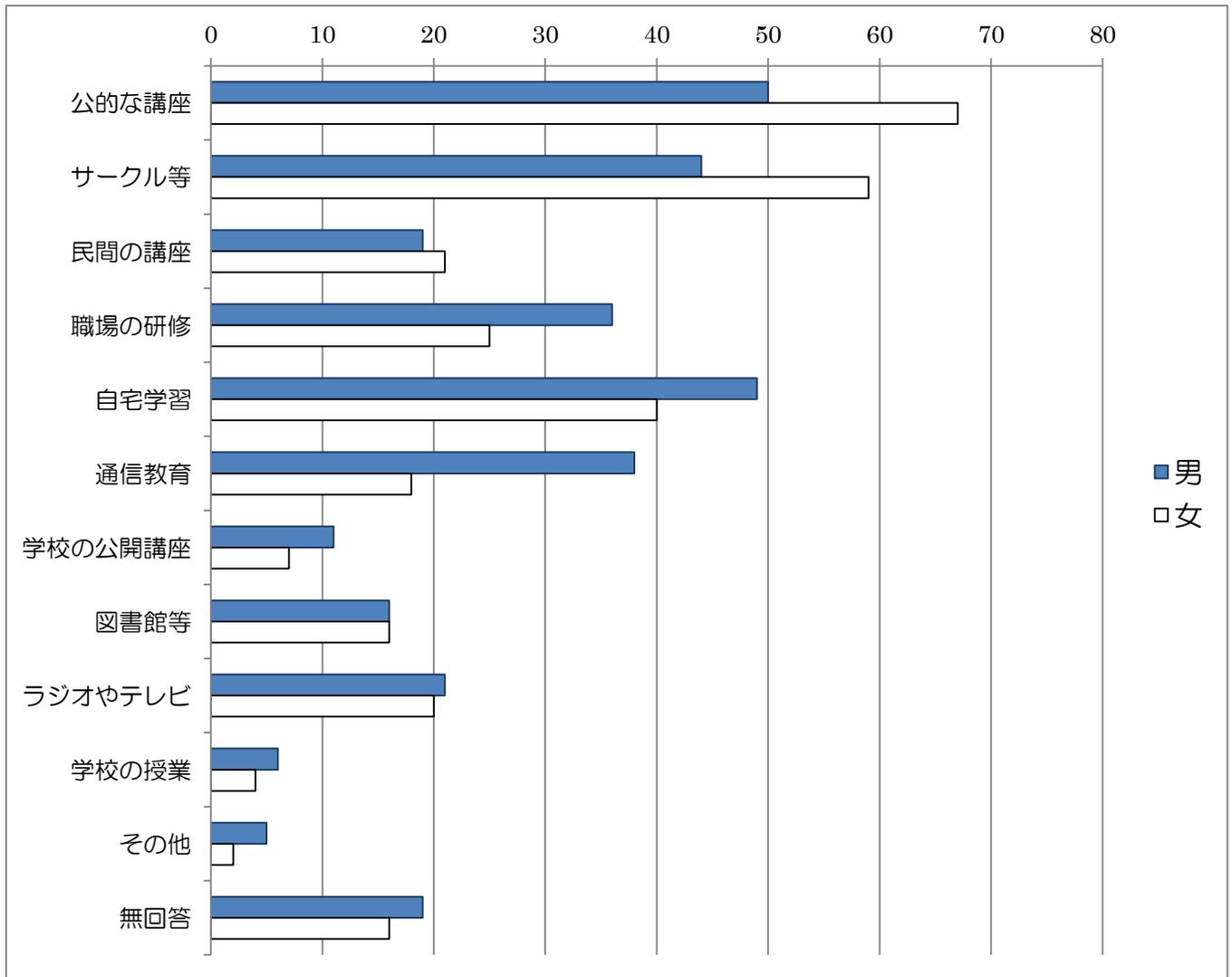
Q. あなたは、この一年くらいの間に行った学習活動について、次の中からあてはまるものを選びください。（複数回答可）



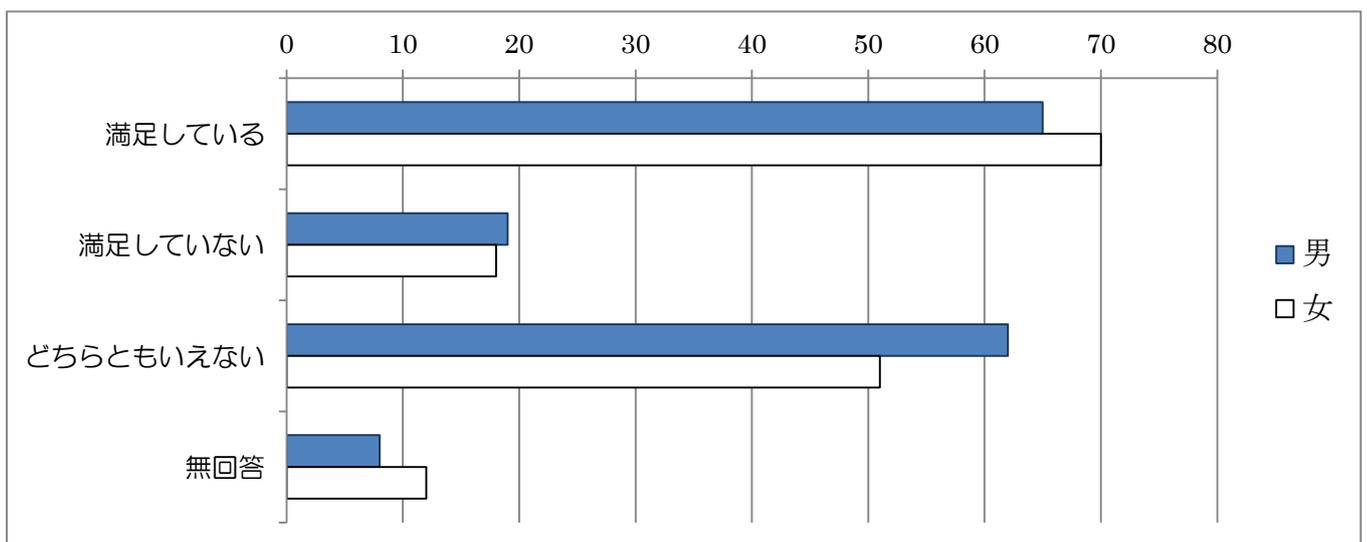
Q. あなたが、その学習活動を行っている理由は何ですか（3つまで）



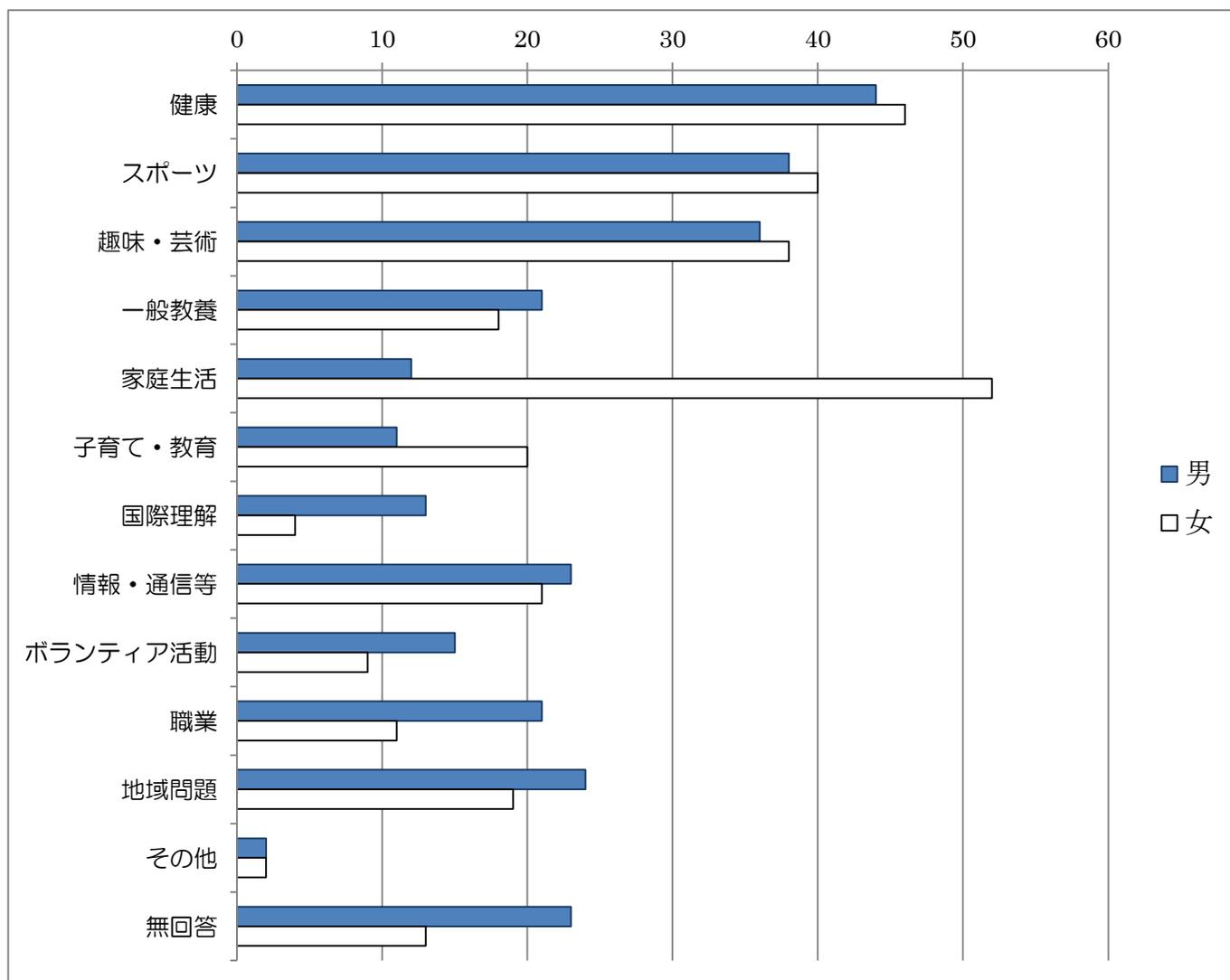
Q. あなたは、その学習活動をどのような場所や形態で行いましたか。次の中からあてはまるものをいくつでもお選びください。



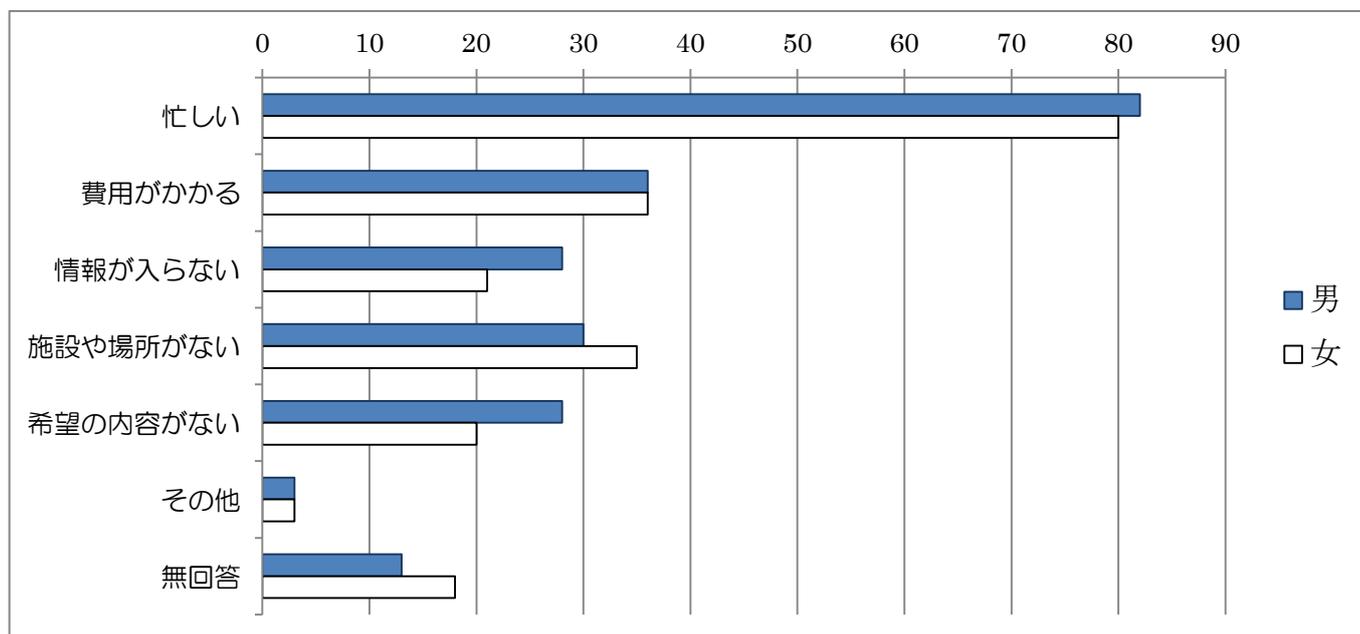
Q. あなたは、今の学習活動に満足していますか。



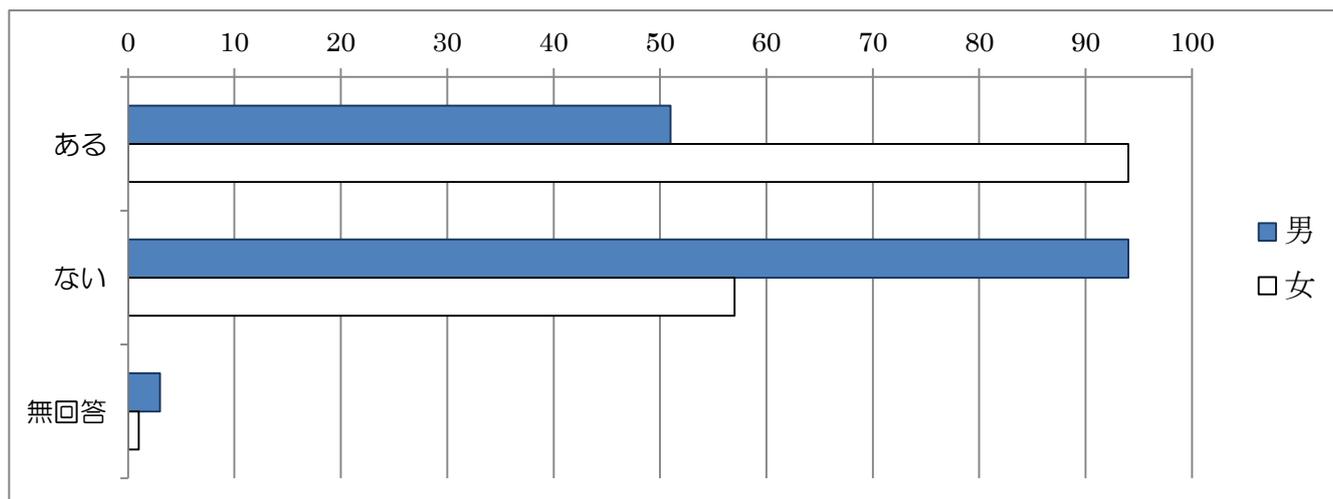
Q. 今行っている学習活動以外で、今後どんな学習活動を希望しますか（3つまで）



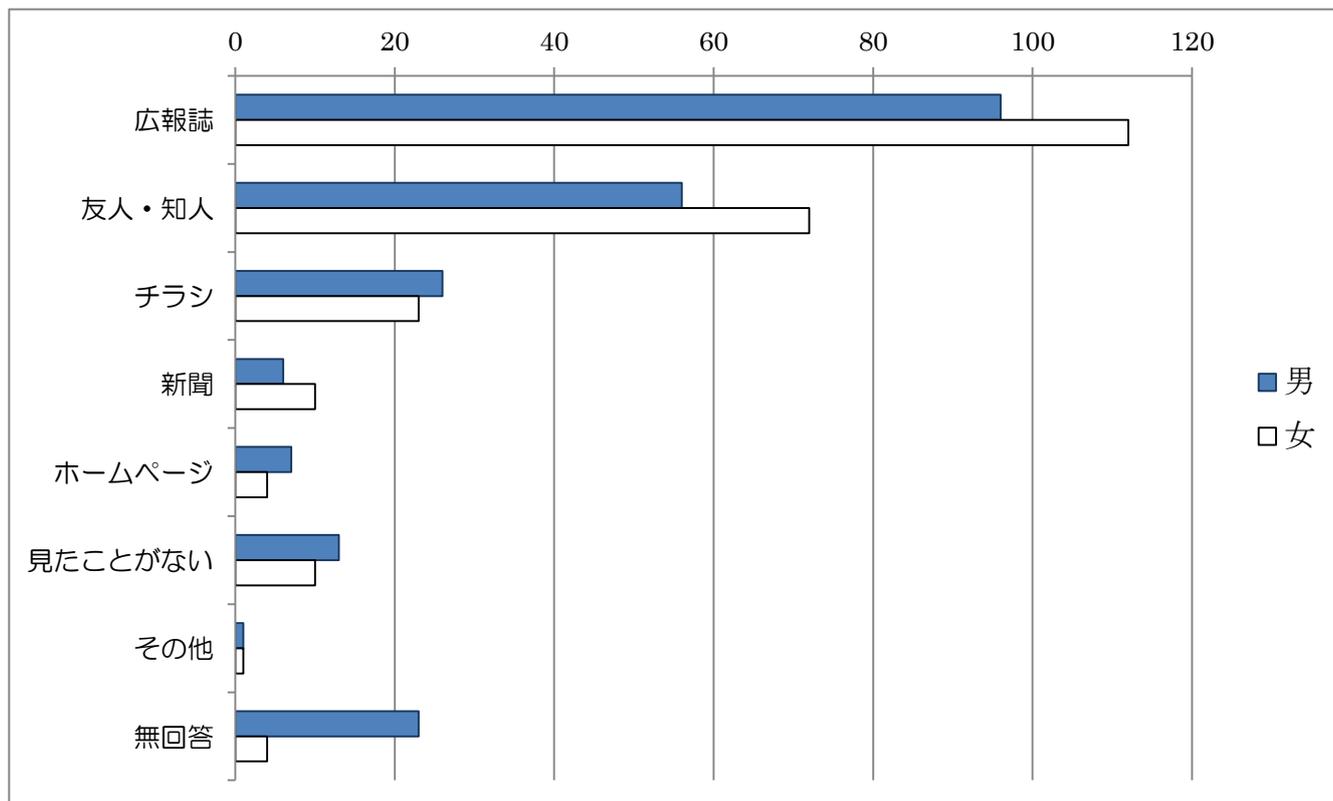
Q. あなたが学習活動を行うのに困ることがありますか（3つまで）



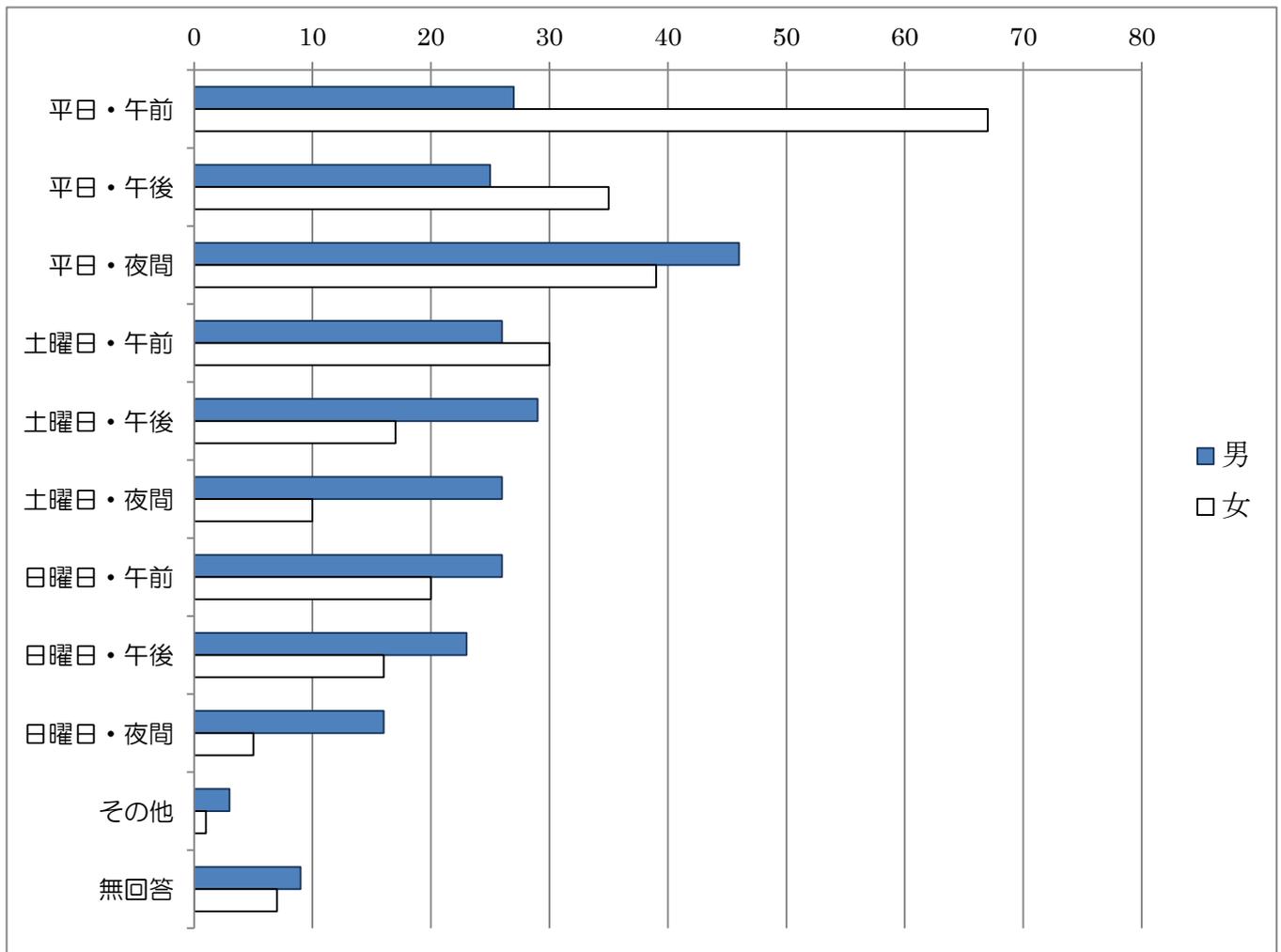
Q. 町が主催する教室や講座に参加したことがありますか



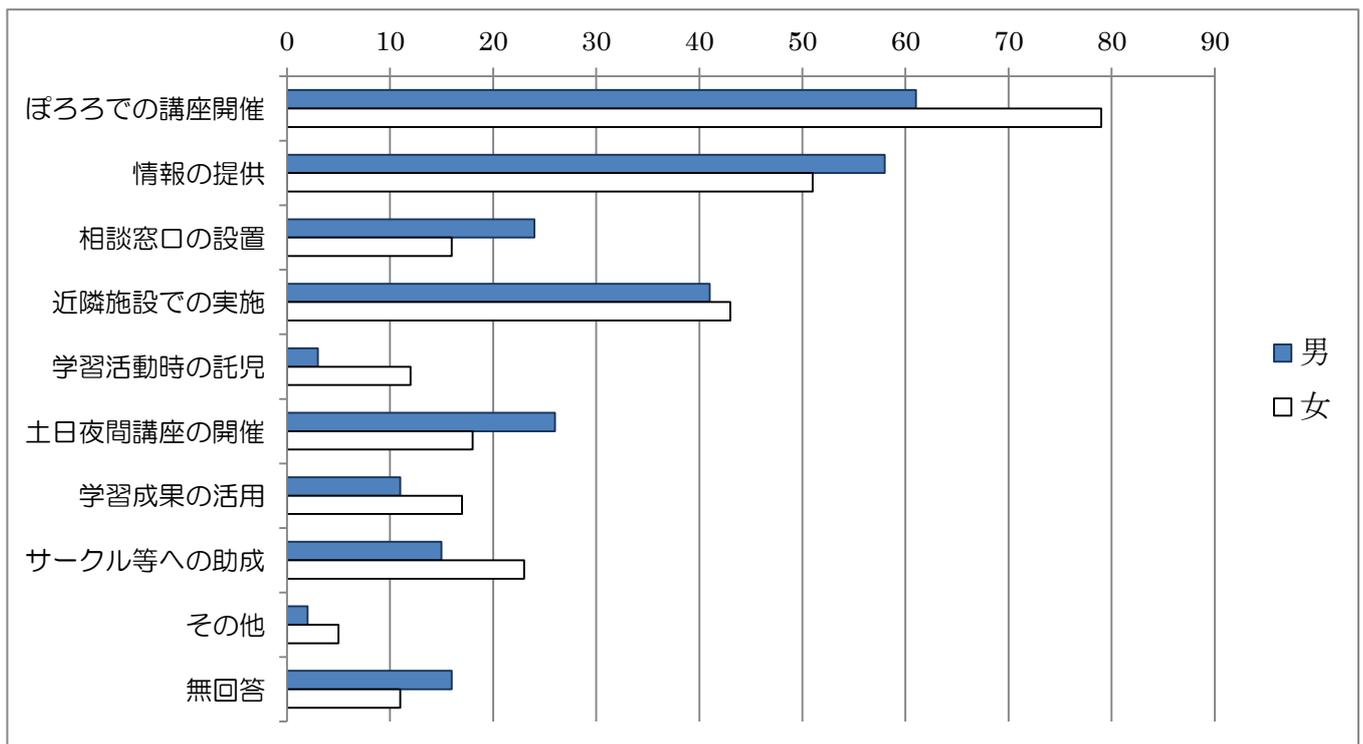
Q. 町が主催する教室や講座を何で知りましたか（3つまで）



Q. あなたが学習活動をするのに、都合のよい曜日と時間帯はいつですか（3つまで）



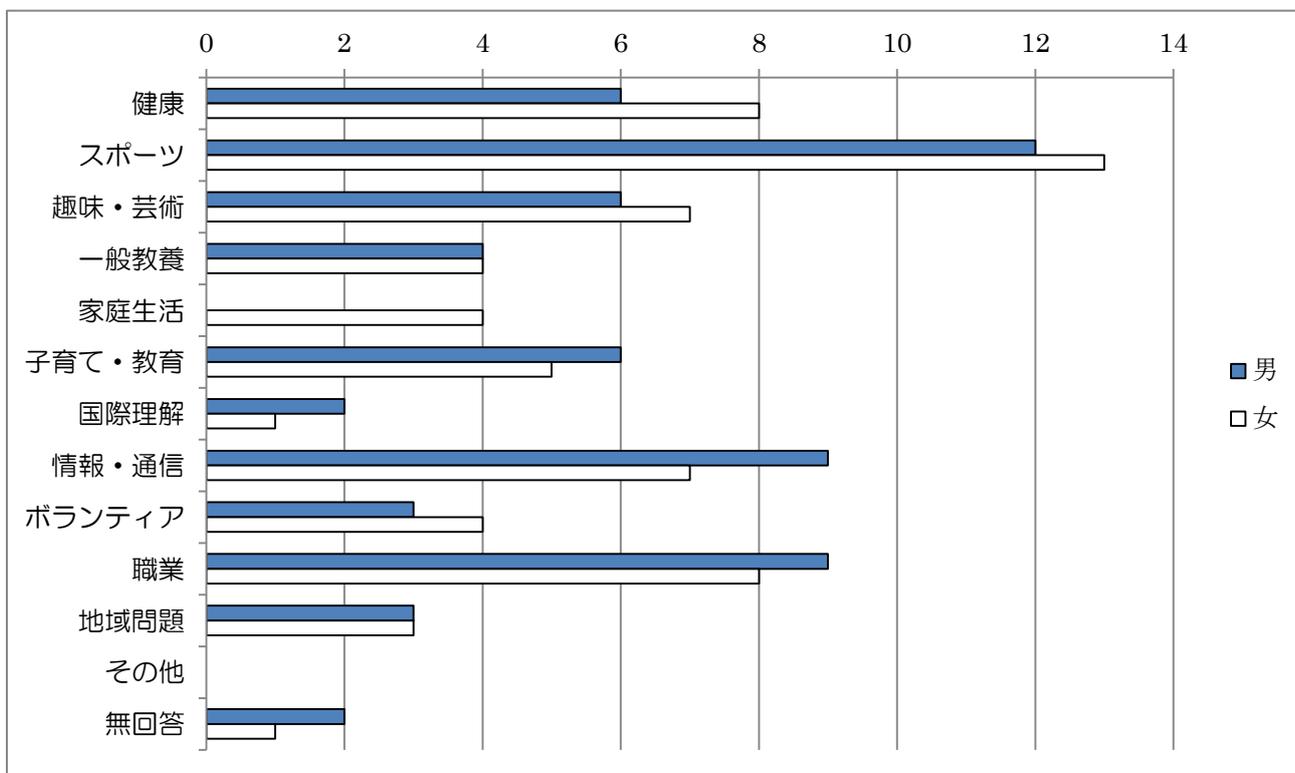
Q. あなたが学習活動をするとしたら、どのようなことを望みますか（3つまで）



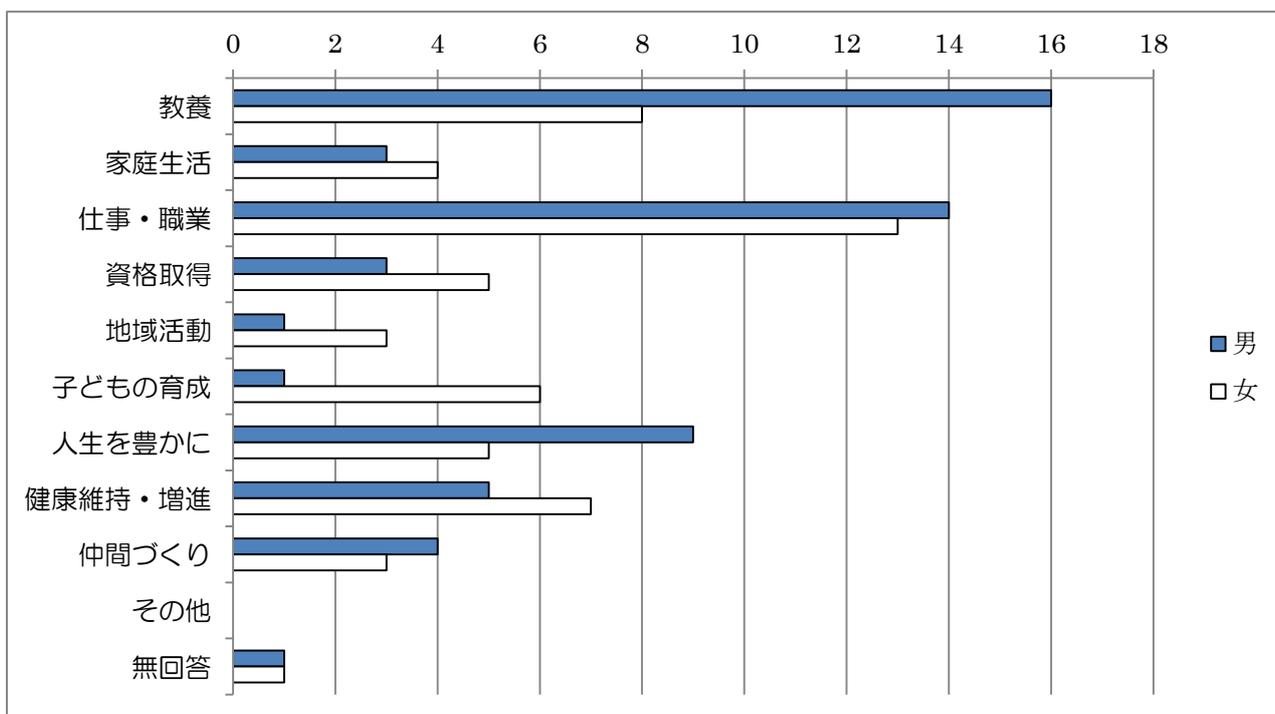
学習活動に関する町民アンケート（20代）

【回答者 男性 26名 女性 25名（合計 51名）】

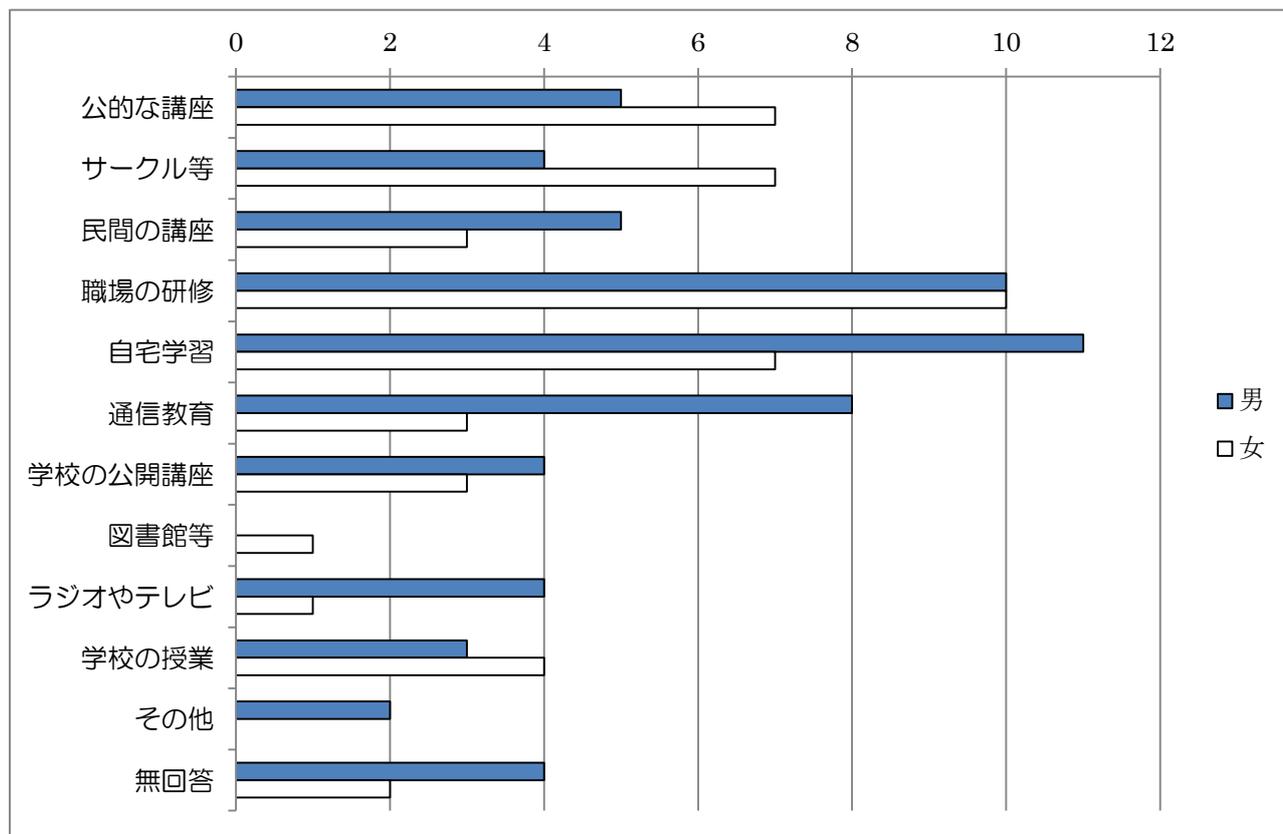
Q. あなたは、この一年くらいの間に行った学習活動について、次の中からあてはまるものを選びください。（複数回答可）



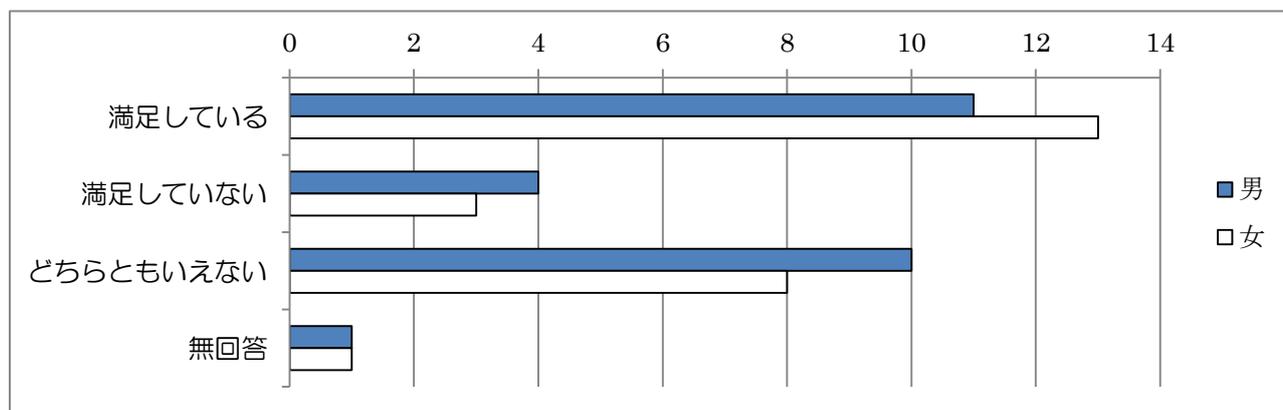
Q. あなたが、その学習活動を行っている理由は何ですか（3つまで）



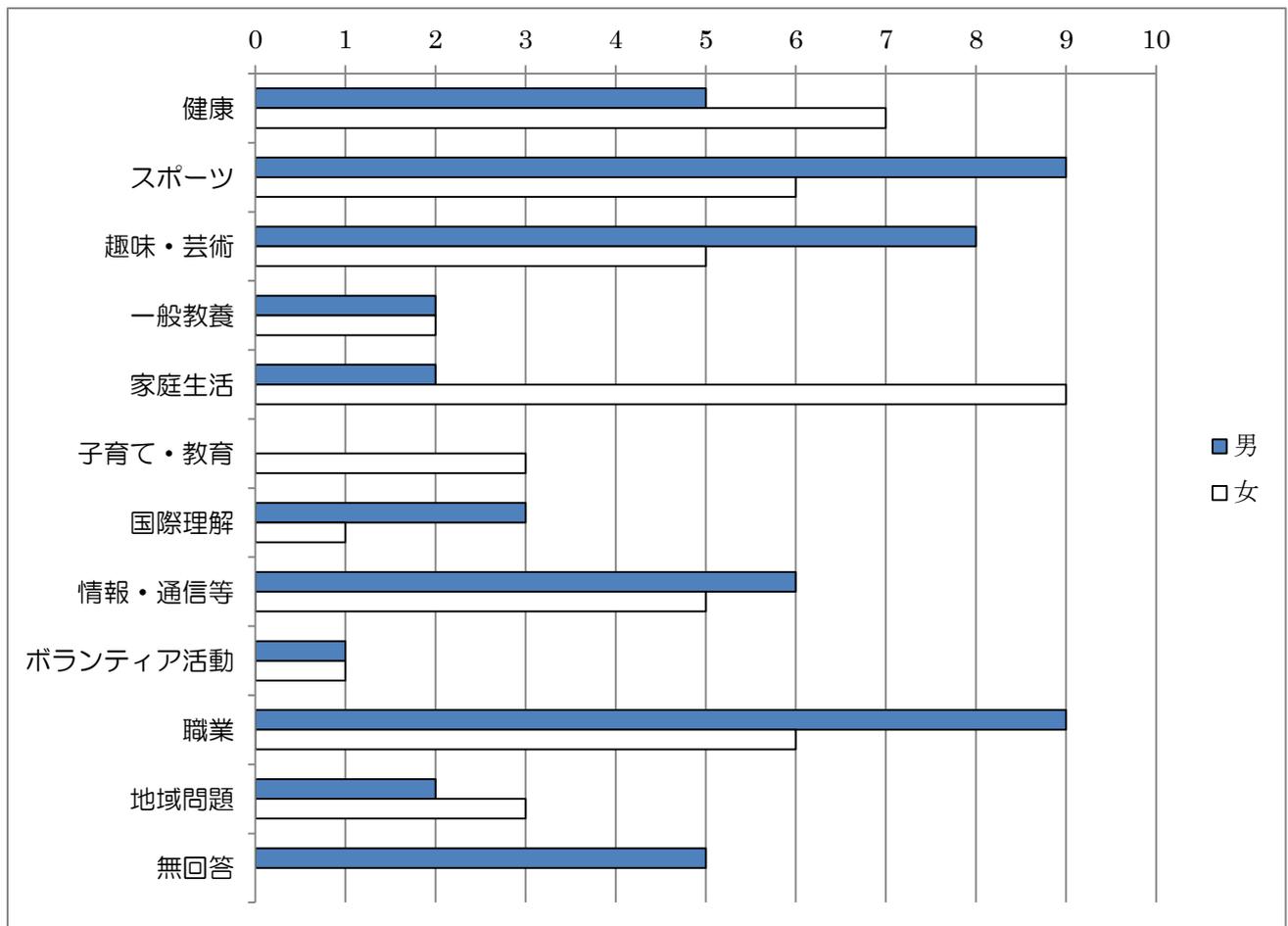
Q. あなたは、その学習活動をどのような場所や形態で行いましたか。次の中からあてはまるものをいくつでもお選びください。



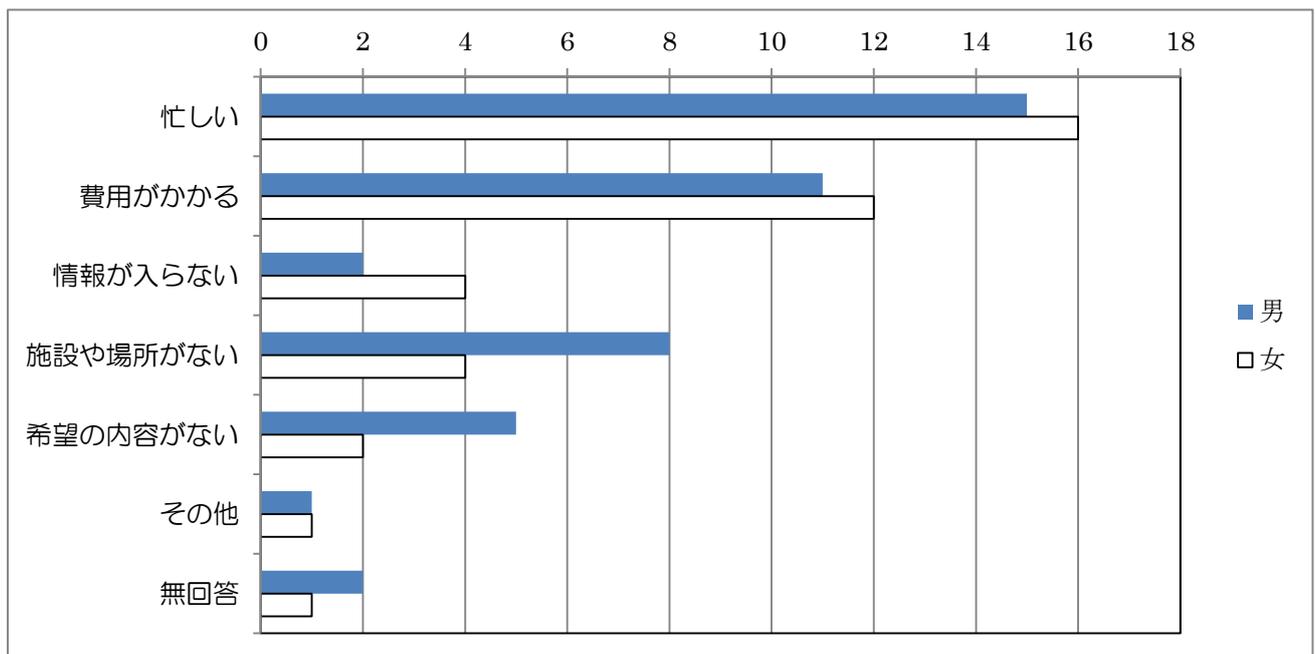
Q. あなたは、今の学習活動に満足していますか。



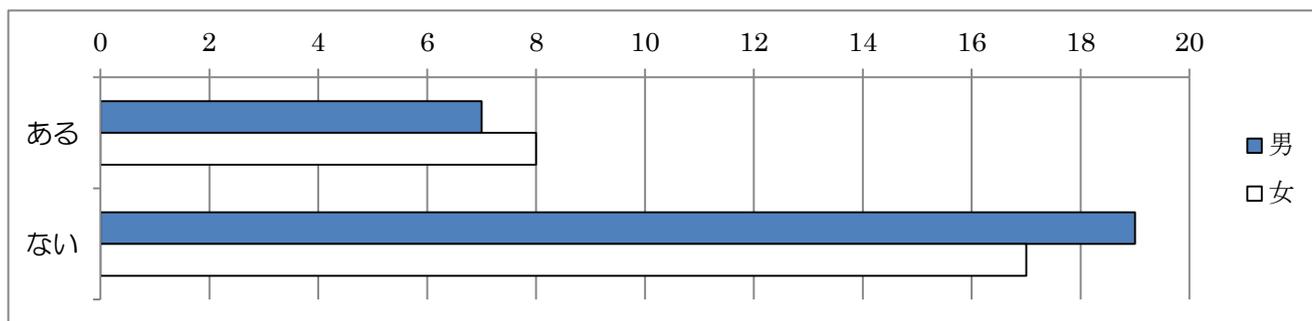
Q. 今行っている学習活動以外で、今後どんな学習活動を希望しますか（3つまで）



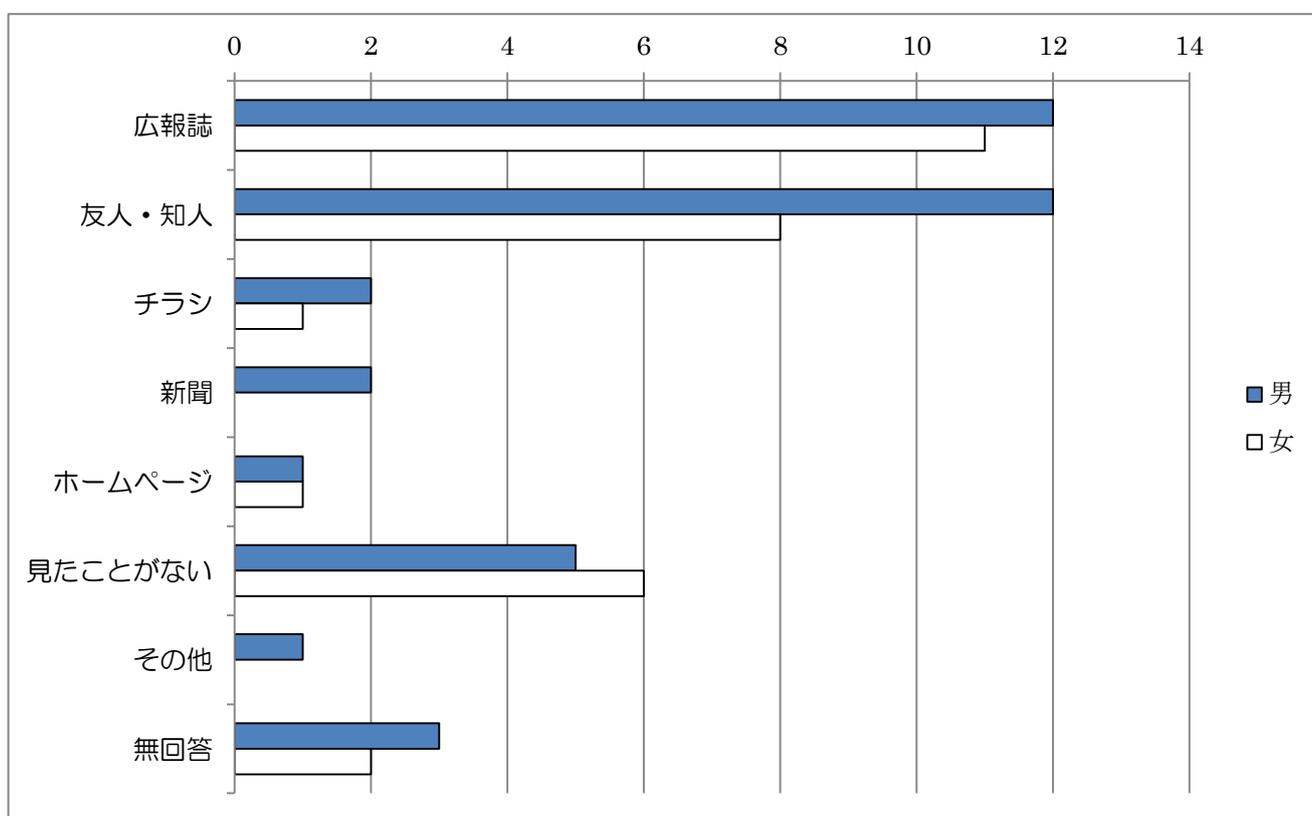
Q. あなたが学習活動を行うのに困ることがありますか（3つまで）



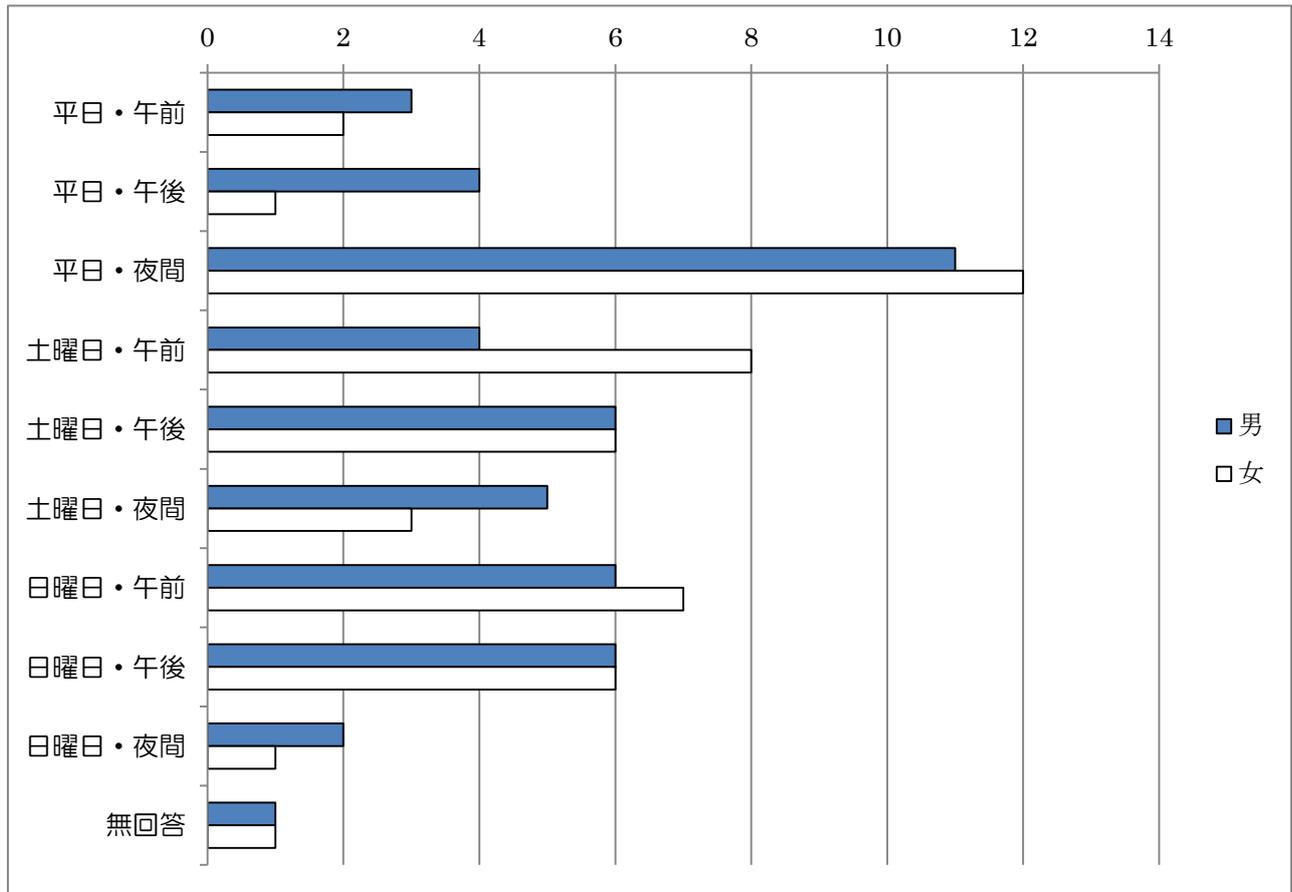
Q. 町が主催する教室や講座に参加したことがありますか



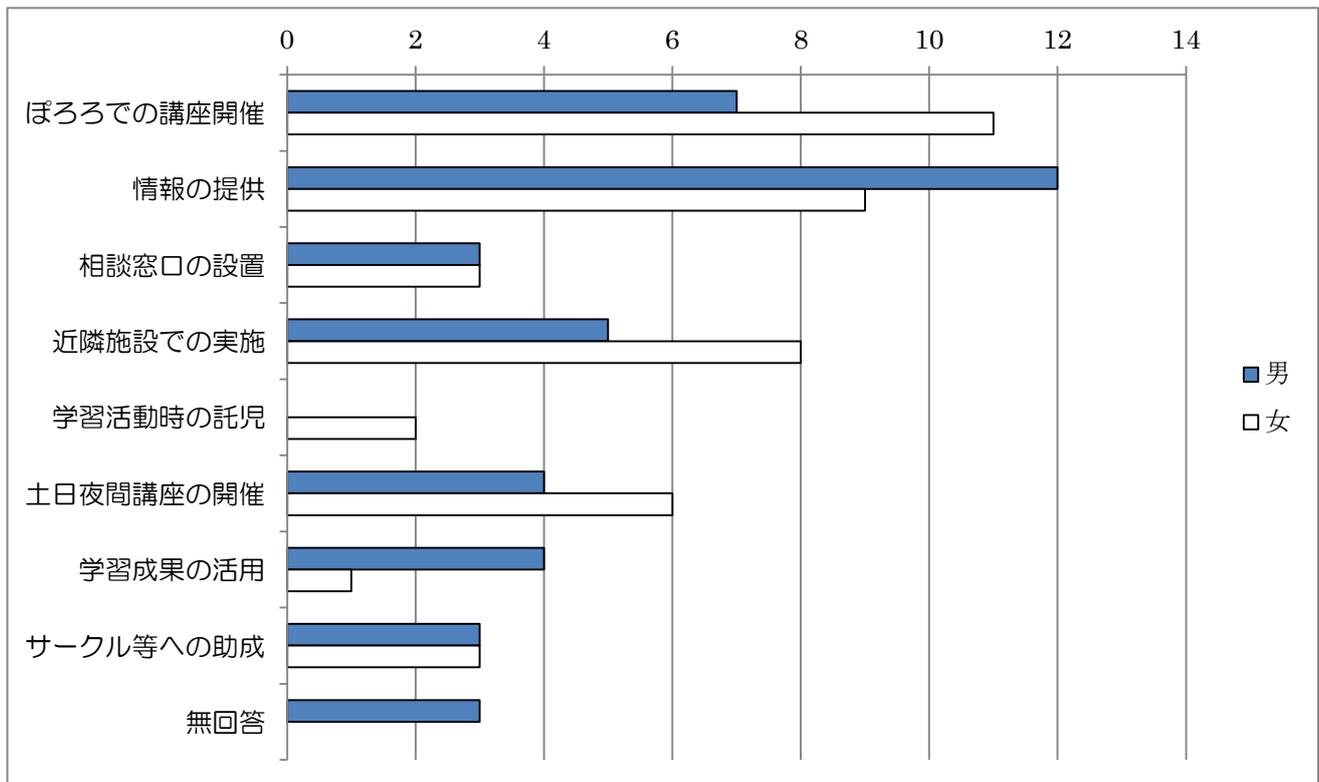
Q. 町が主催する教室や講座を何で知りましたか（3つまで）



Q. あなたが学習活動をするのに、都合のよい曜日と時間帯はいつですか（3つまで）



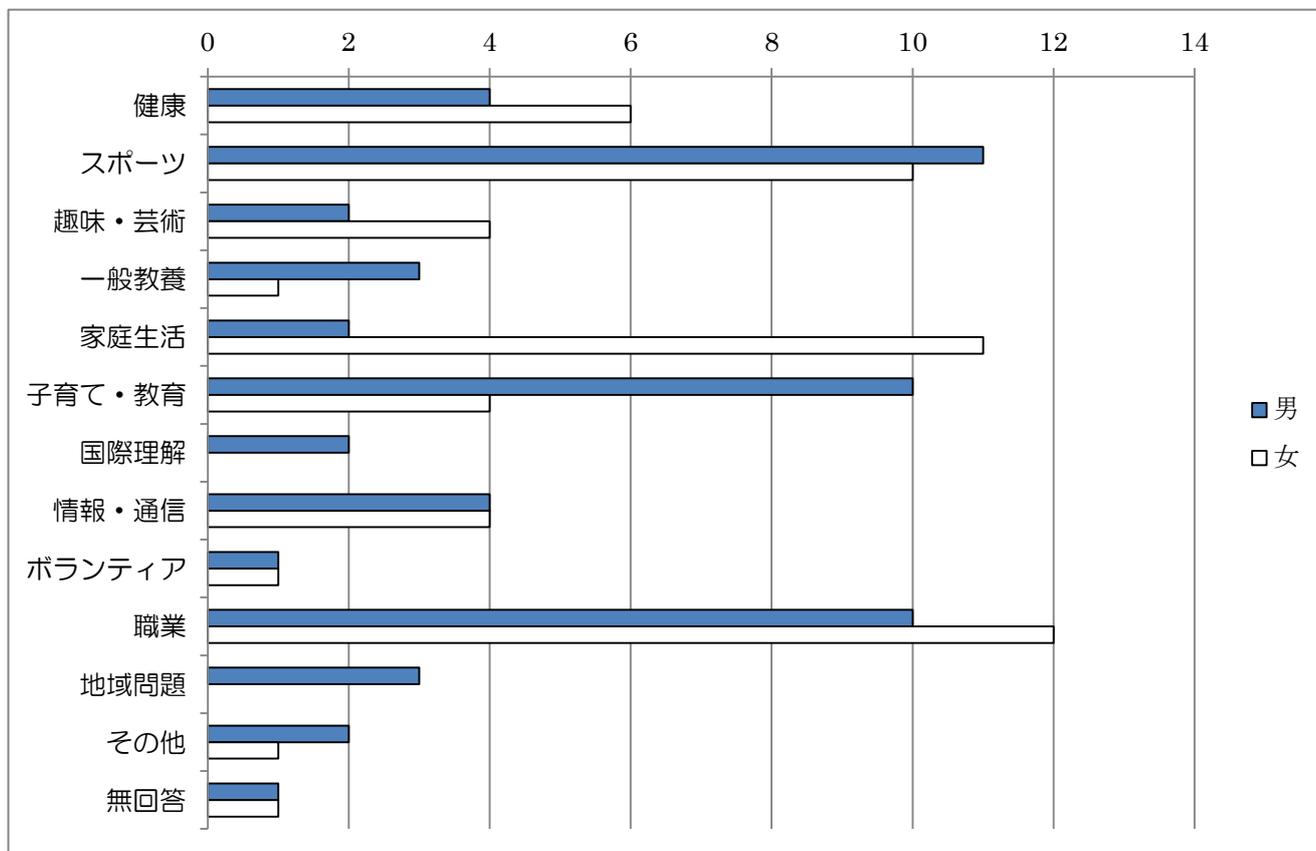
Q. あなたが学習活動をするとしたら、どのようなことを望みますか（3つまで）



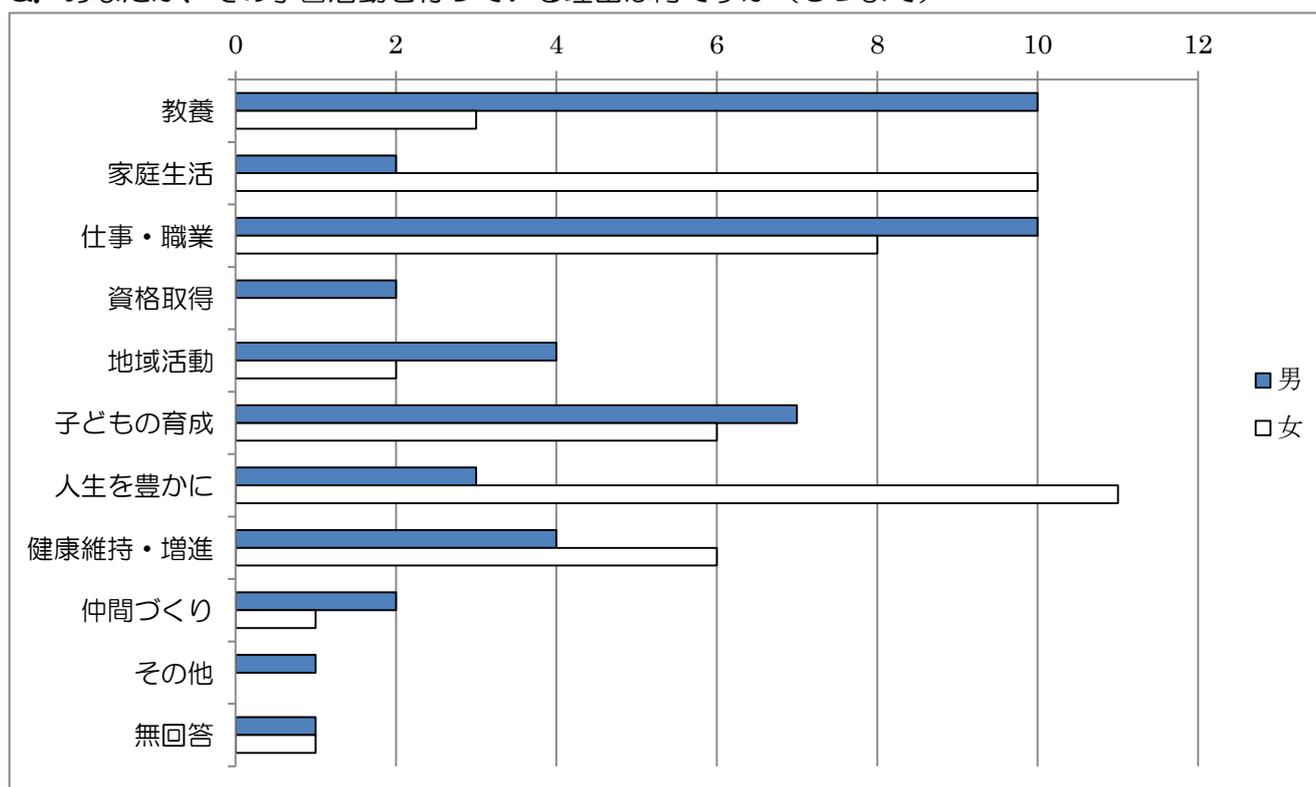
学習活動に関する町民アンケート（30代）

【回答者 男性 25名 女性 26名（合計 51名）】

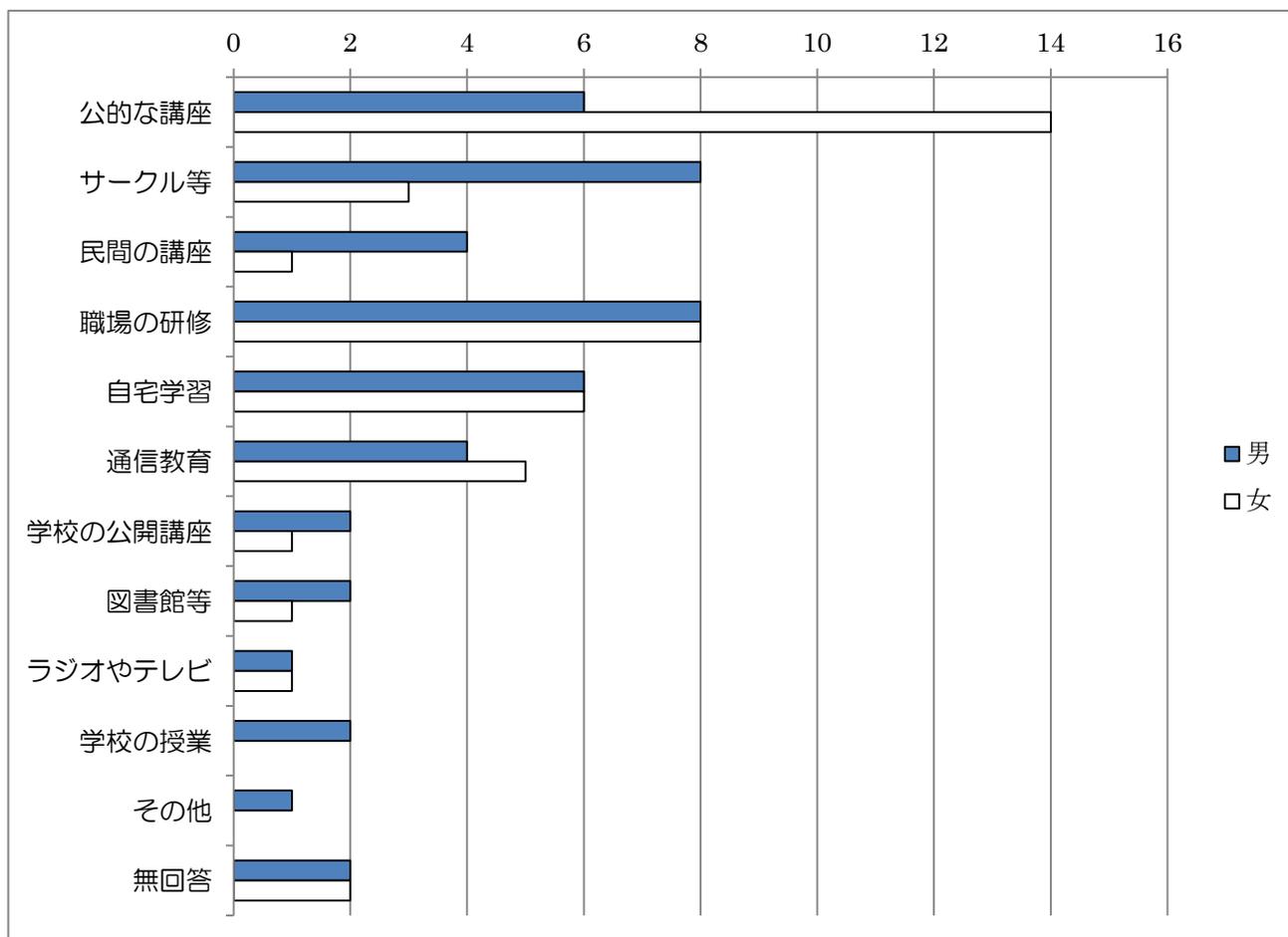
Q. あなたは、この一年くらいの間に行った学習活動について、次の中からあてはまるものを選びください。（複数回答可）



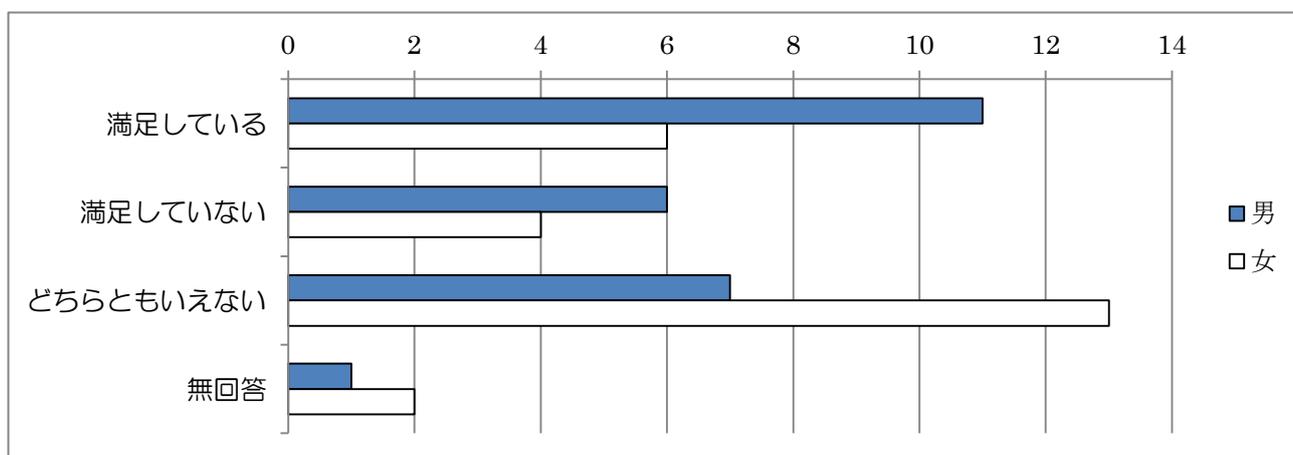
Q. あなたが、その学習活動を行っている理由は何ですか（3つまで）



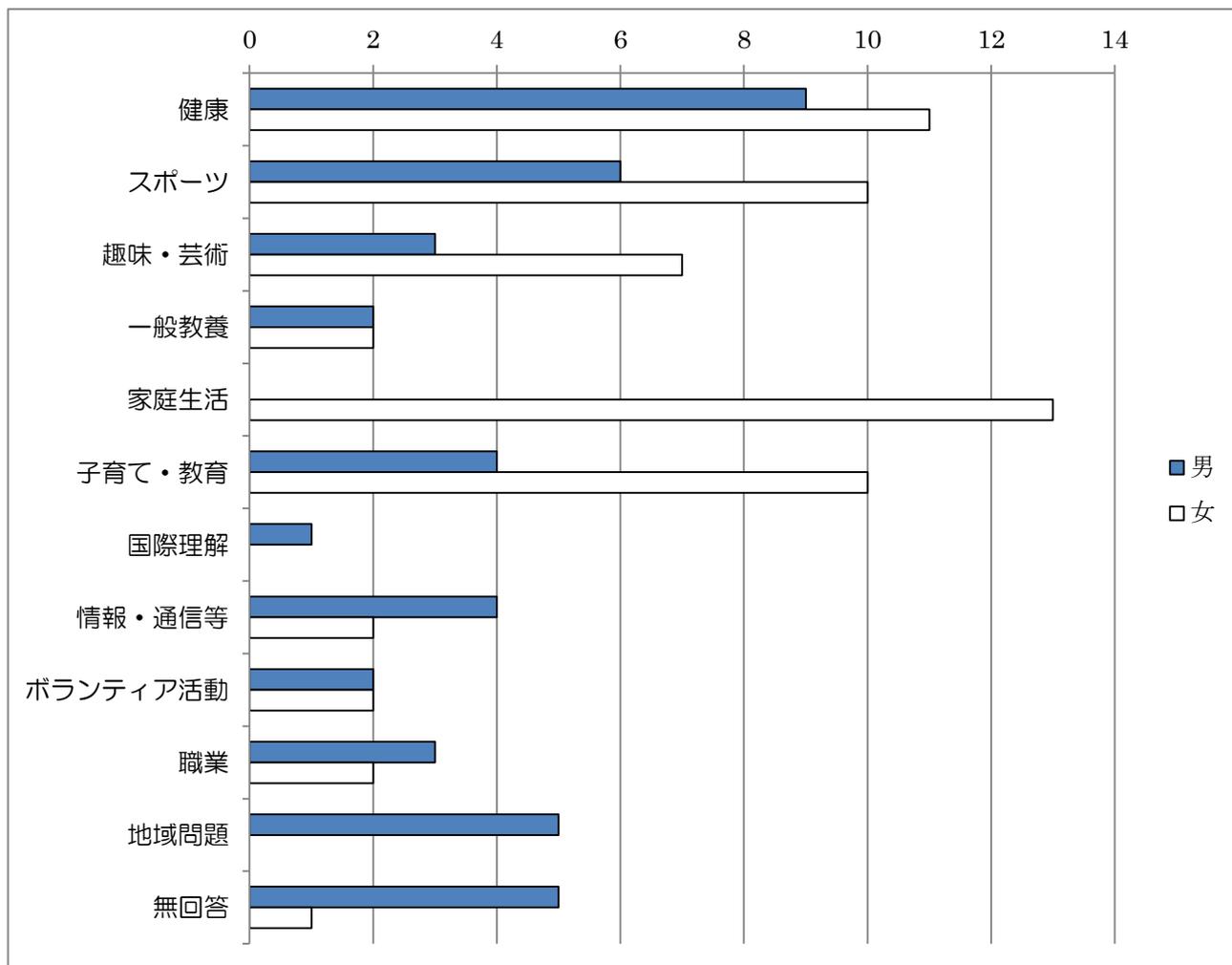
Q. あなたは、その学習活動をどのような場所や形態で行いましたか。次の中からあてはまるものをいくつでもお選びください。



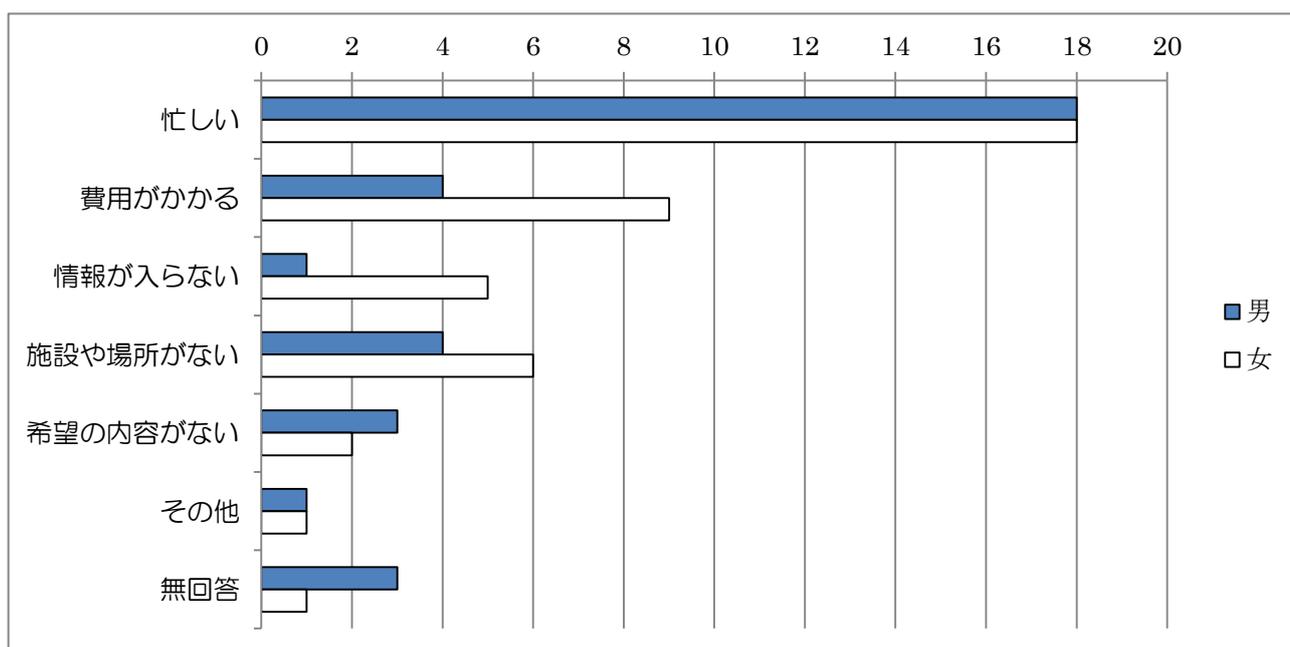
Q. あなたは、今の学習活動に満足していますか。



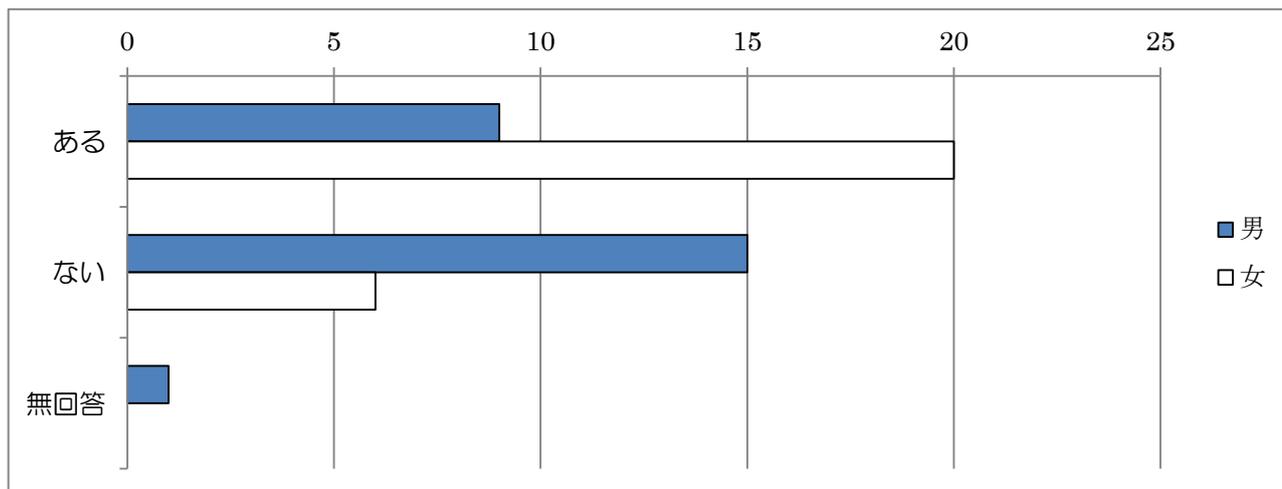
Q. 今行っている学習活動以外で、今後どんな学習活動を希望しますか（3つまで）



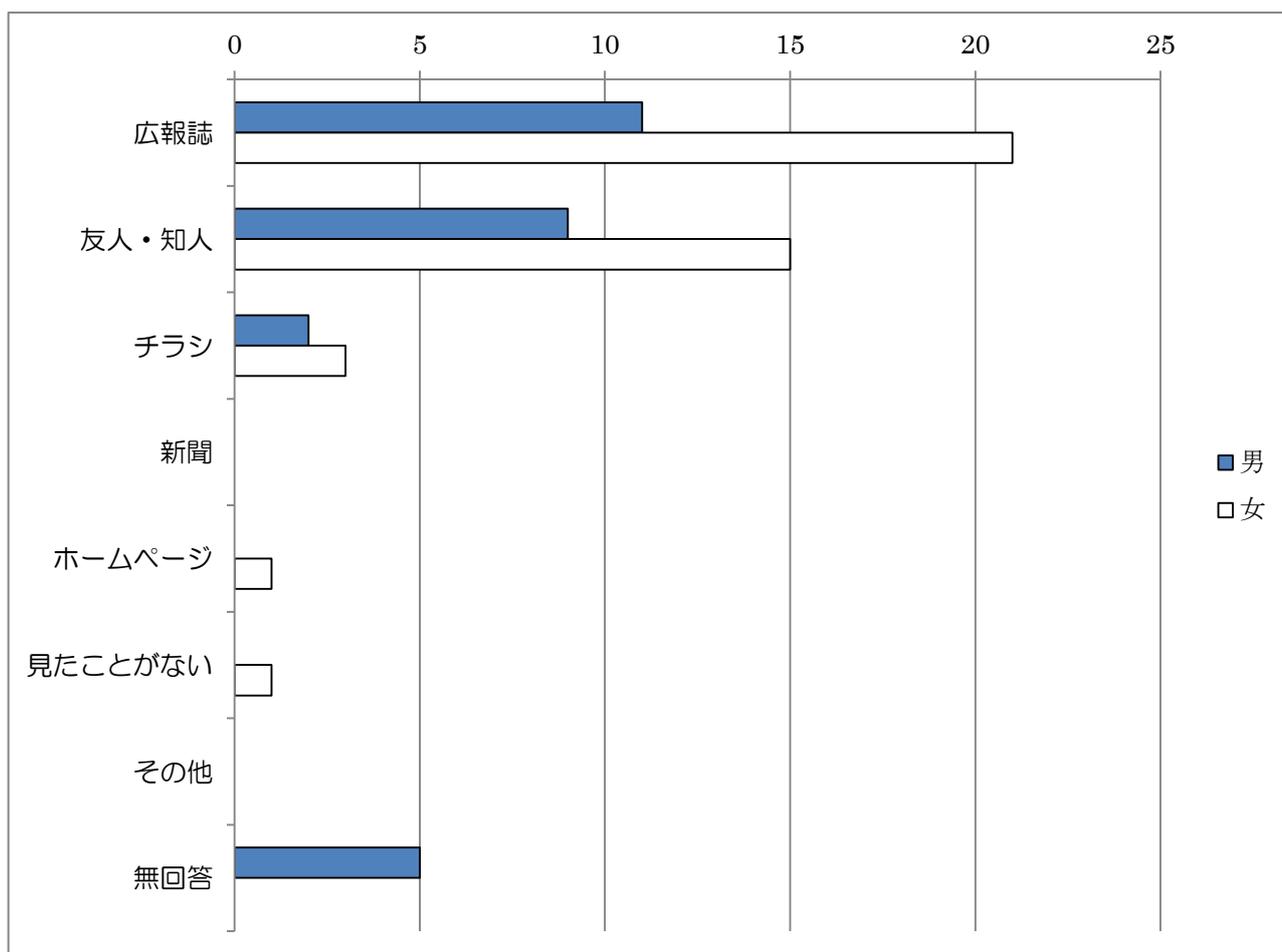
Q. あなたが学習活動を行うのに困ることがありますか（3つまで）



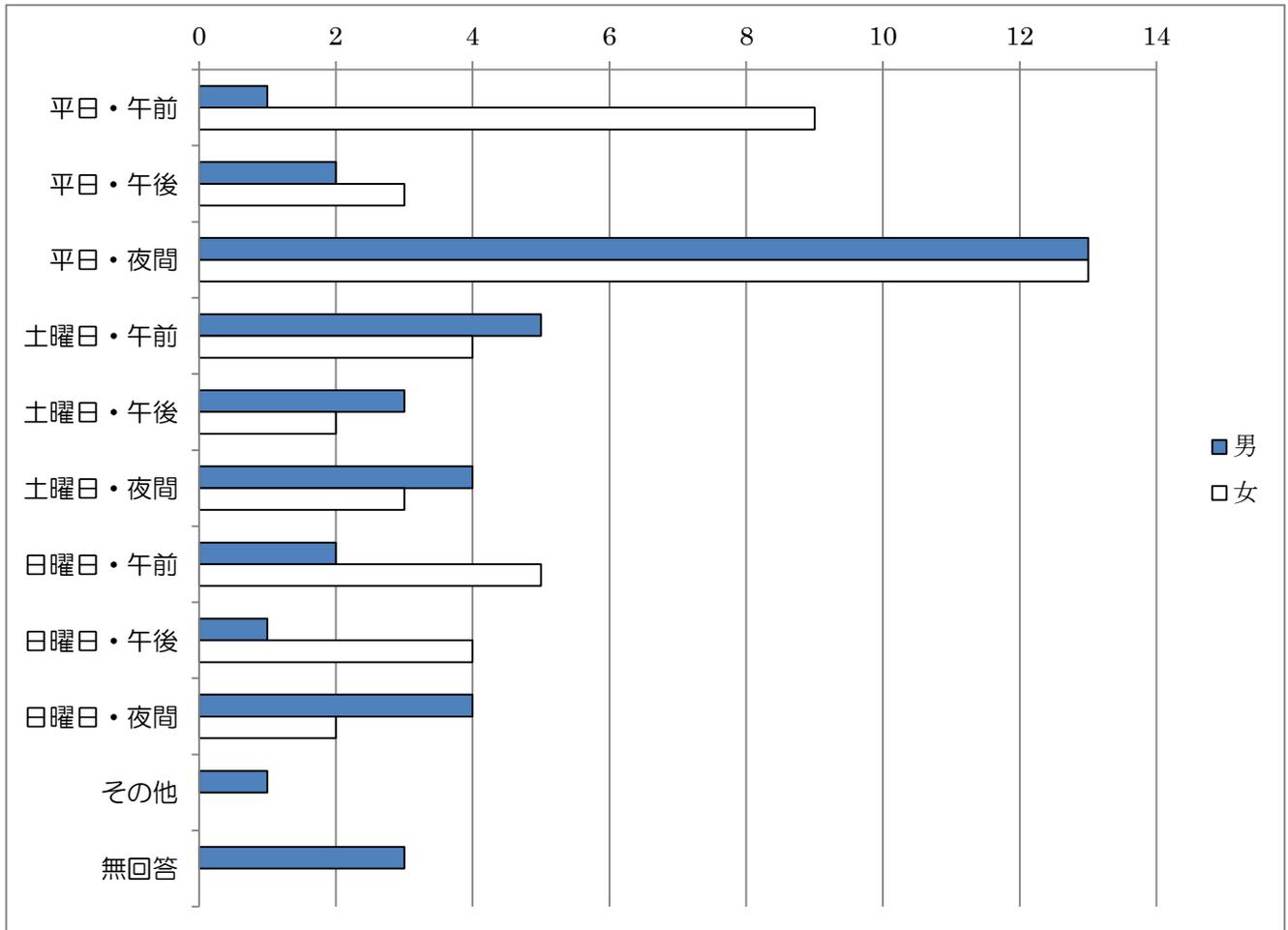
Q. 町が主催する教室や講座に参加したことがありますか



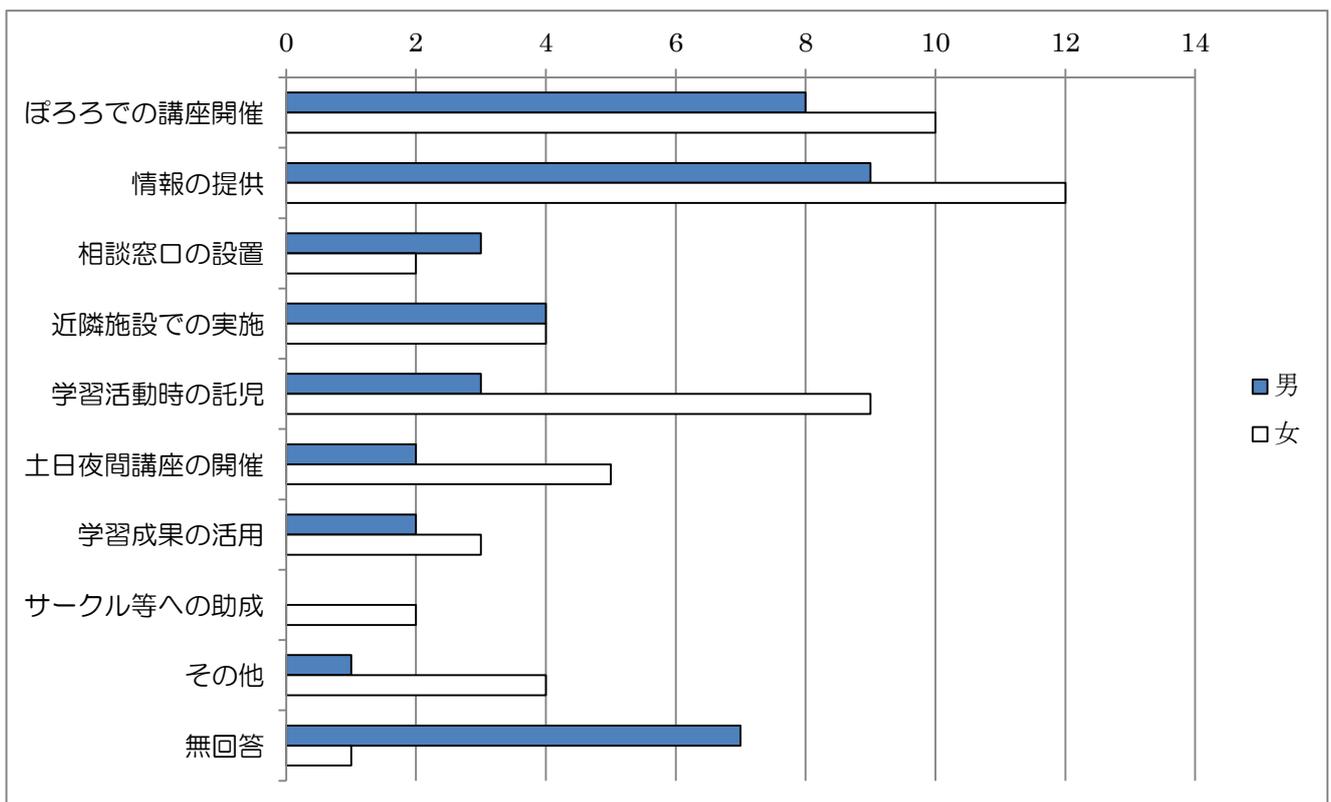
Q. 町が主催する教室や講座を何で知りましたか（3つまで）



Q. あなたが学習活動をするのに、都合のよい曜日と時間帯はいつですか（3つまで）



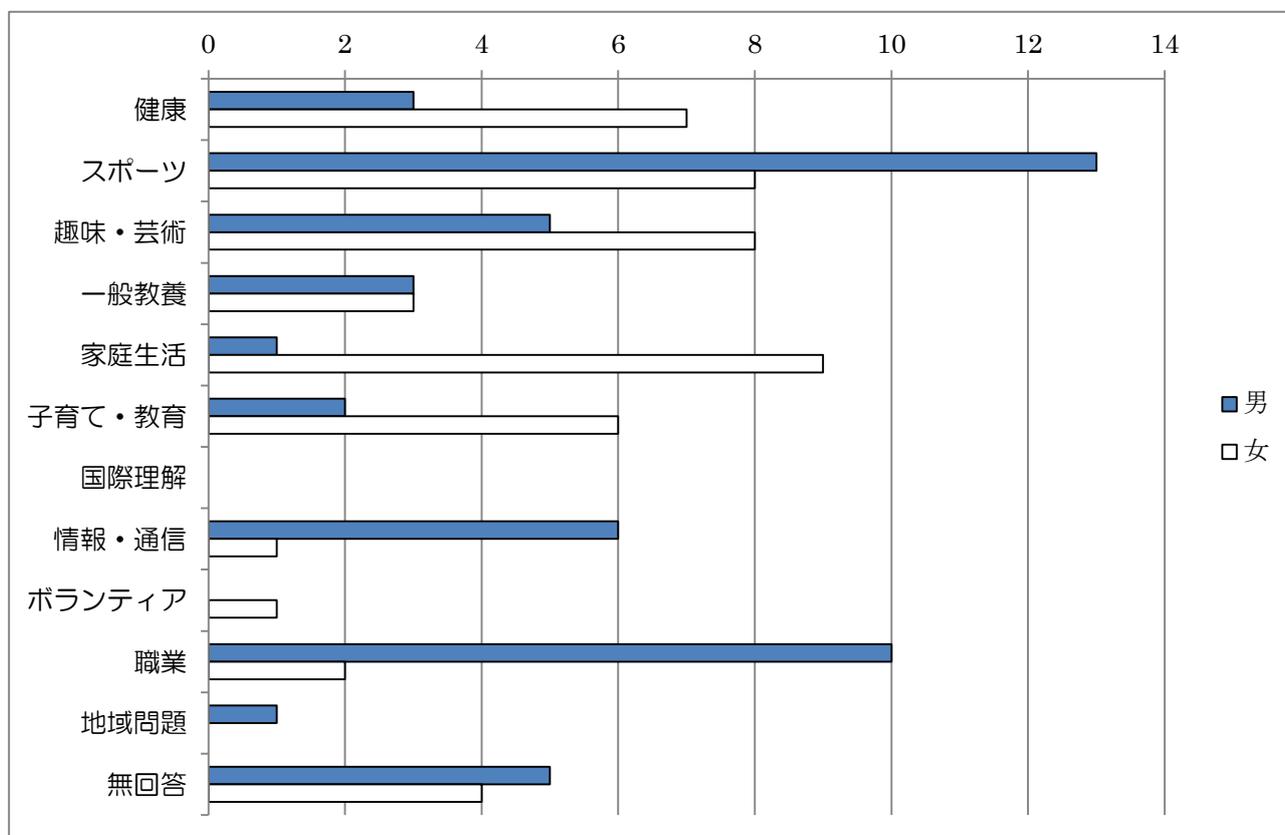
Q. あなたが学習活動をするとしたら、どのようなことを望みますか（3つまで）



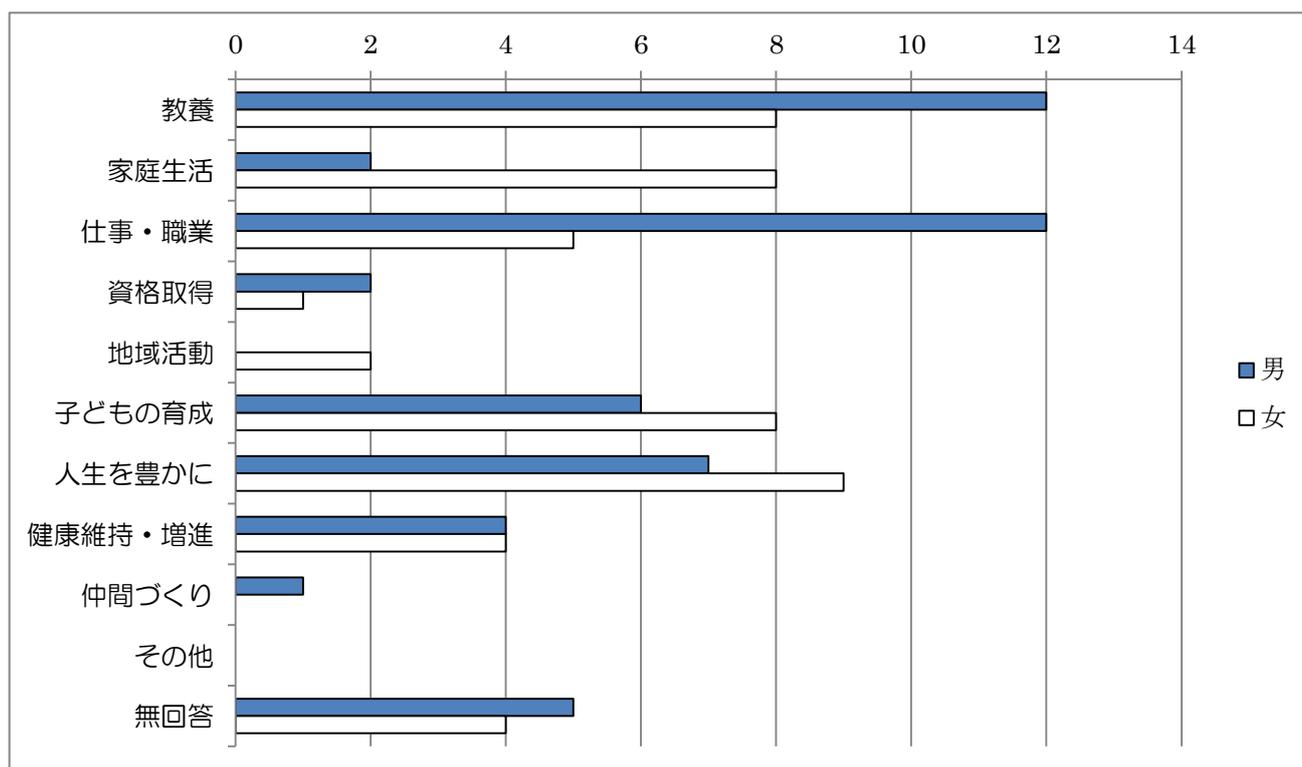
学習活動に関する町民アンケート（40代）

【回答者 男性 26名 女性 25名（合計 51名）】

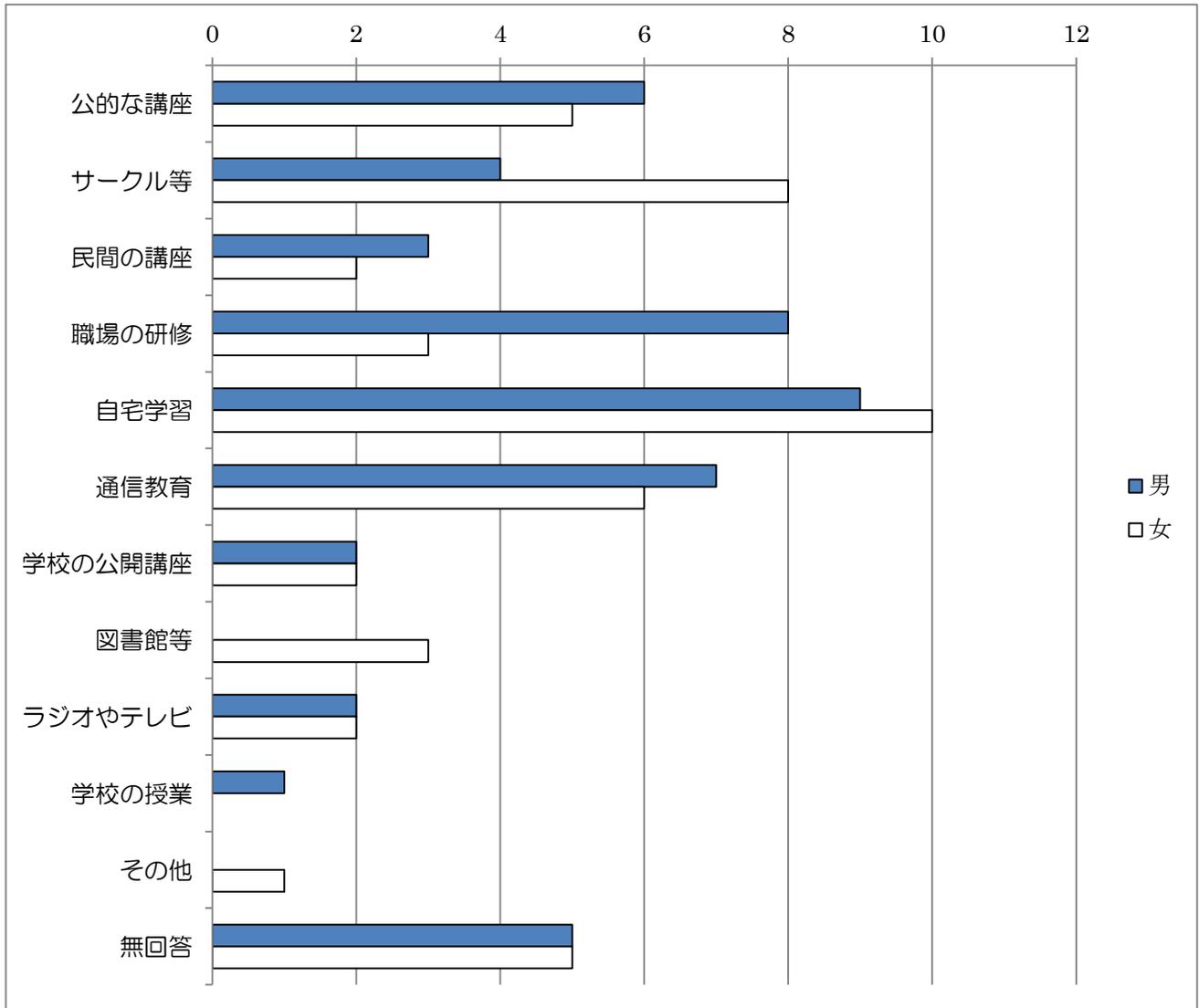
Q. あなたは、この一年くらいの間に行った学習活動について、次の中からあてはまるものを選びください。（複数回答可）



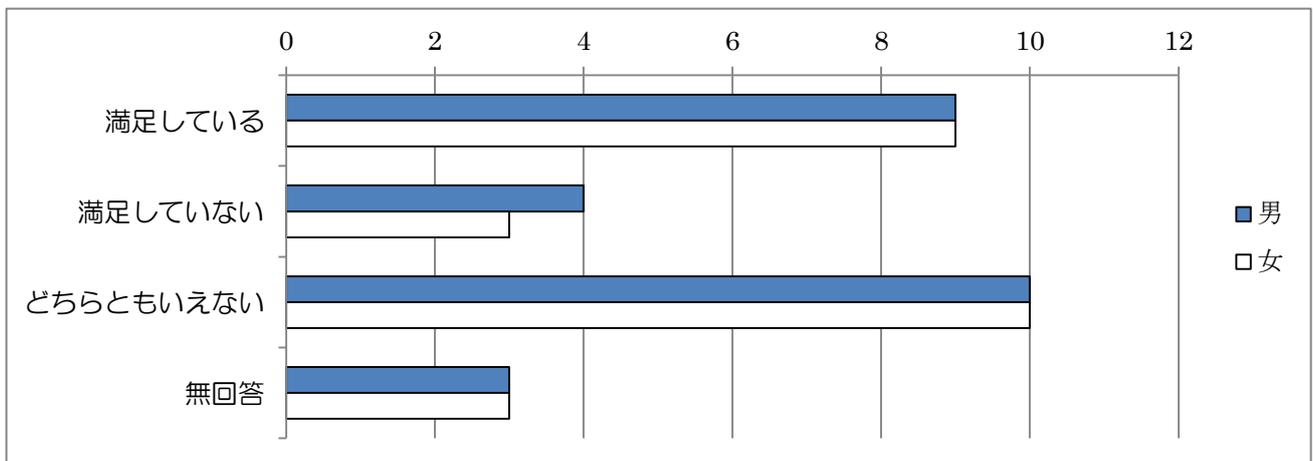
Q. あなたが、その学習活動を行っている理由は何ですか（3つまで）



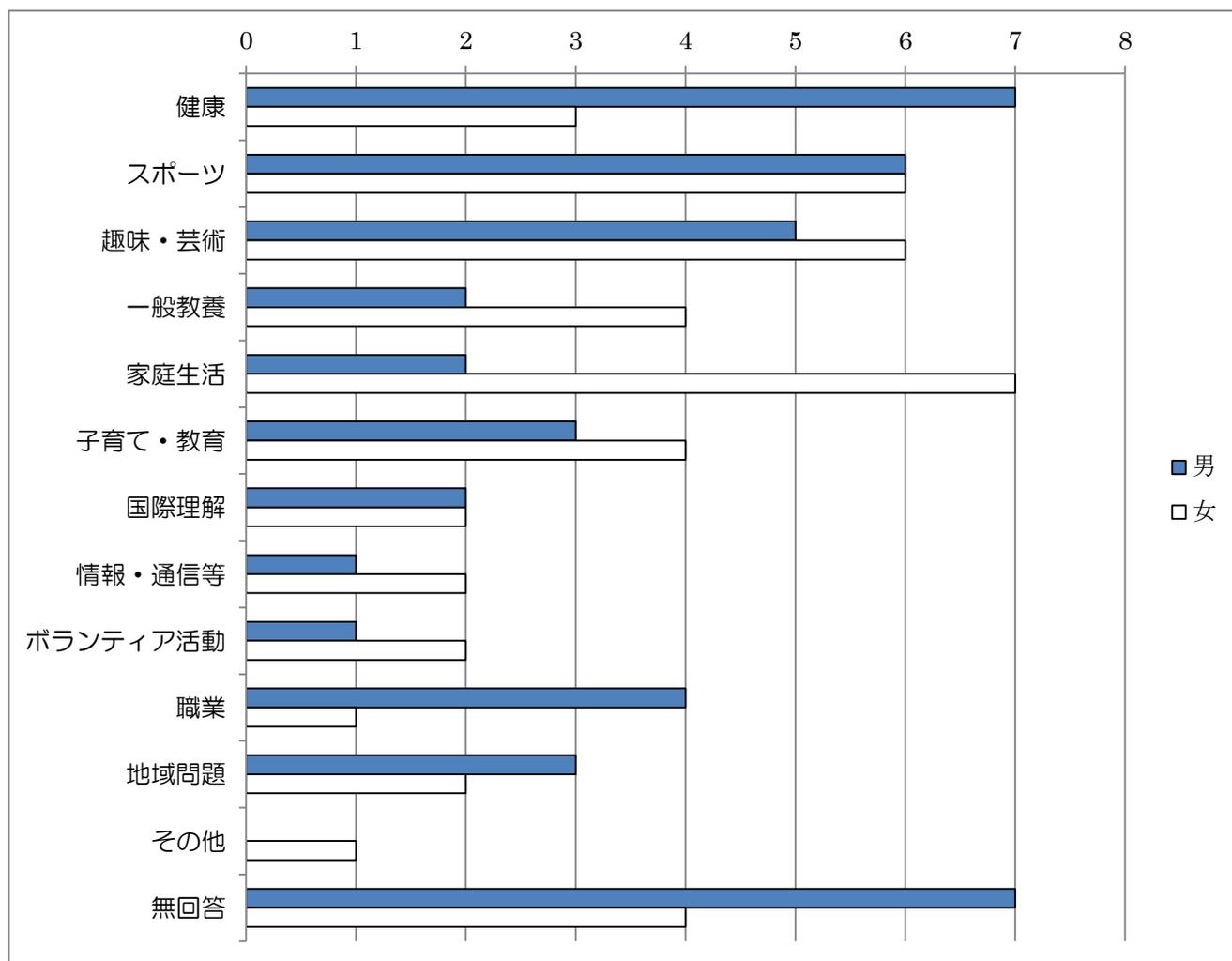
Q. あなたは、その学習活動をどのような場所や形態で行いましたか。次の中からあてはまるものをいくつでもお選びください。



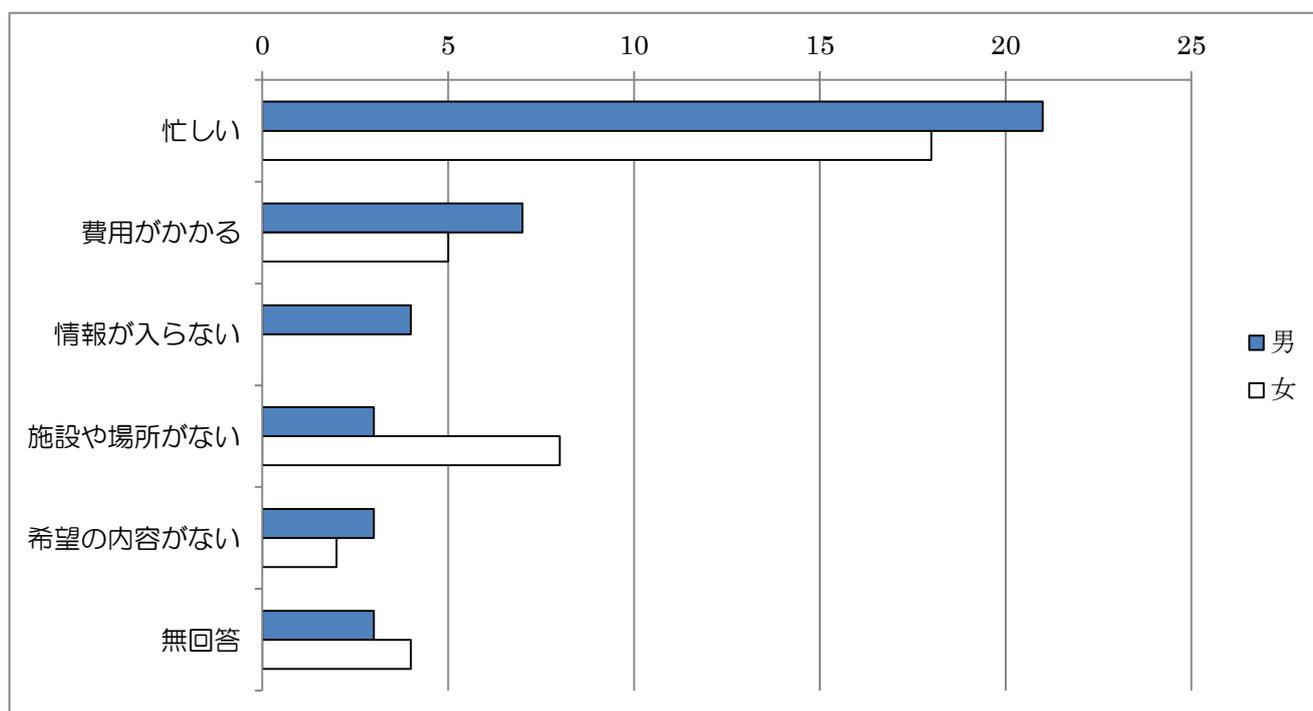
Q. あなたは、今の学習活動に満足していますか。



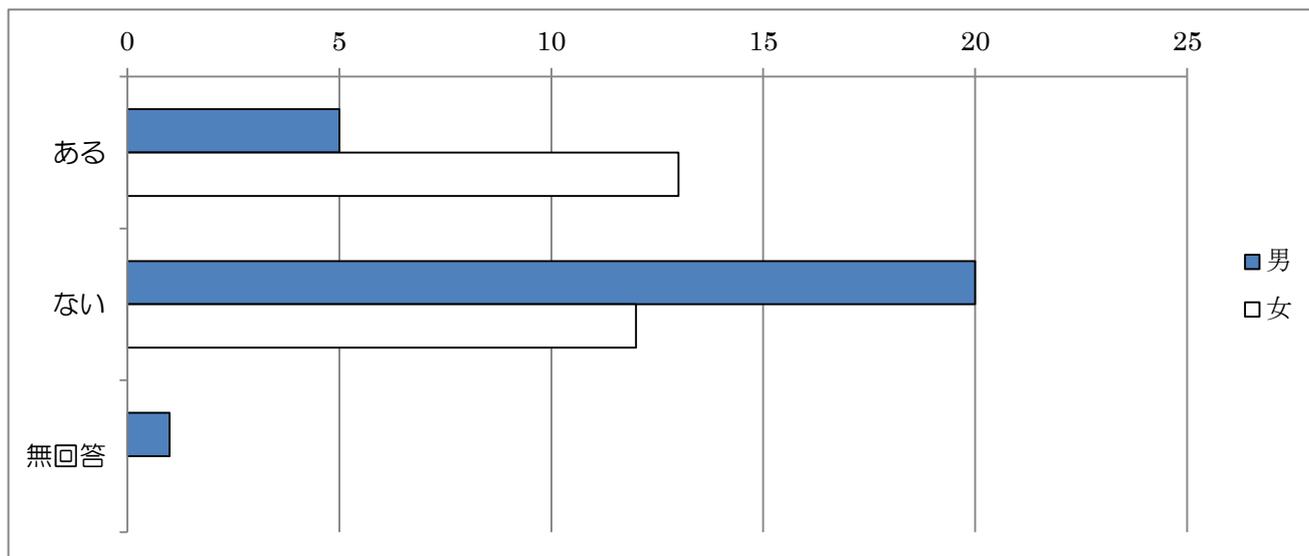
Q. 今行っている学習活動以外で、今後どんな学習活動を希望しますか（3つまで）



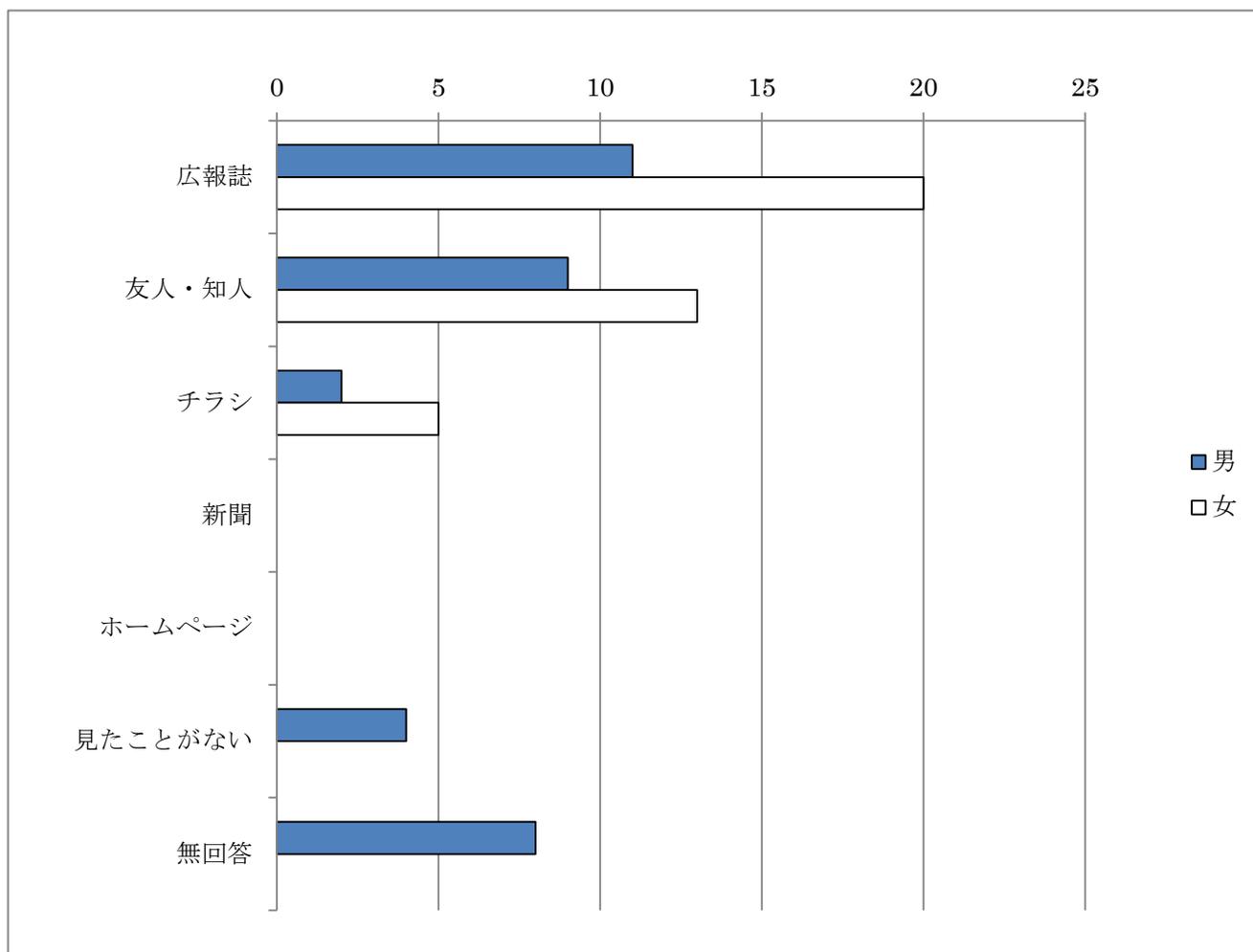
Q. あなたが学習活動を行うのに困ることがありますか（3つまで）



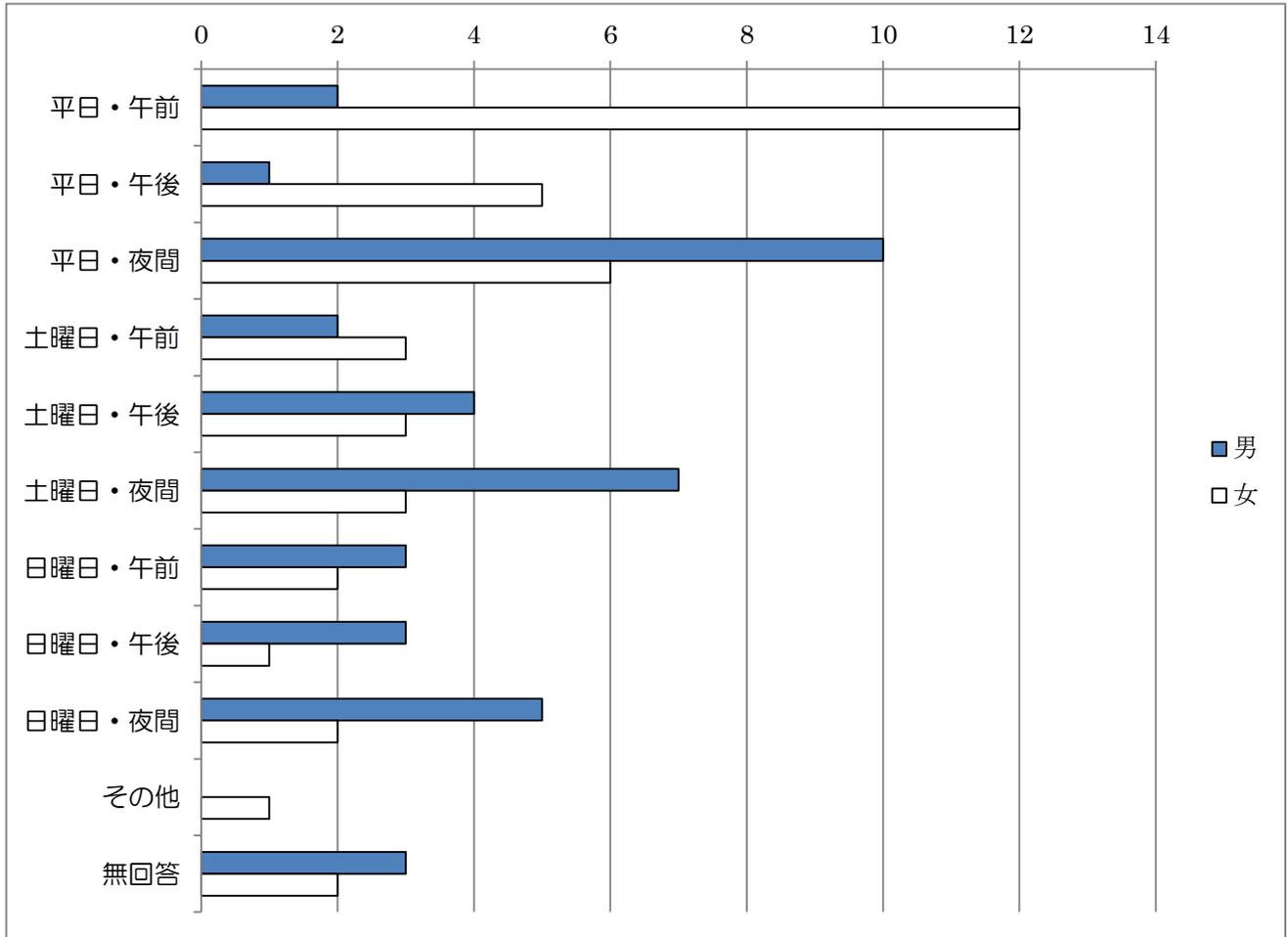
Q. 町が主催する教室や講座に参加したことがありますか



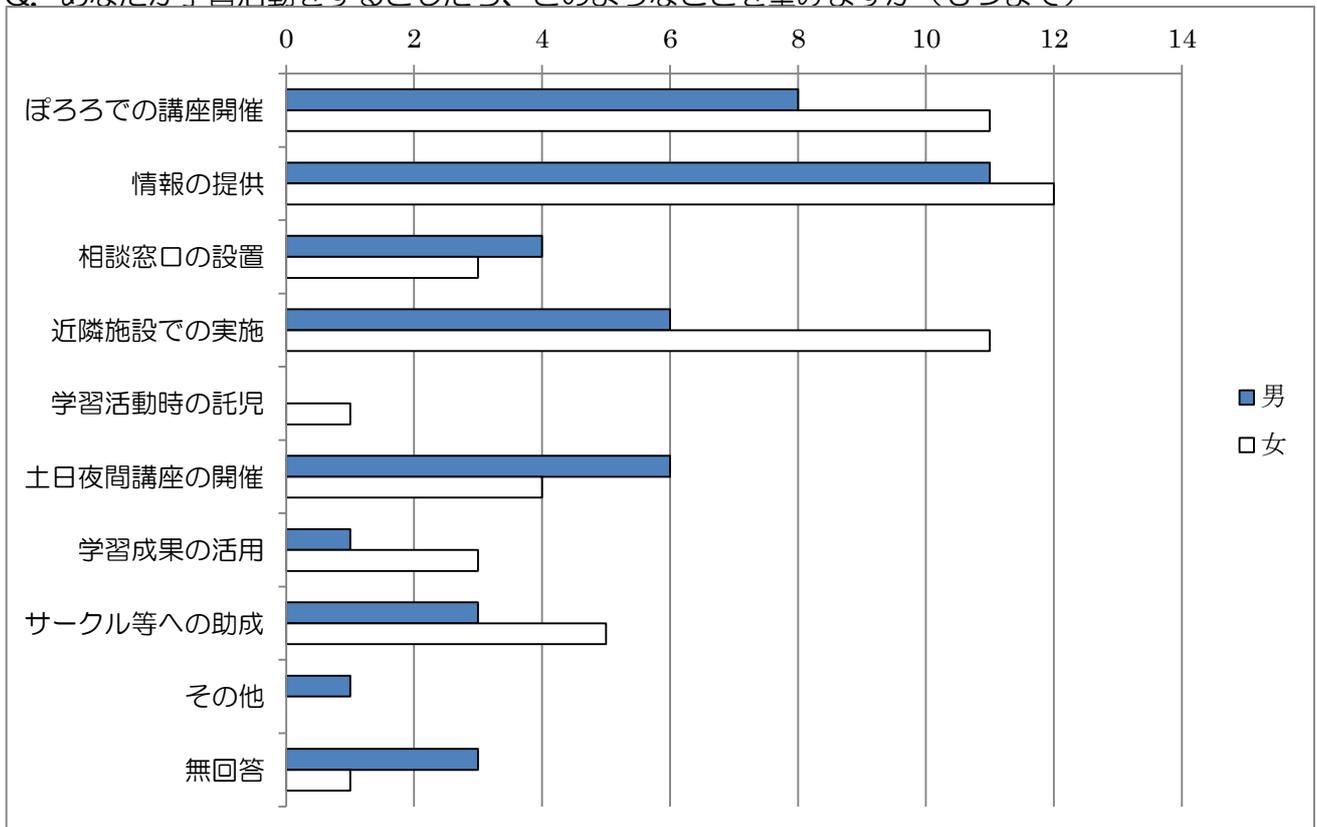
Q. 町が主催する教室や講座を何で知りましたか（3つまで）



Q. あなたが学習活動をするのに、都合のよい曜日と時間帯はいつですか（3つまで）



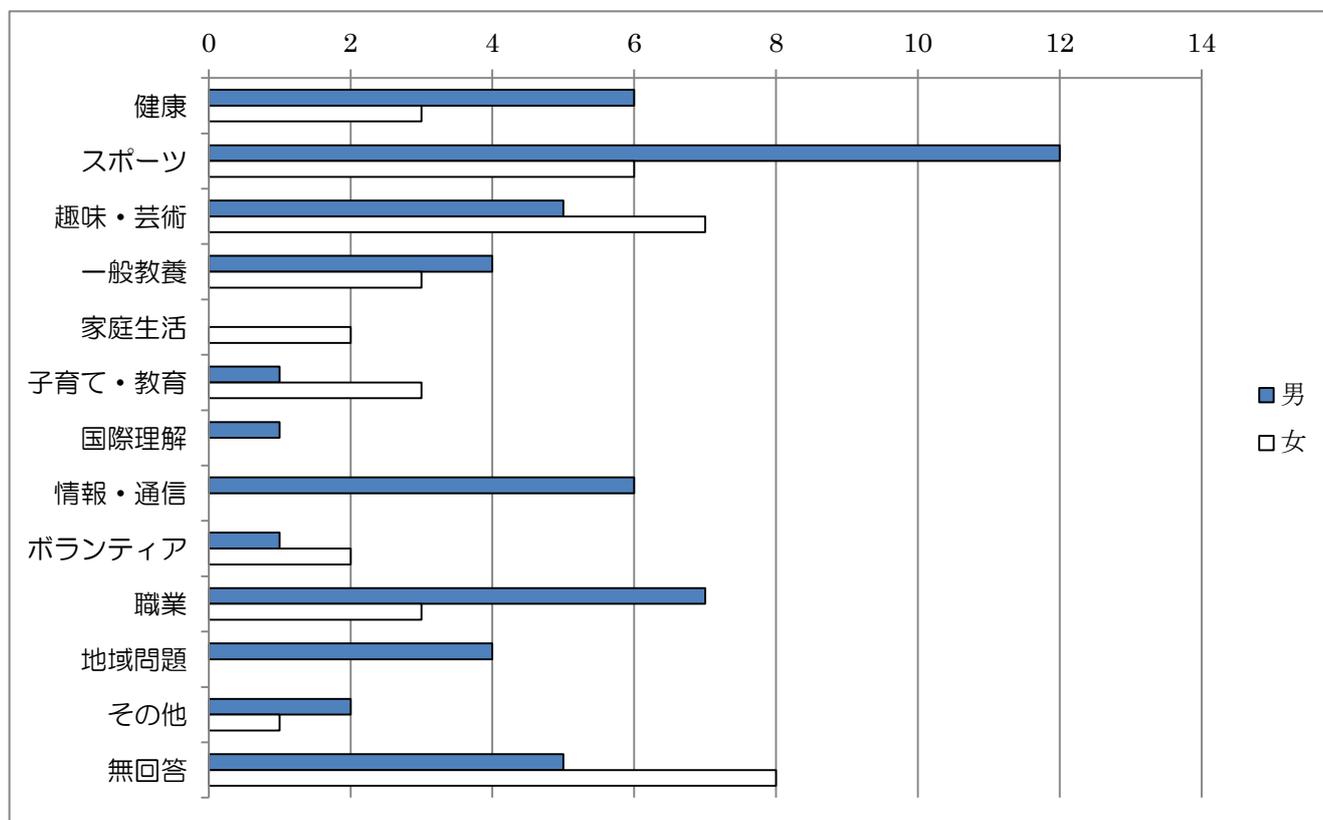
Q. あなたが学習活動をするとしたら、どのようなことを望みますか（3つまで）



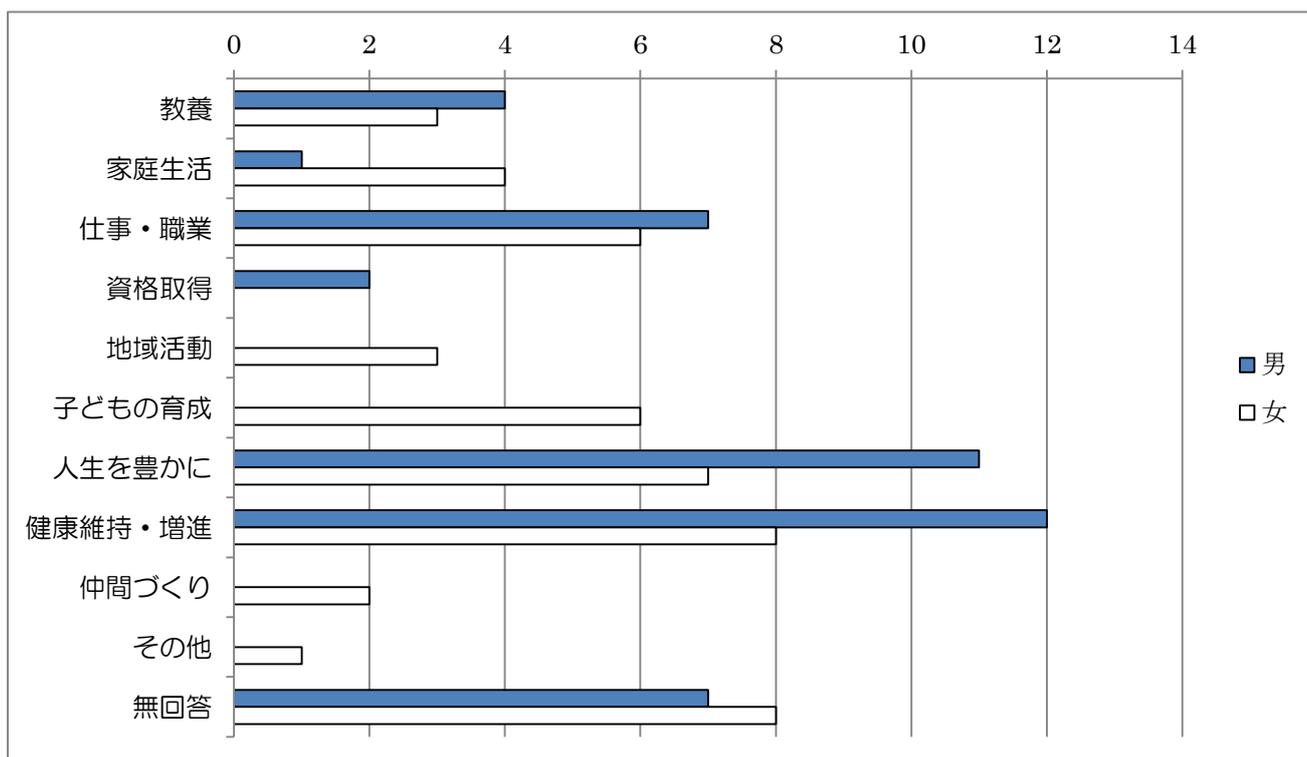
学習活動に関する町民アンケート（50代）

【回答者 男性 25名 女性 26名（合計 51名）】

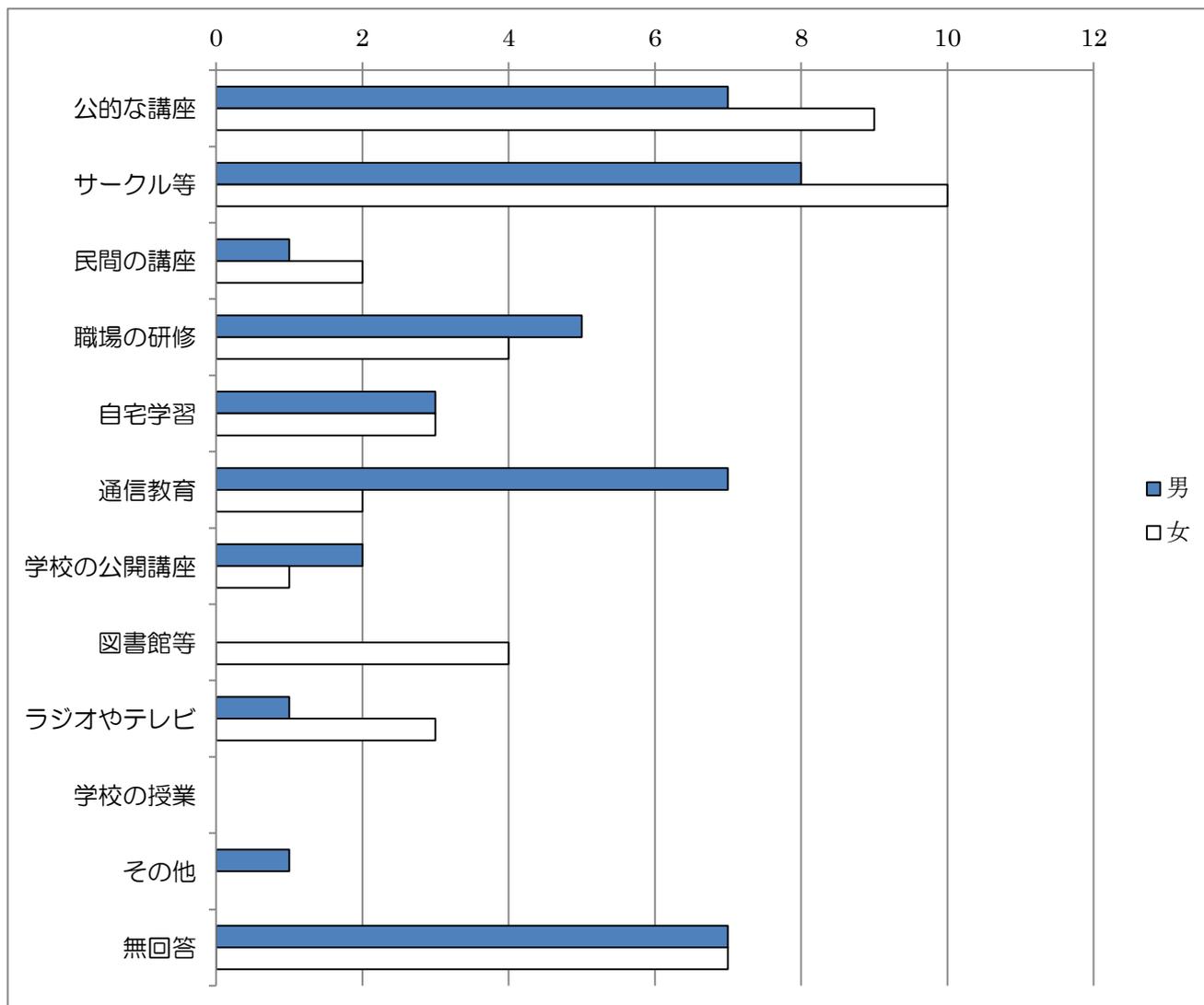
Q. あなたは、この一年くらいの間に行った学習活動について、次の中からあてはまるものを選びください。（複数回答可）



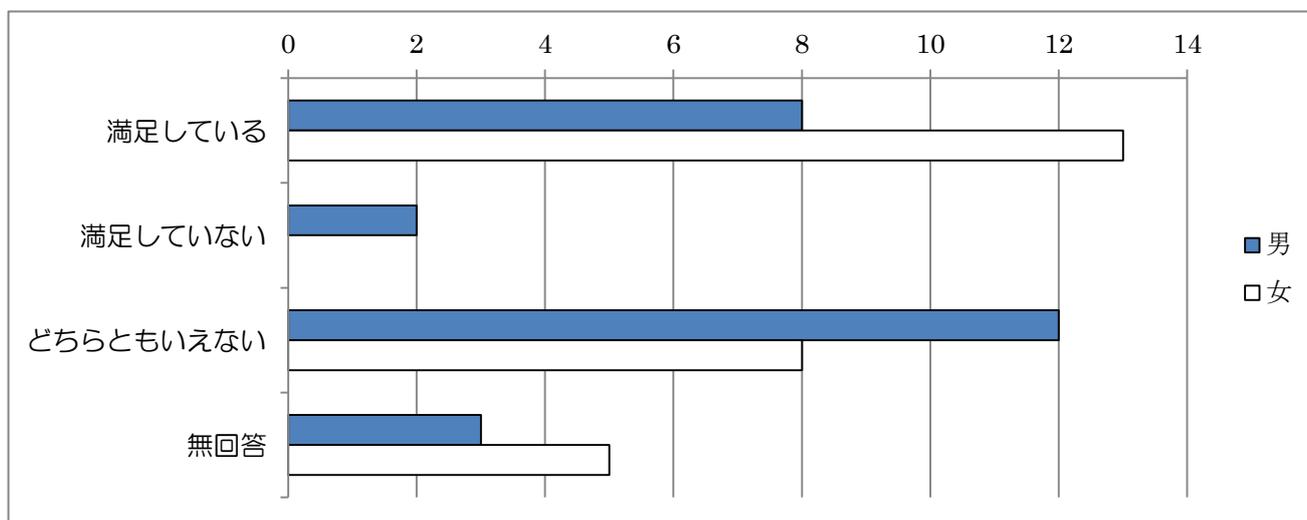
Q. あなたが、その学習活動を行っている理由は何ですか（3つまで）



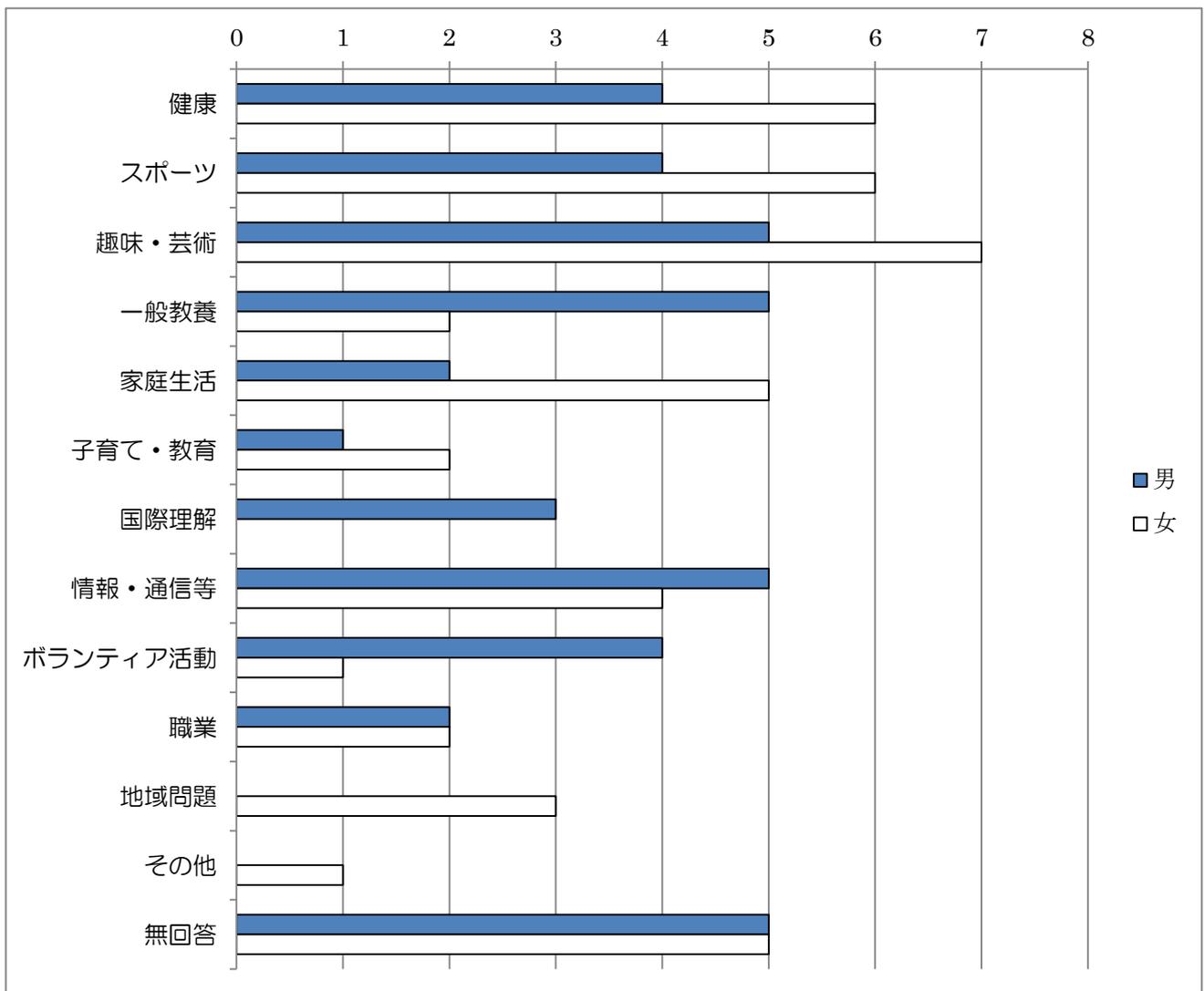
Q. あなたは、その学習活動をどのような場所や形態で行いましたか。次の中からあてはまるものをいくつでもお選びください。



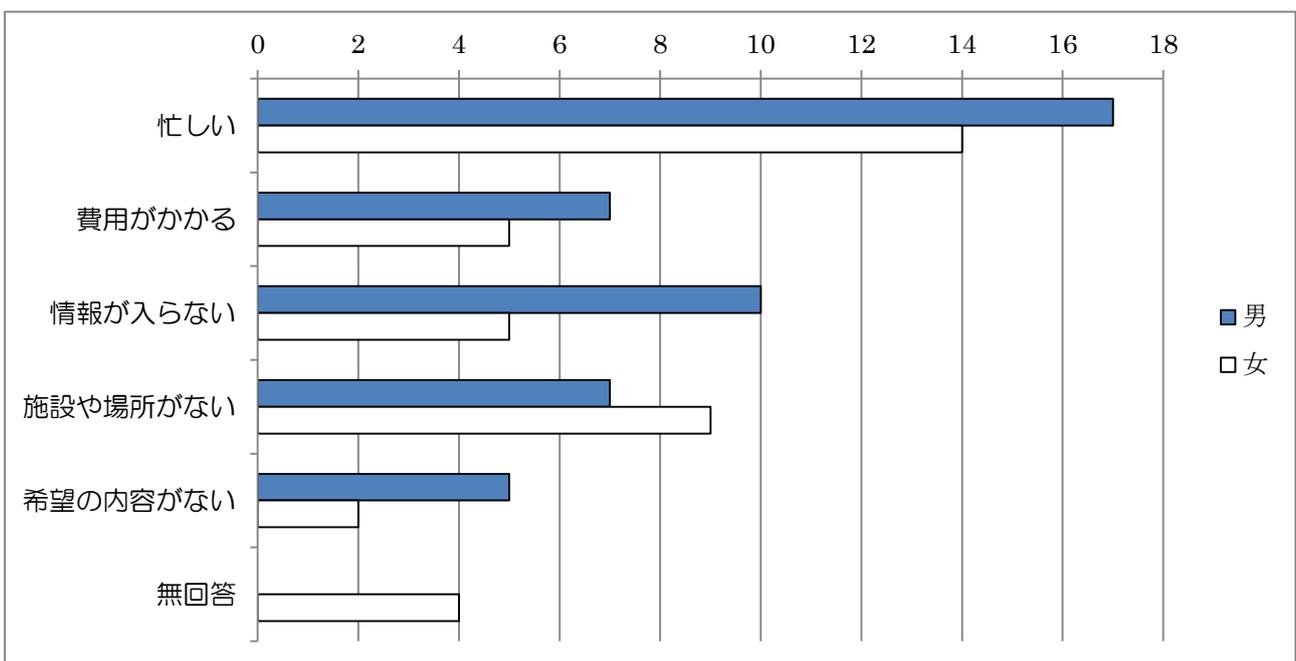
Q. あなたは、今の学習活動に満足していますか。



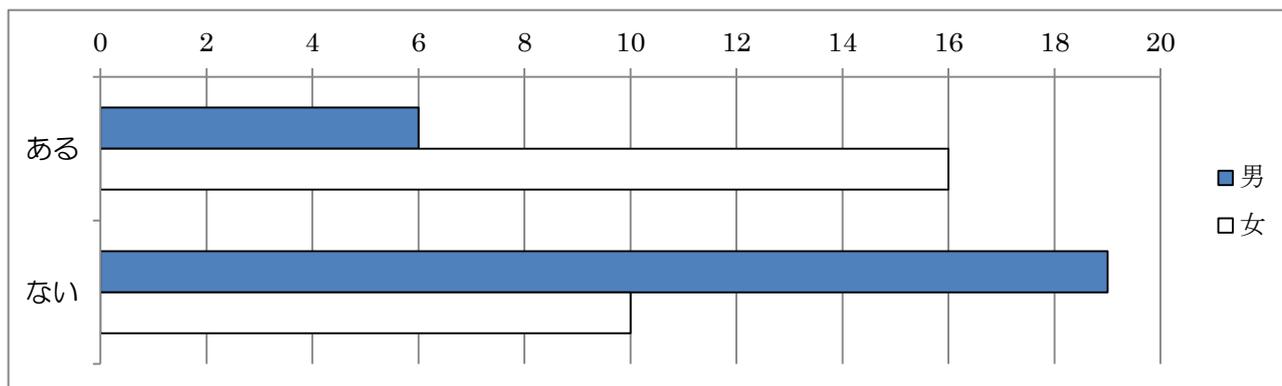
Q. 今行っている学習活動以外で、今後どんな学習活動を希望しますか（3つまで）



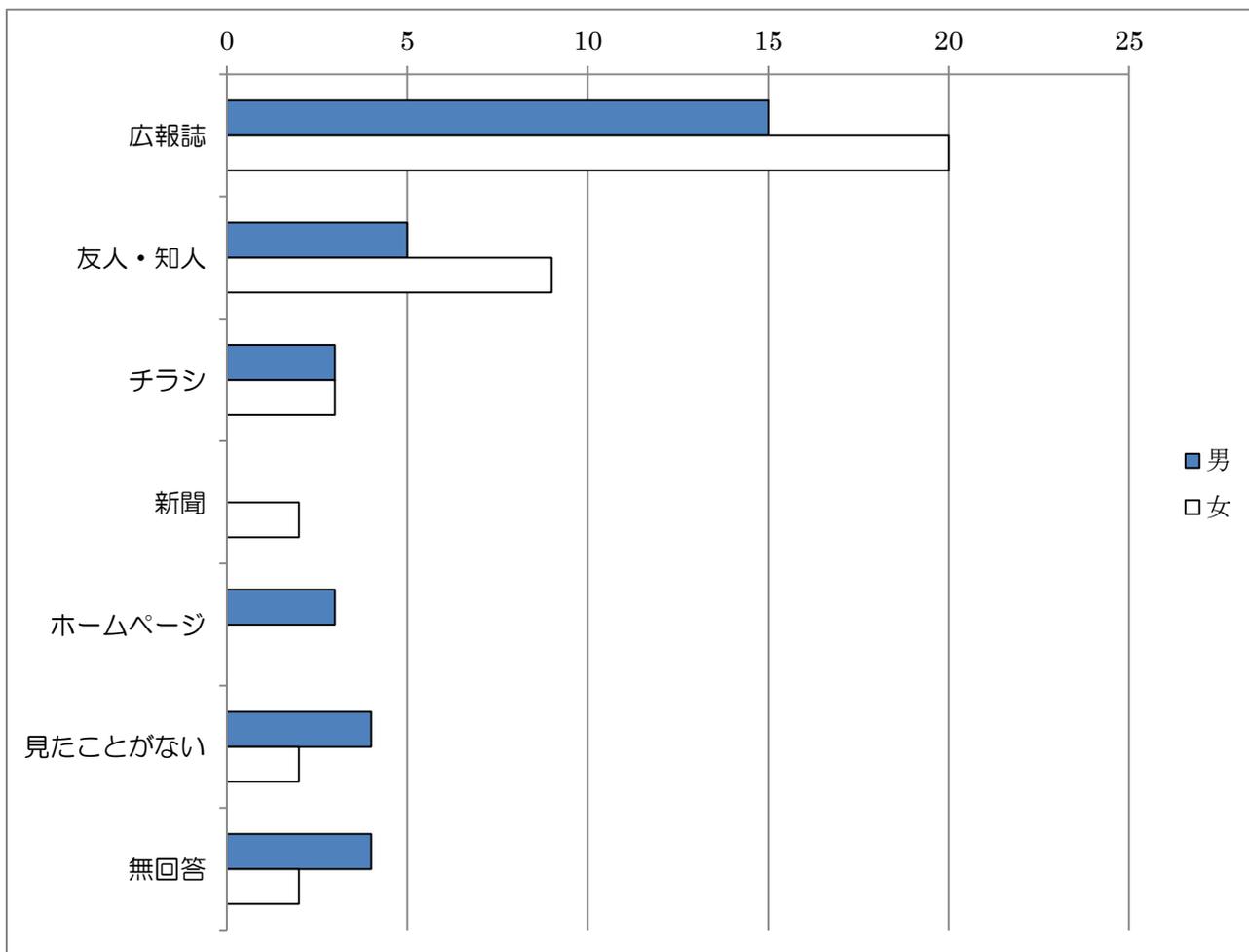
Q. あなたが学習活動を行うのに困ることがありますか（3つまで）



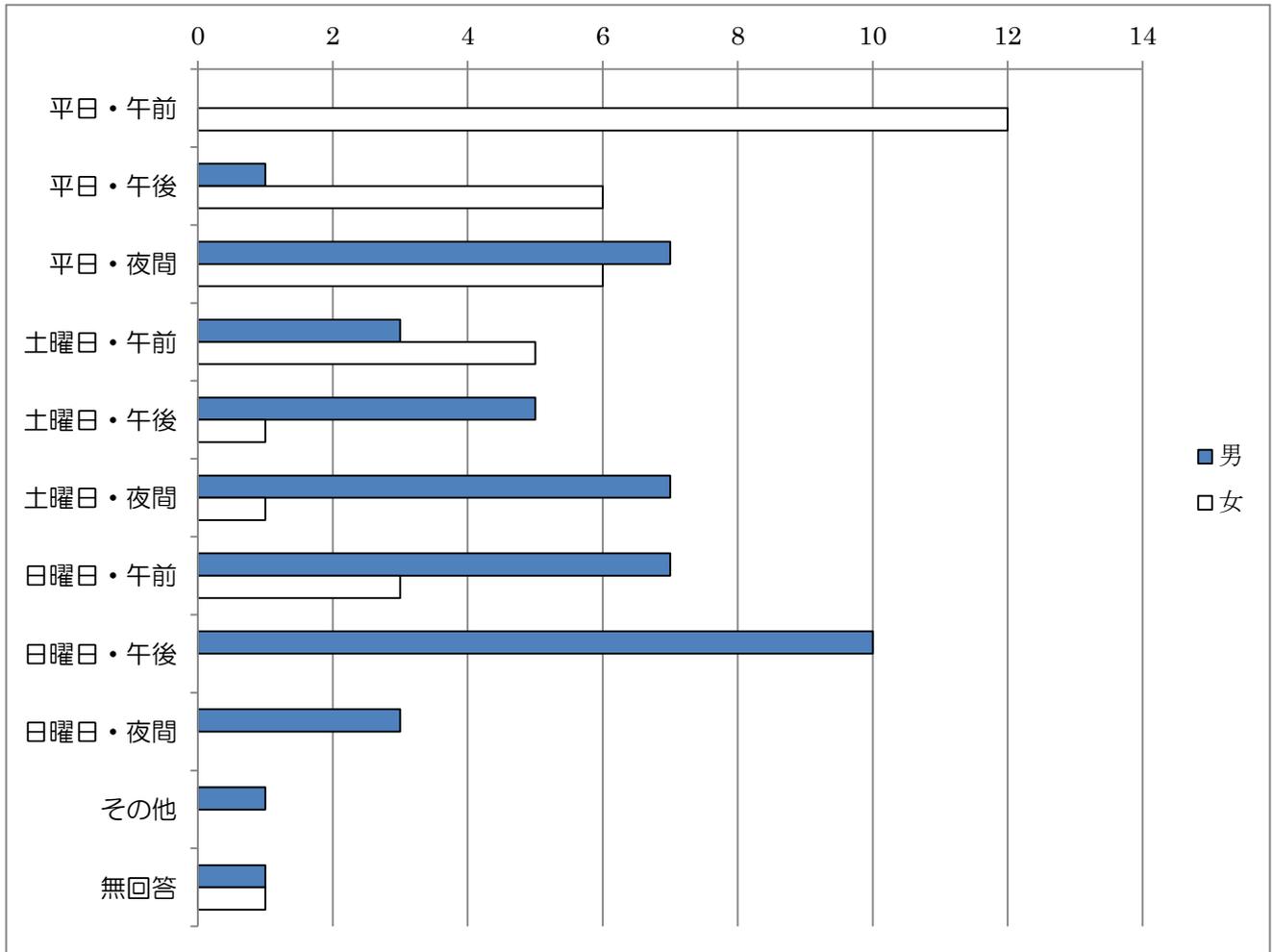
Q. 町が主催する教室や講座に参加したことがありますか



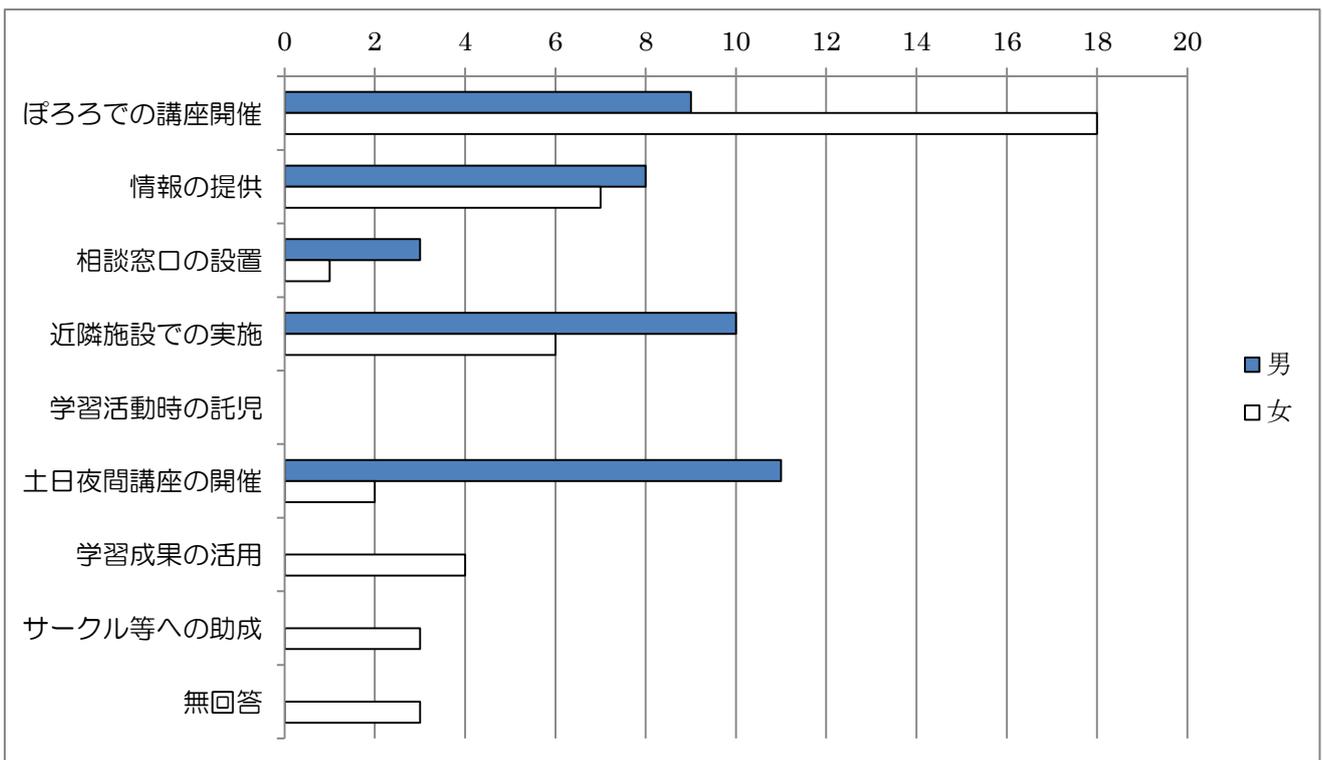
Q. 町が主催する教室や講座を何で知りましたか（3つまで）



Q. あなたが学習活動をするのに、都合のよい曜日と時間帯はいつですか（3つまで）



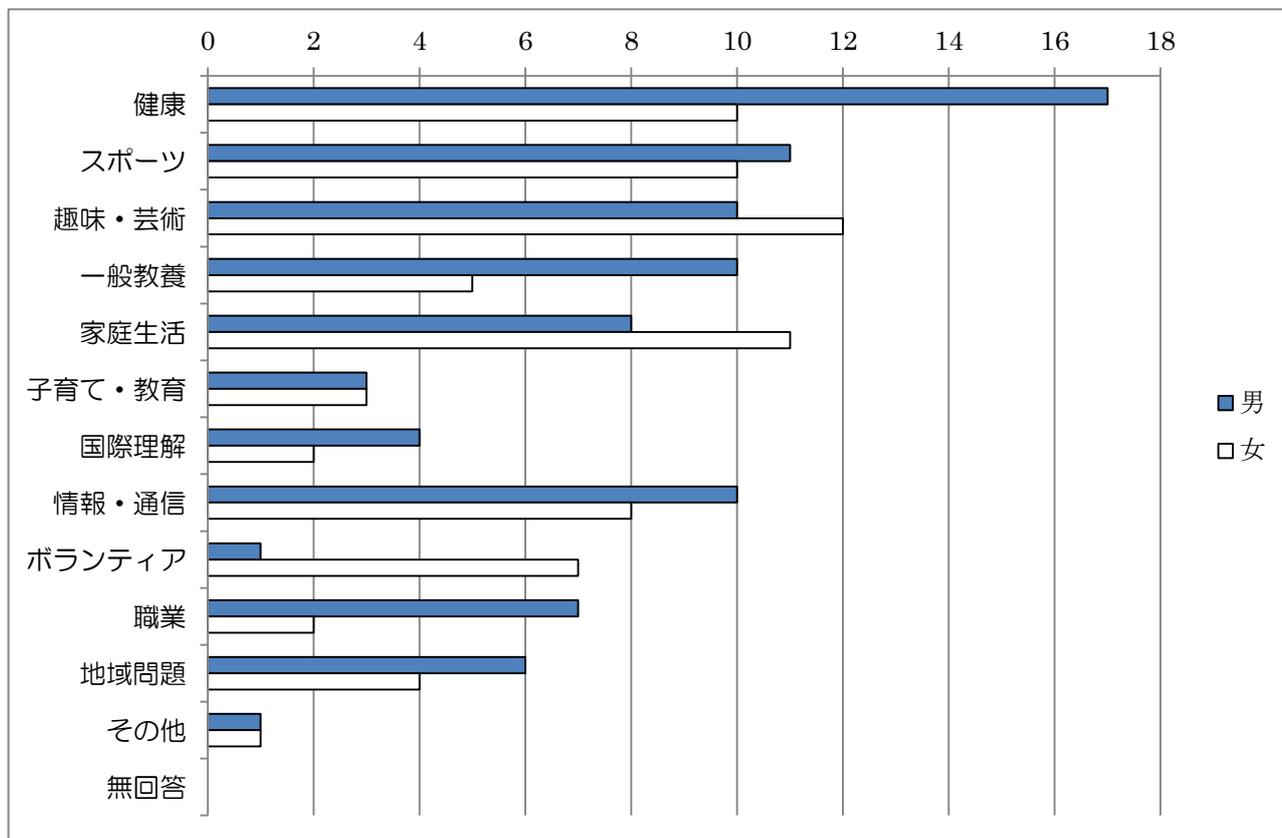
Q. あなたが学習活動をするとしたら、どのようなことを望みますか（3つまで）



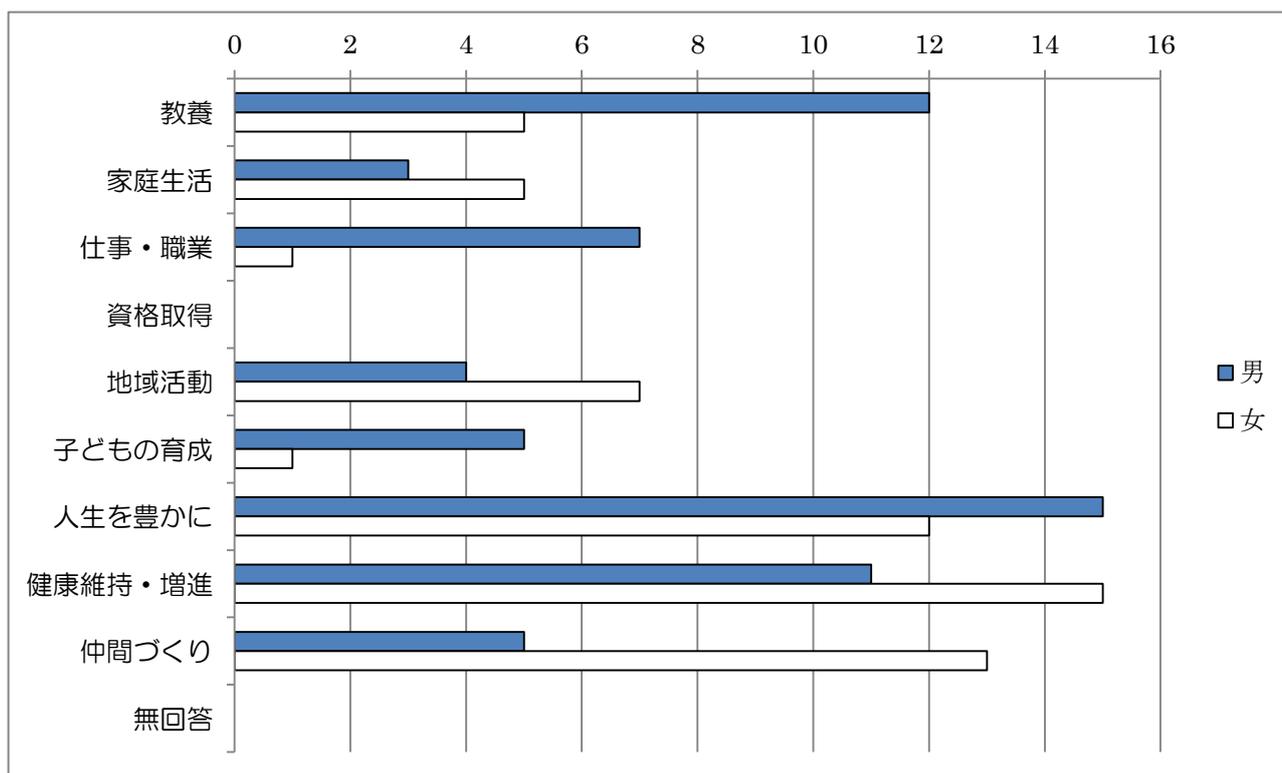
学習活動に関する町民アンケート（60代）

【回答者 男性 26名 女性 25名（合計 51名）】

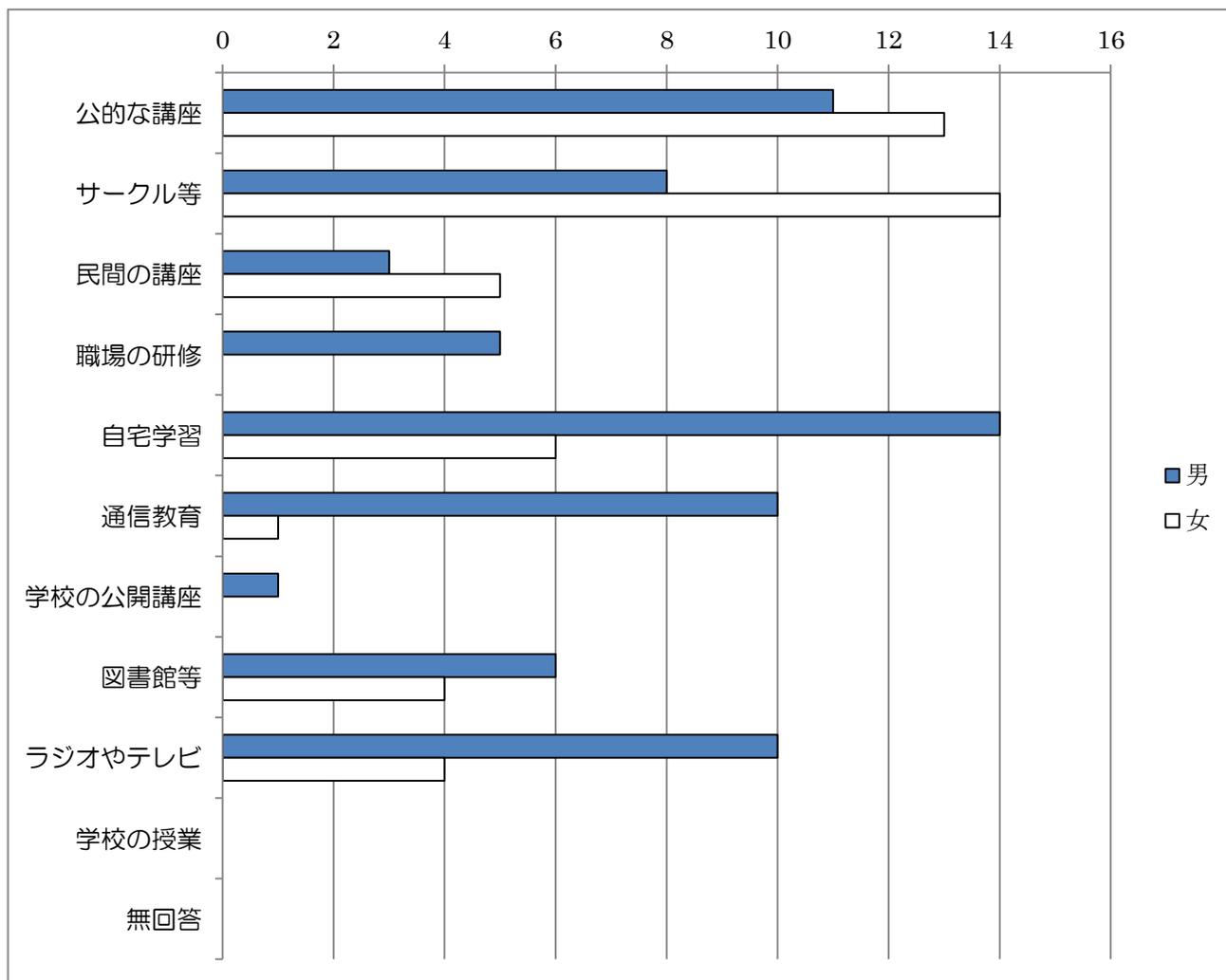
Q. あなたは、この一年くらいの間に行った学習活動について、次の中からあてはまるものを選びください。（複数回答可）



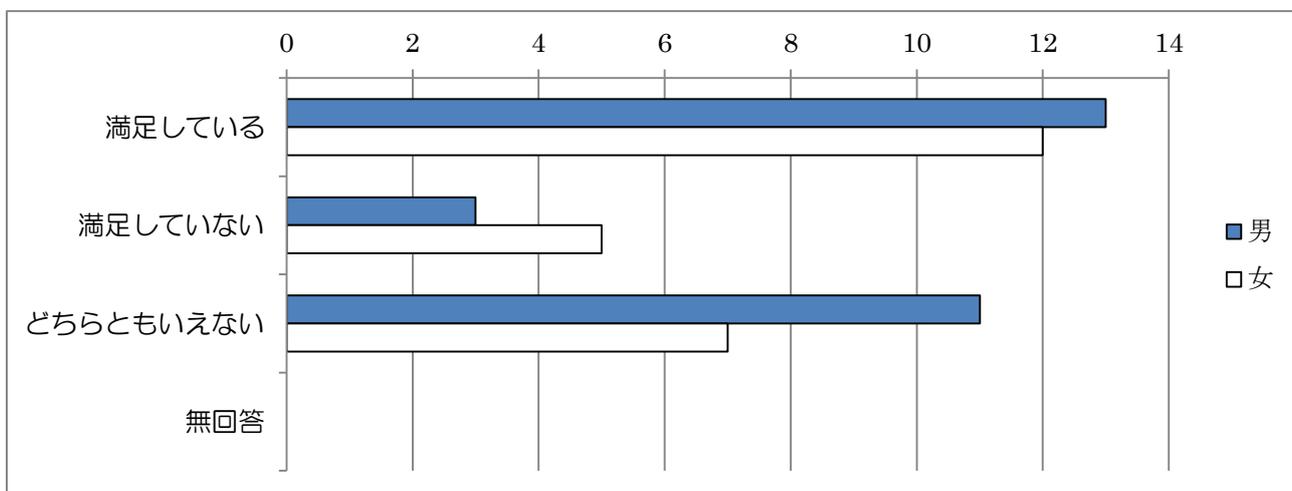
Q. あなたが、その学習活動を行っている理由は何ですか（3つまで）



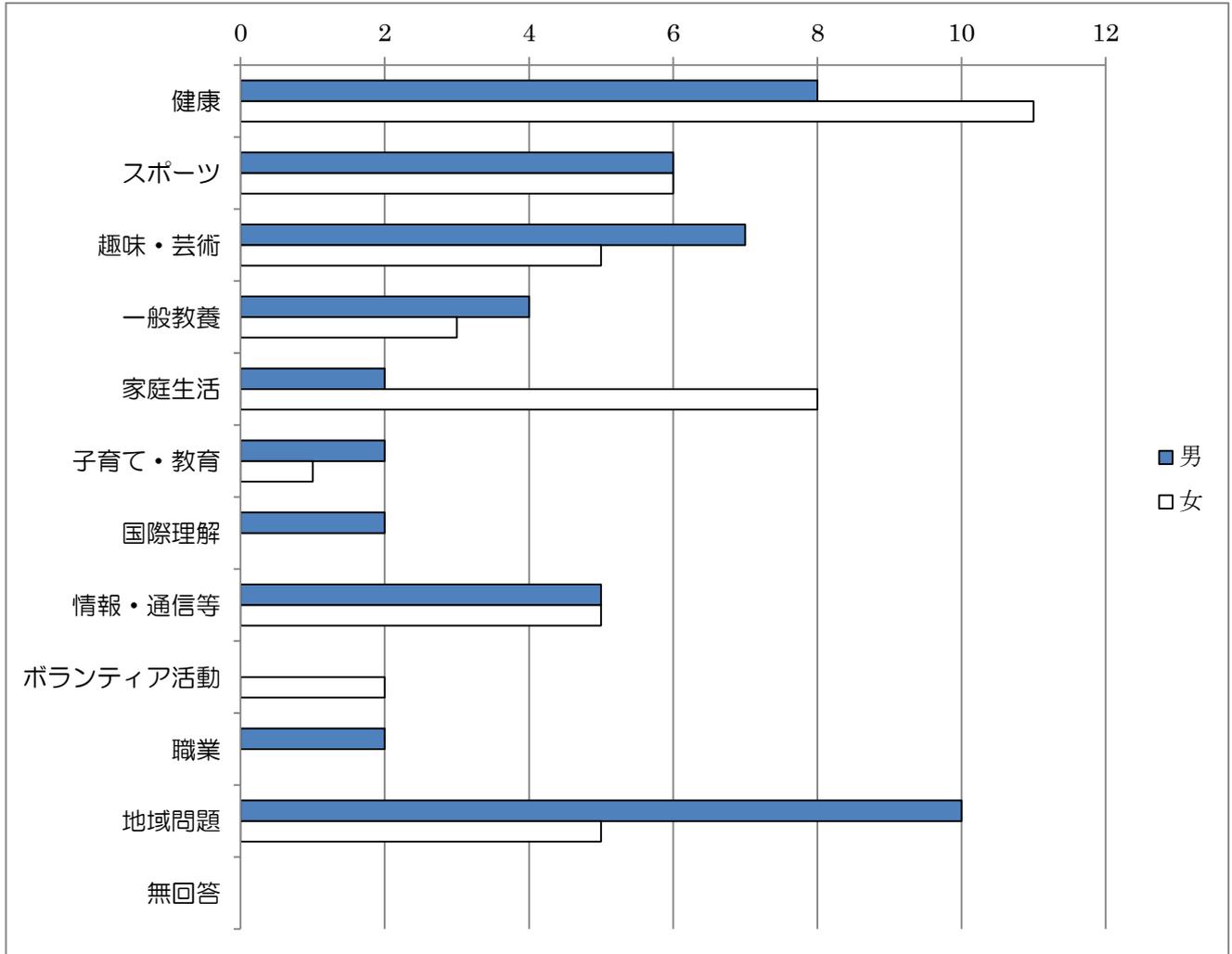
Q. あなたは、その学習活動をどのような場所や形態で行いましたか。次の中からあてはまるものをいくつでもお選びください。



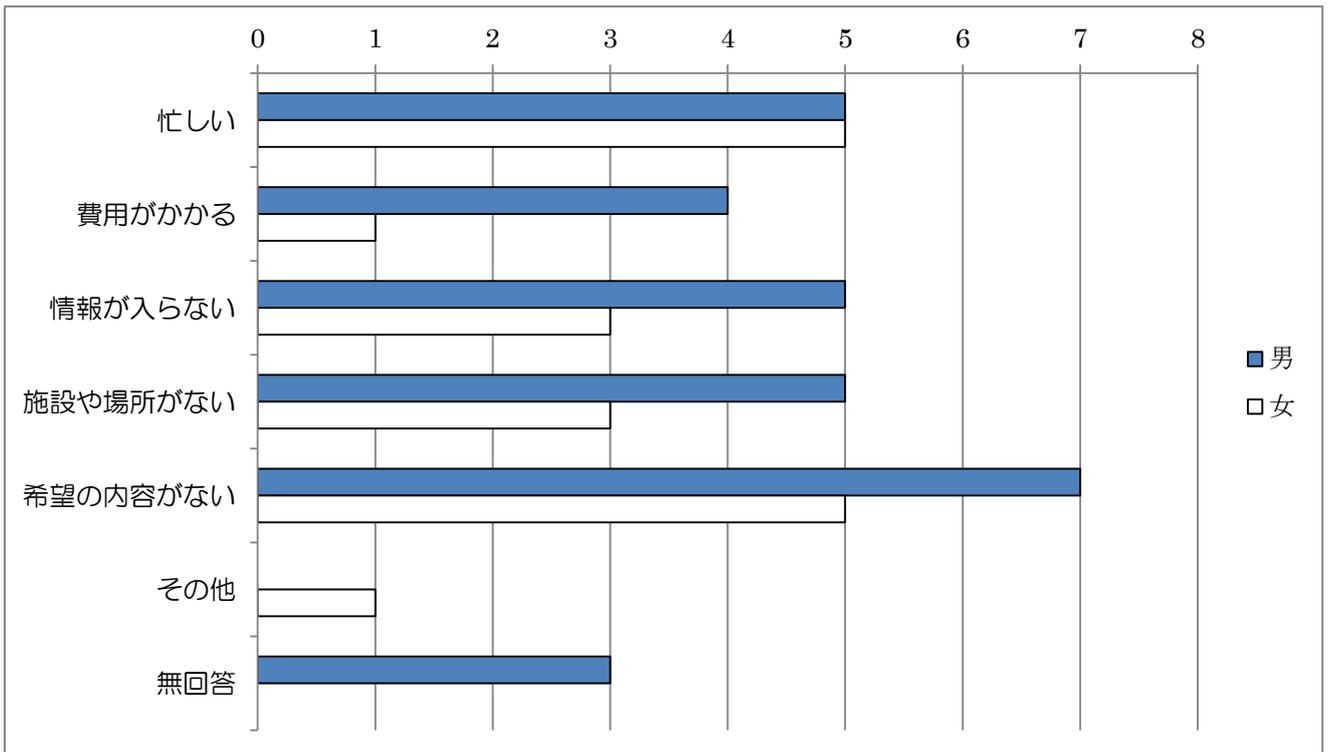
Q. あなたは、今の学習活動に満足していますか。



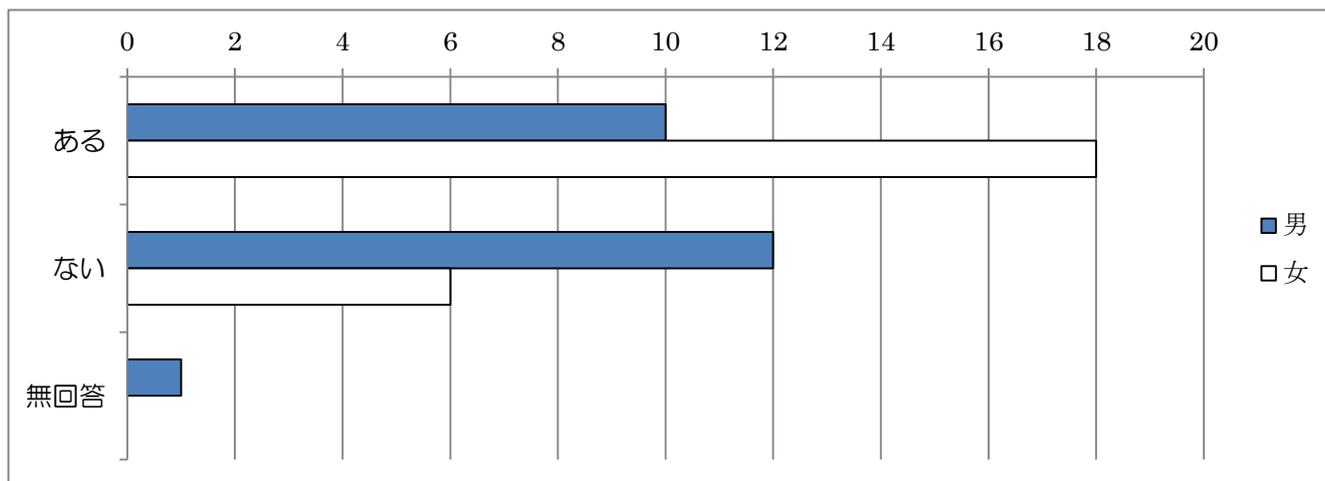
Q. 今行っている学習活動以外で、今後どんな学習活動を希望しますか（3つまで）



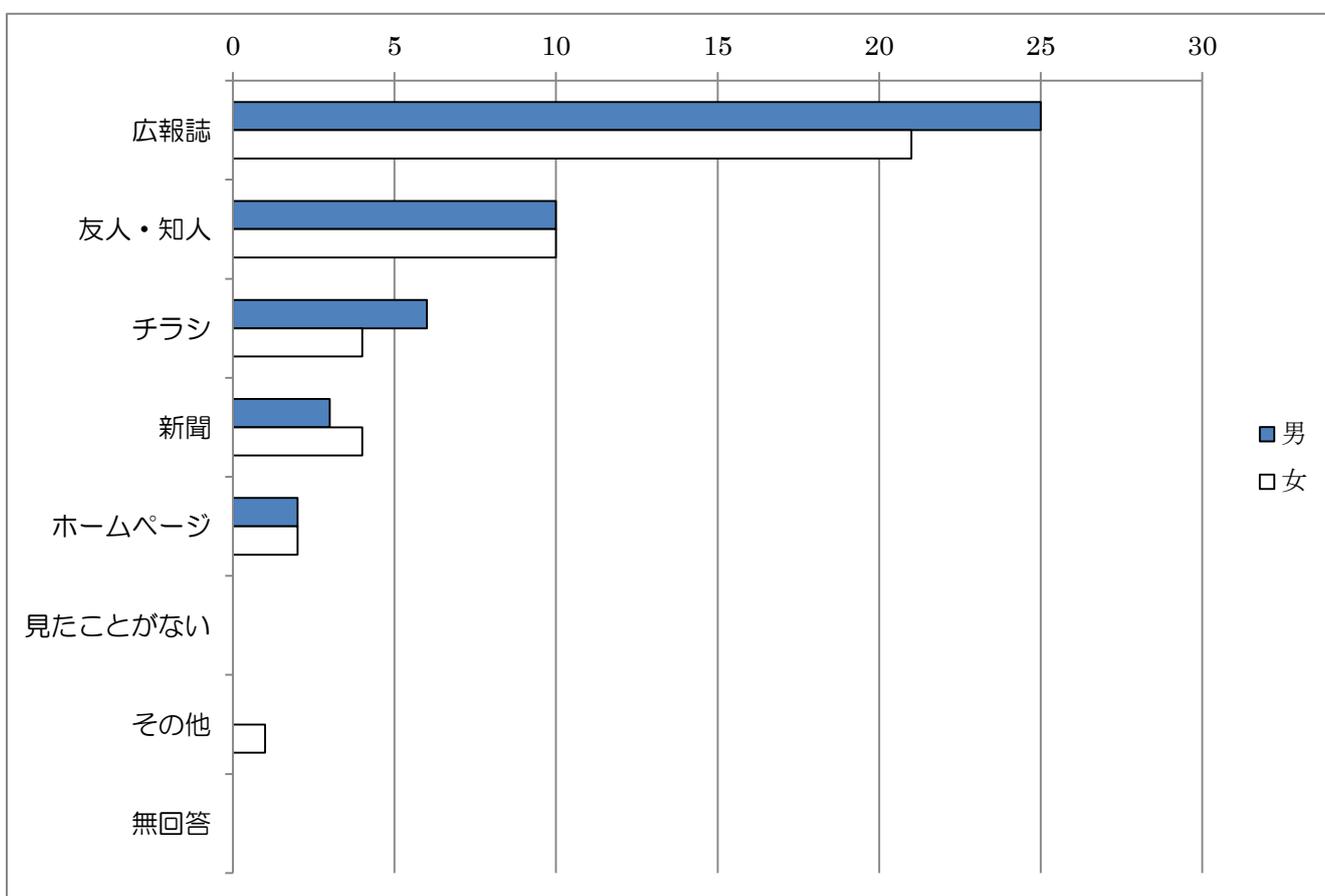
Q. あなたが学習活動を行うのに困ることがありますか（3つまで）



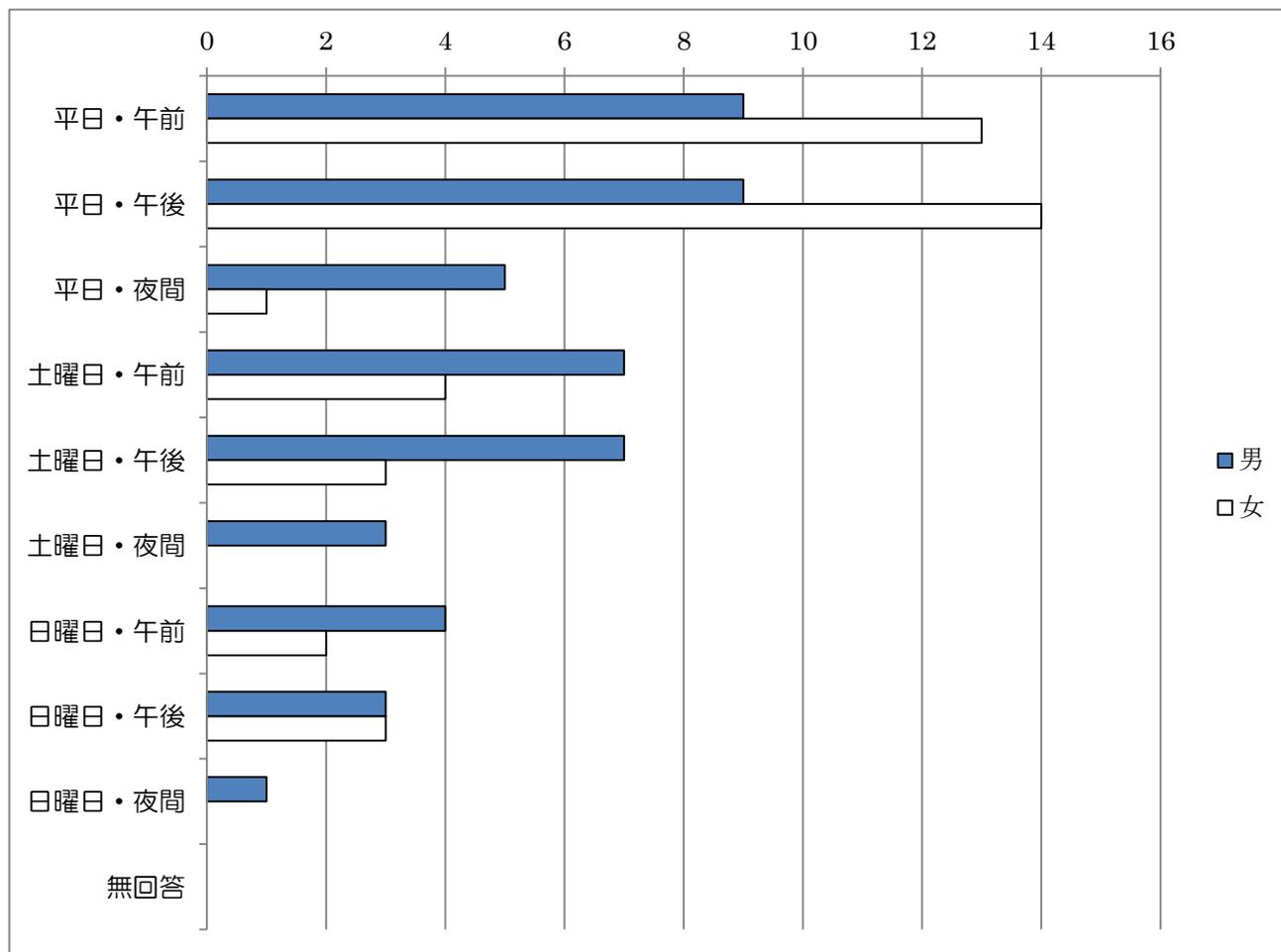
Q. 町が主催する教室や講座に参加したことがありますか



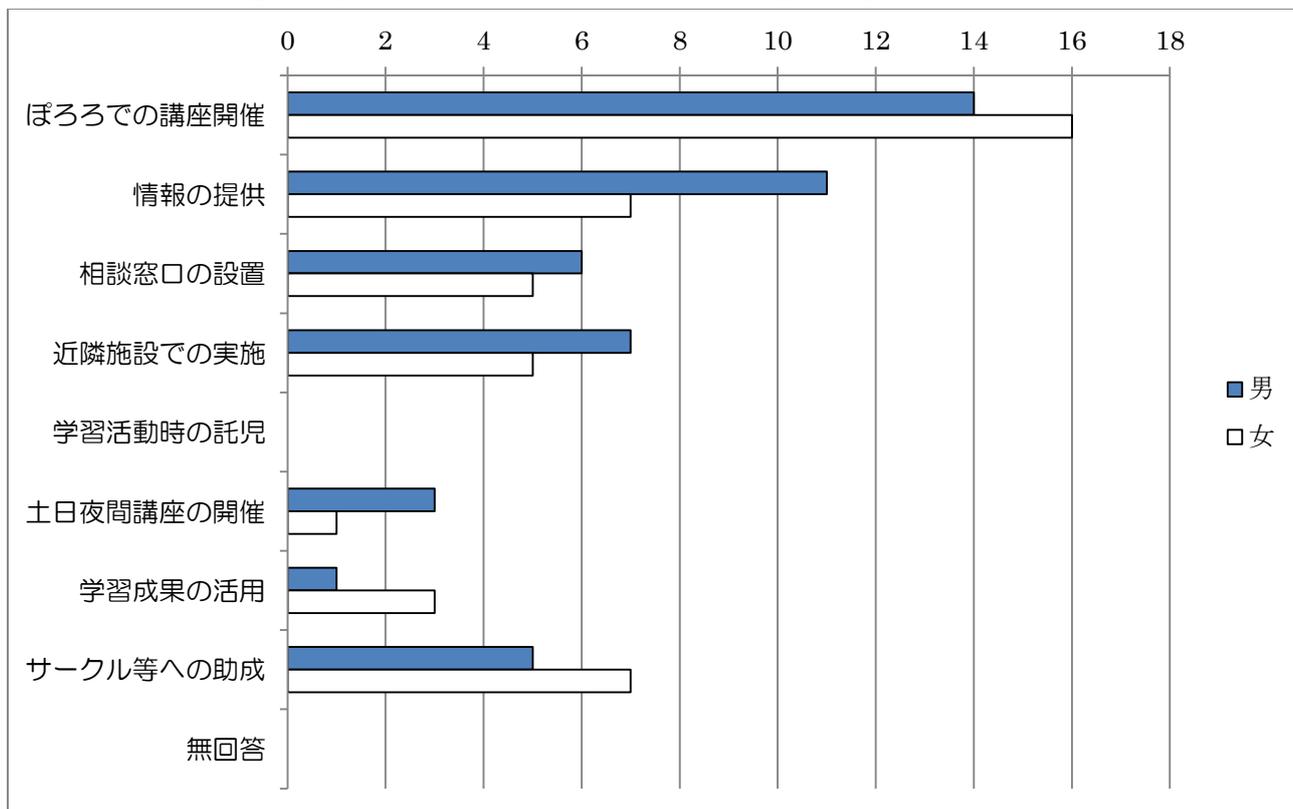
Q. 町が主催する教室や講座を何で知りましたか（3つまで）



Q. あなたが学習活動をするのに、都合のよい曜日と時間帯はいつですか（3つまで）



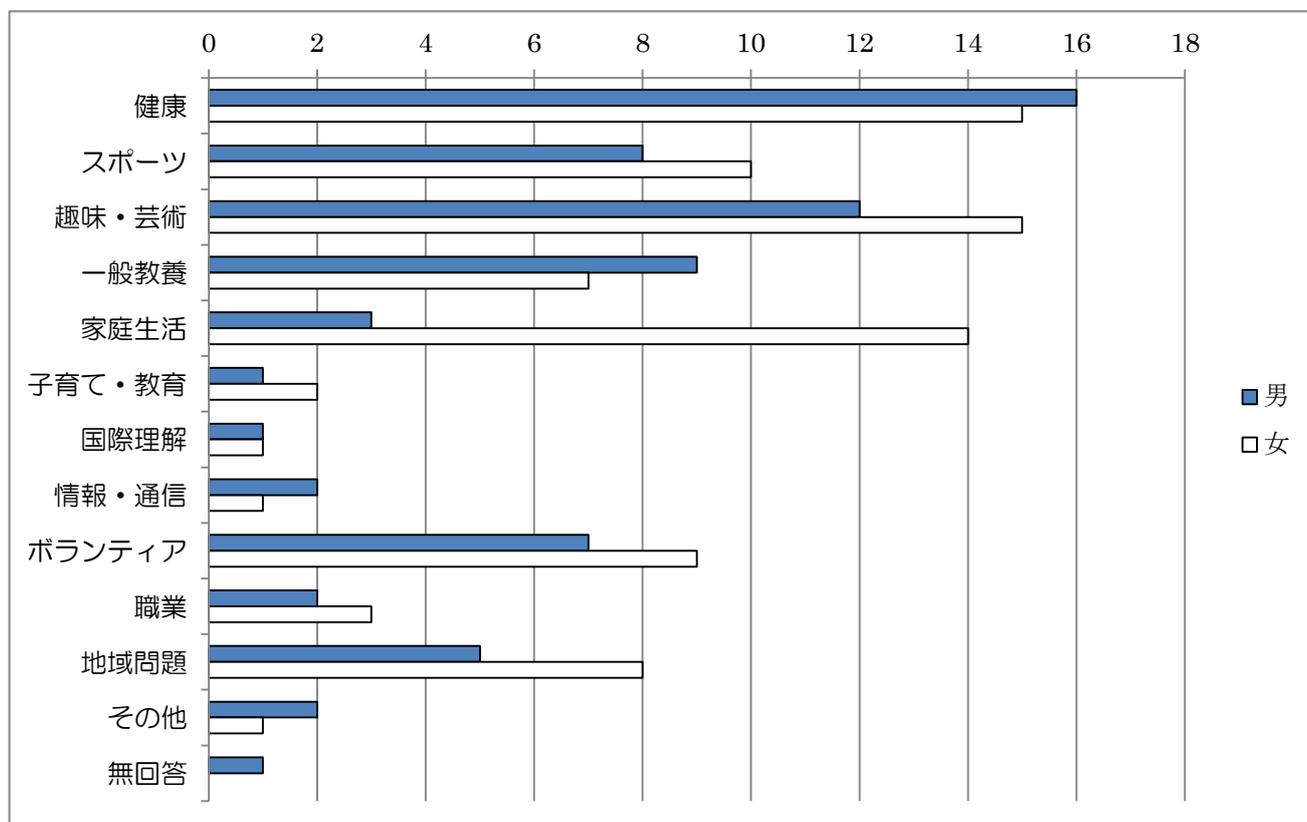
Q. あなたが学習活動をするとしたら、どのようなことを望みますか（3つまで）



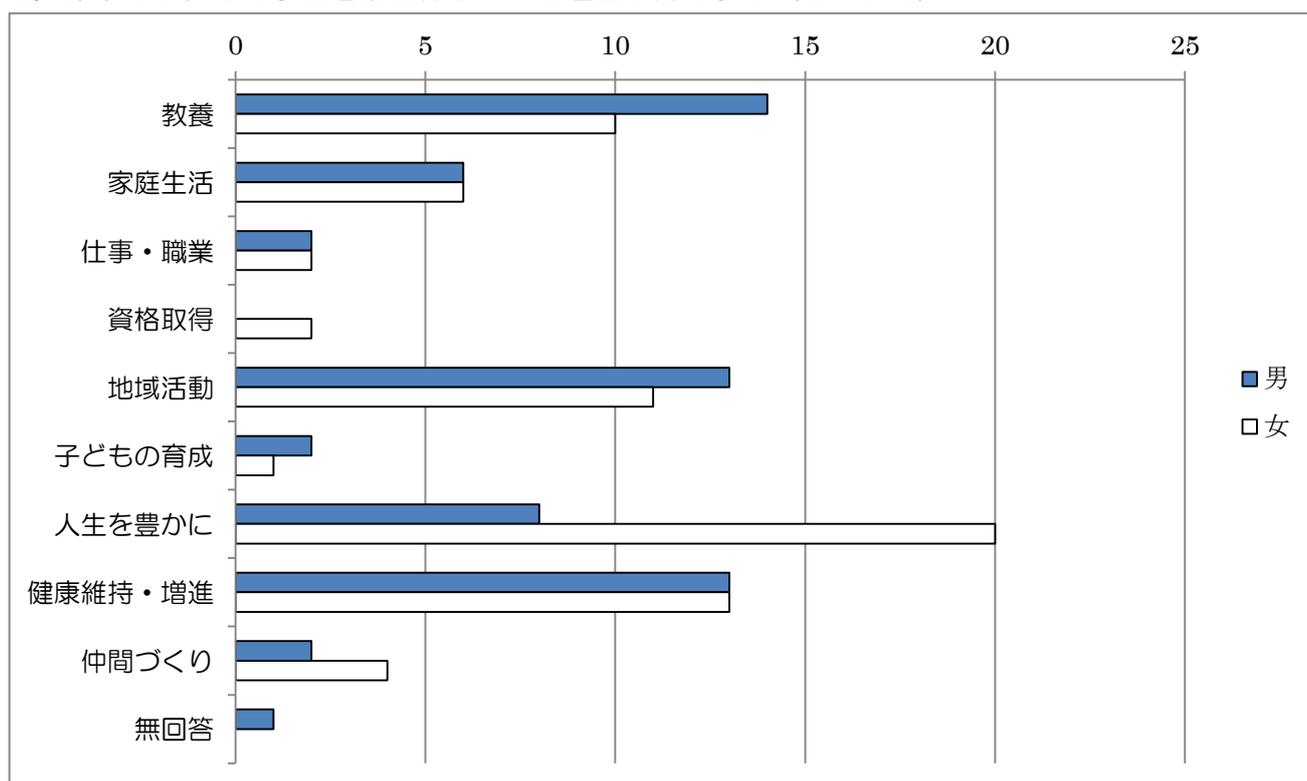
学習活動に関する町民アンケート（70代）

【回答者 男性 25名 女性 26名（合計 51名）】

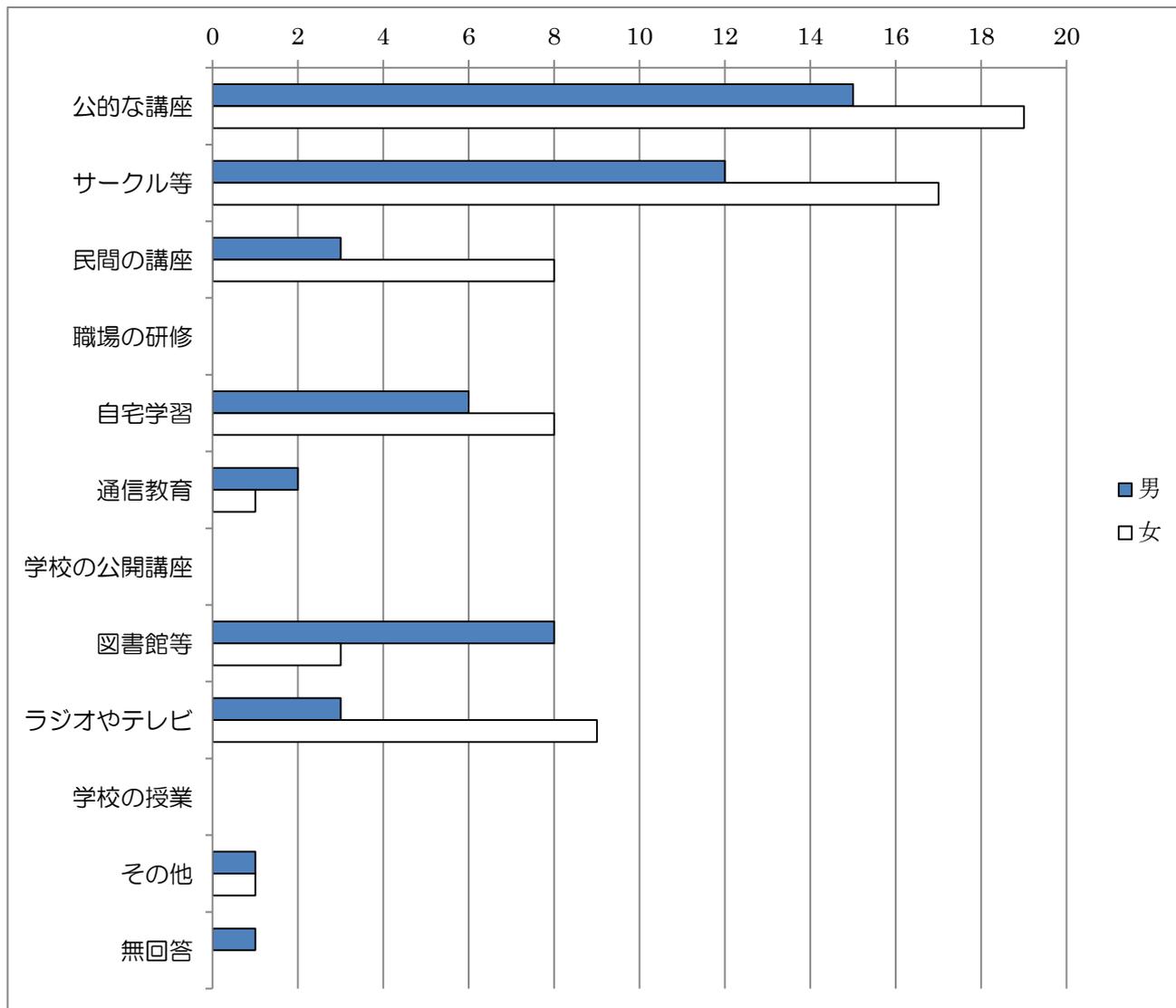
Q. あなたは、この一年くらいの間に行った学習活動について、次の中からあてはまるものを選びください。（複数回答可）



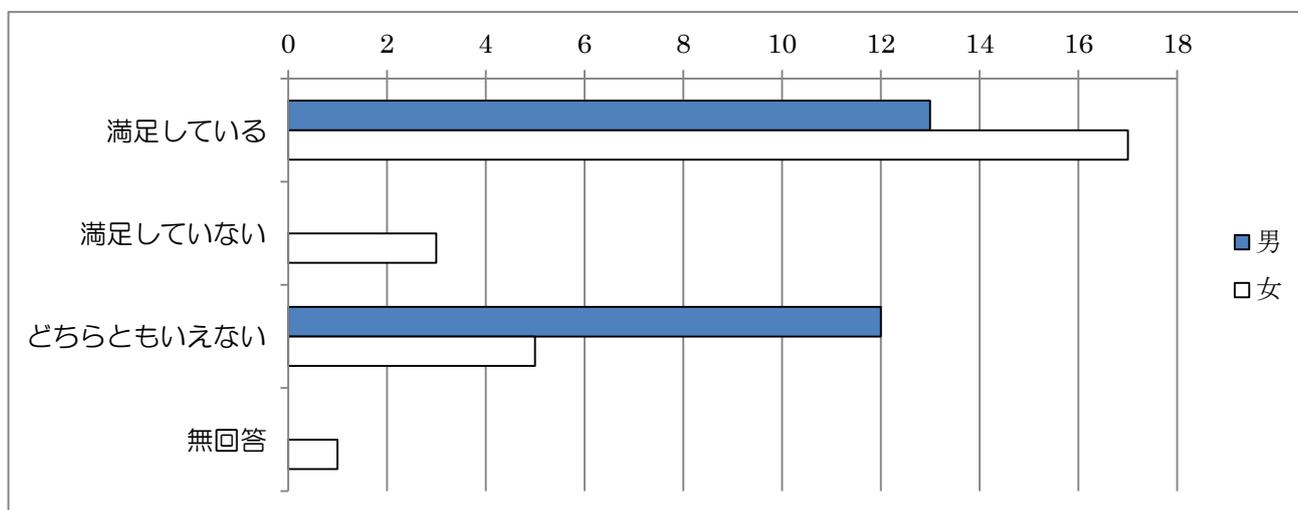
Q. あなたが、その学習活動を行っている理由は何ですか（3つまで）



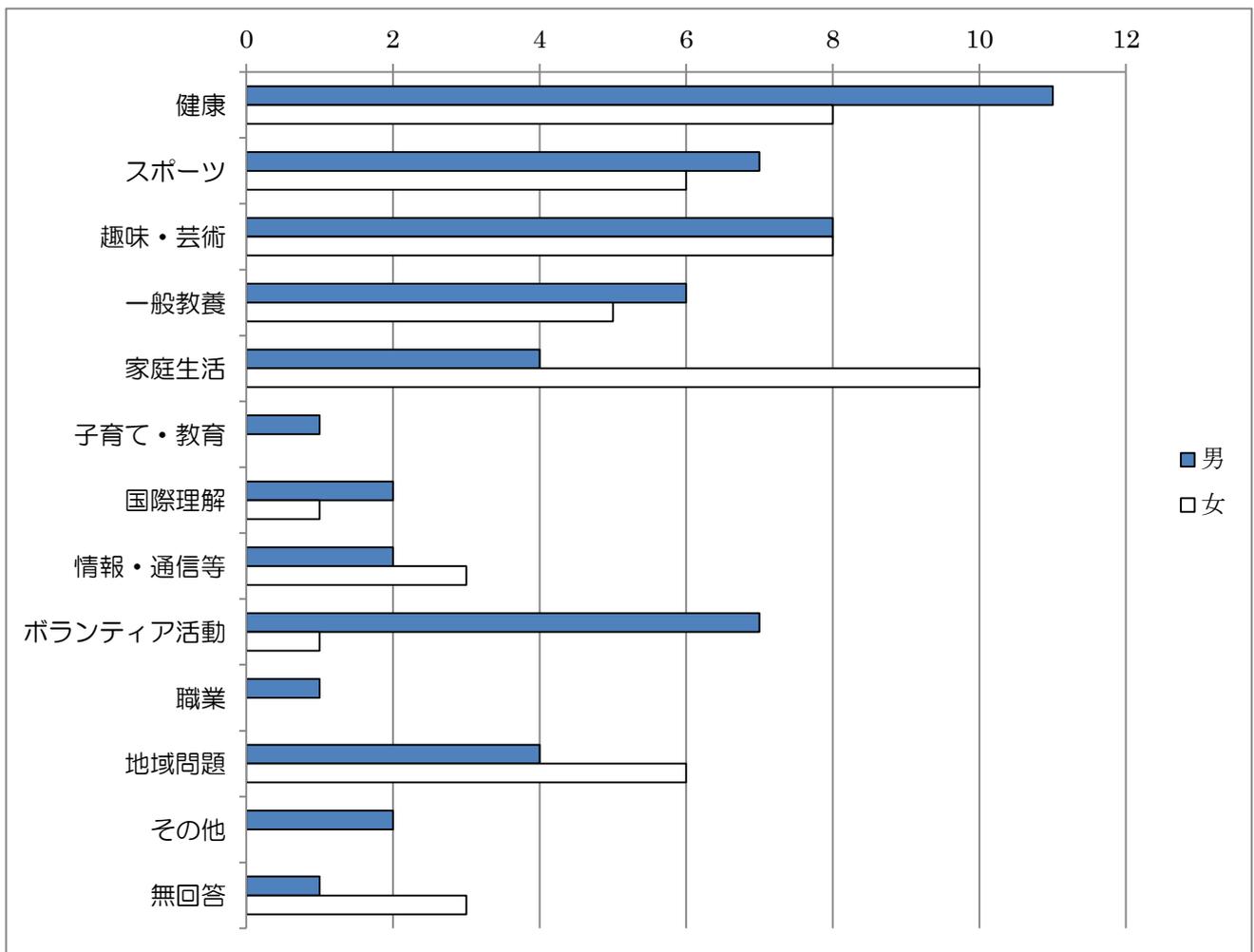
Q. あなたは、その学習活動をどのような場所や形態で行いましたか。次の中からあてはまるものをいくつでもお選びください。



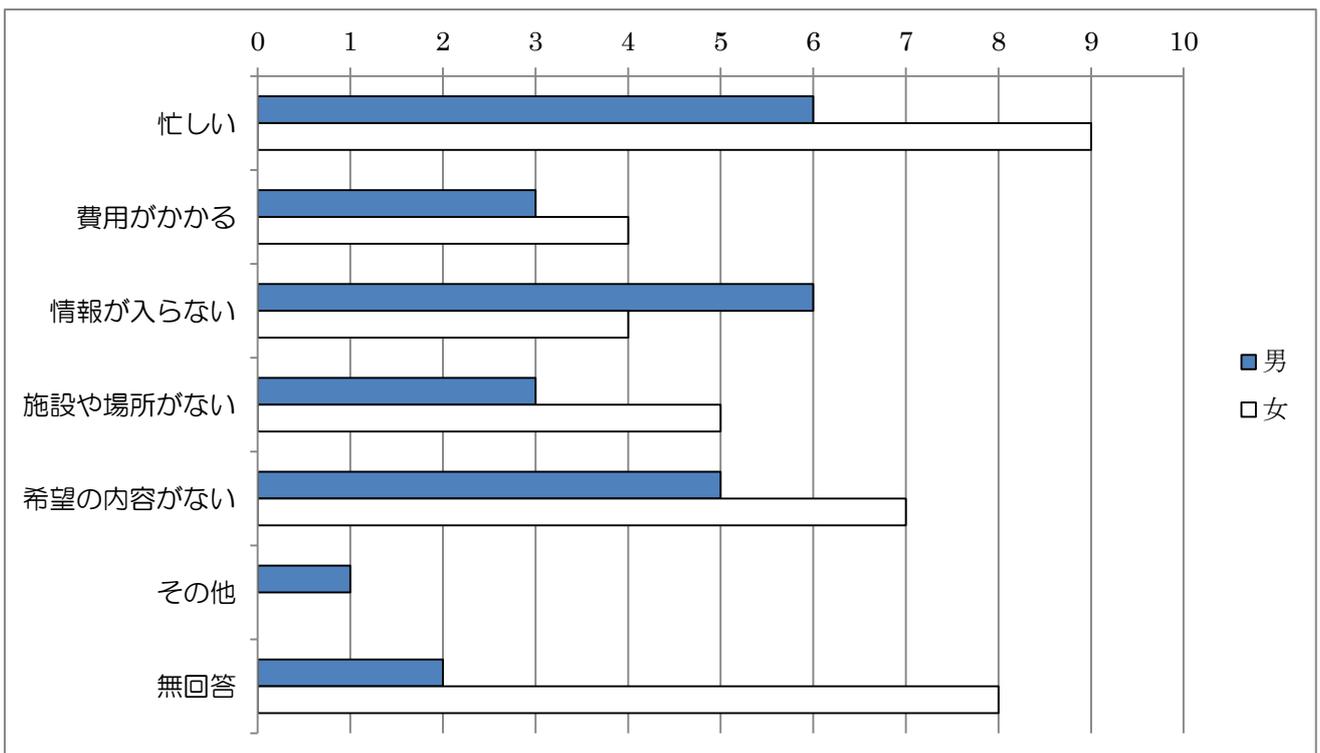
Q. あなたは、今の学習活動に満足していますか。



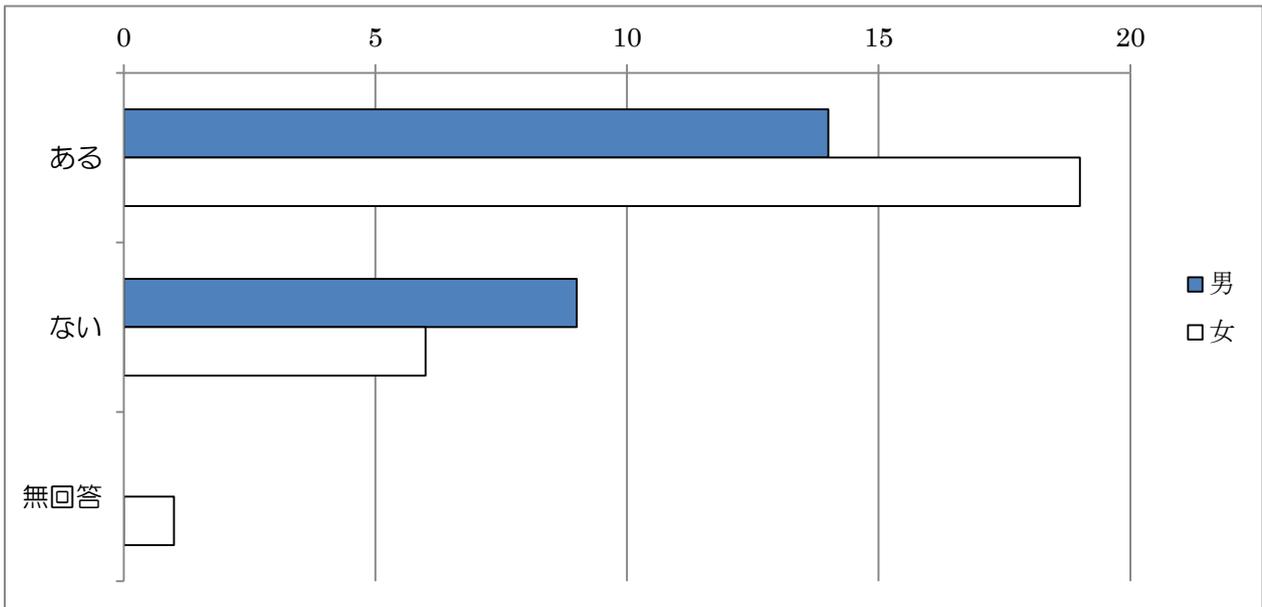
Q. 今行っている学習活動以外で、今後どんな学習活動を希望しますか（3つまで）



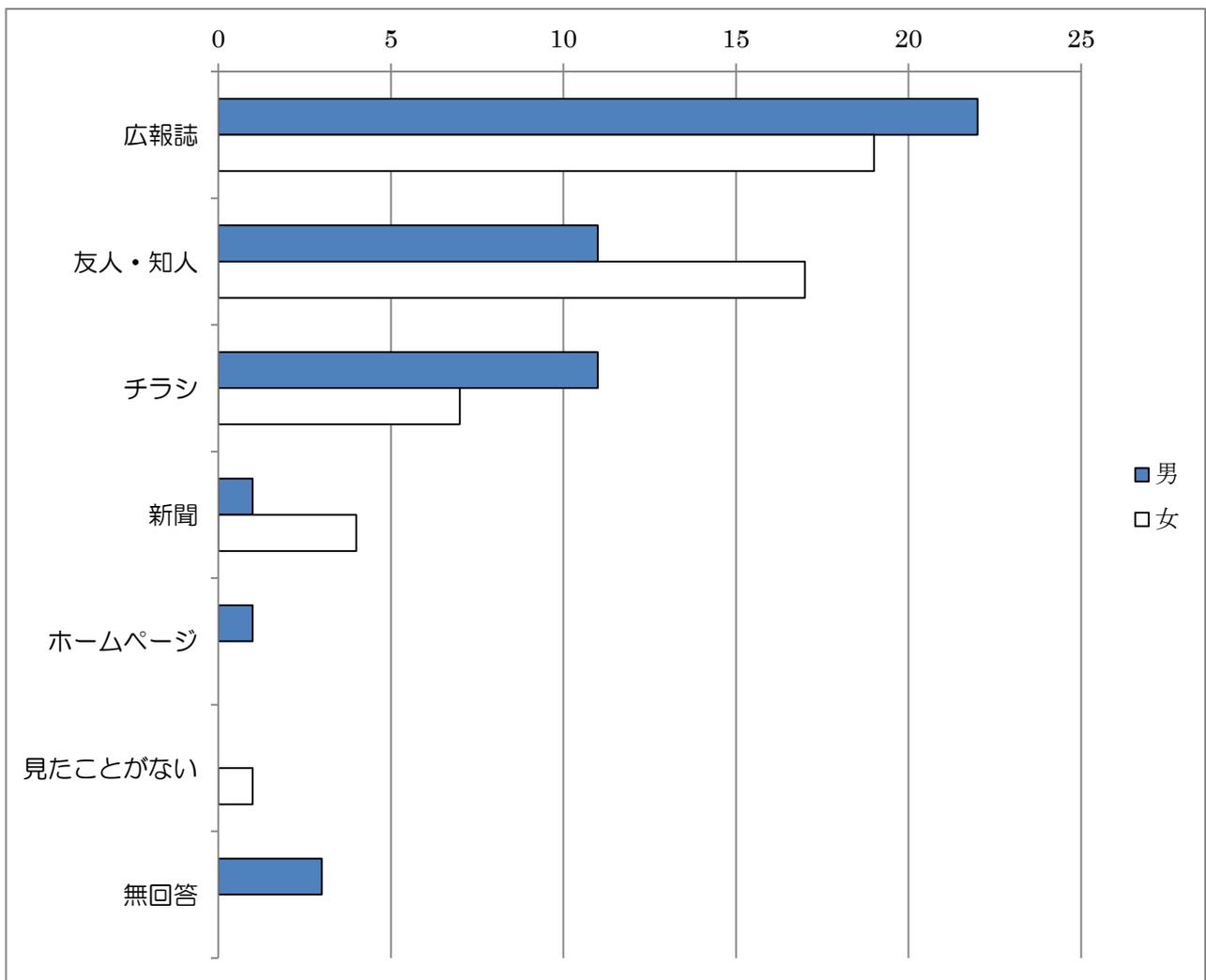
Q. あなたが学習活動を行うのに困ることがありますか（3つまで）



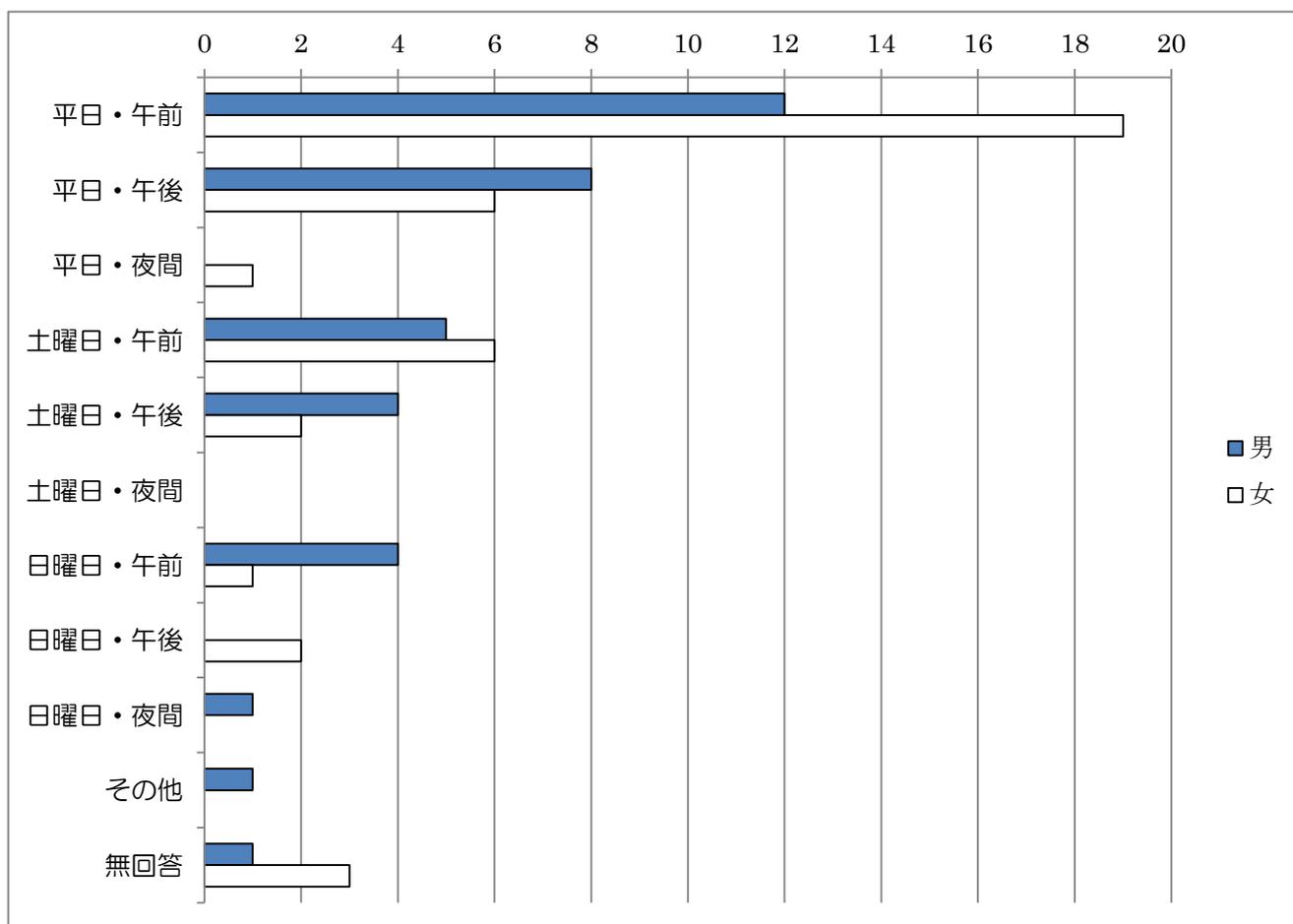
Q. 町が主催する教室や講座に参加したことがありますか



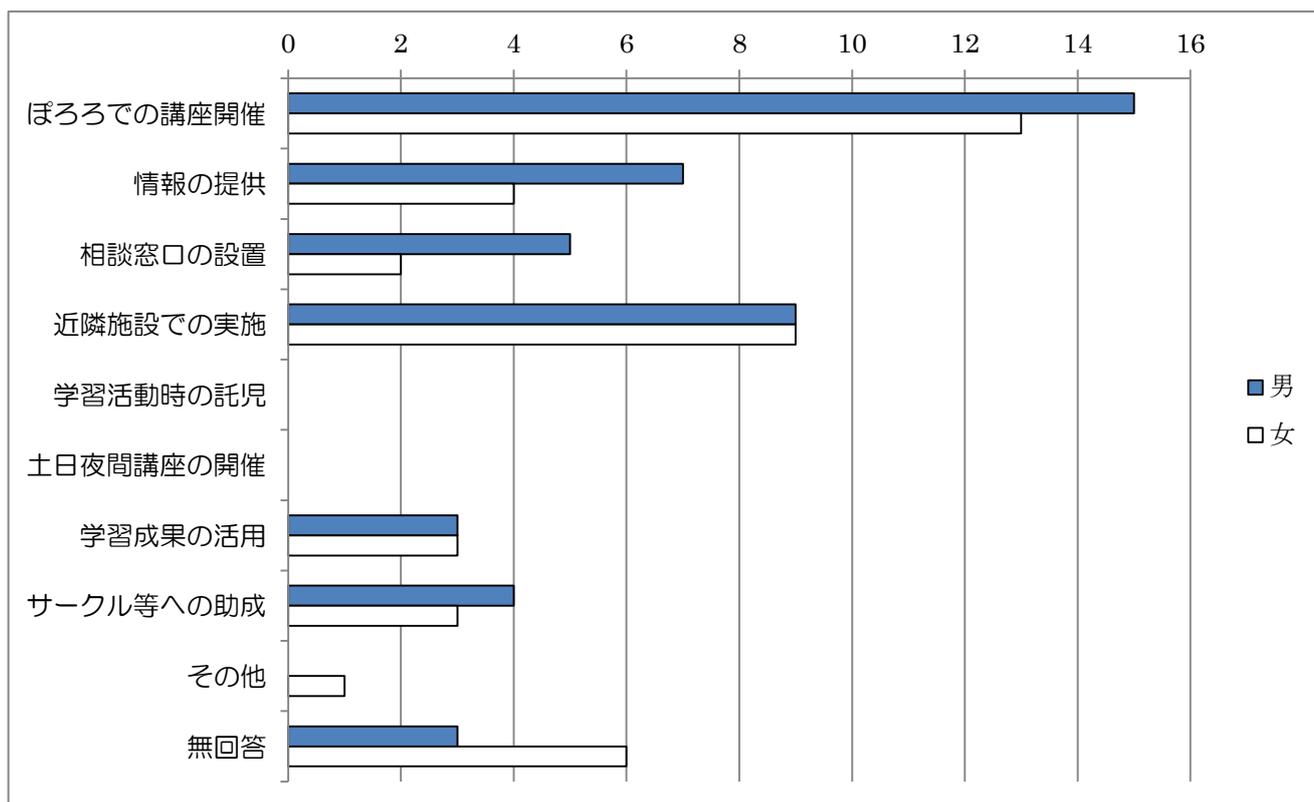
Q. 町が主催する教室や講座を何で知りましたか（3つまで）



Q. あなたが学習活動をするのに、都合のよい曜日と時間帯はいつですか（3つまで）



Q. あなたが学習活動をするとしたら、どのようなことを望みますか（3つまで）



**平成 29 年 4 月
発行 南幌町教育委員会**

〒069-0237

北海道空知郡南幌町栄町 3 丁目 3 番 1 号

TEL 011-378-6620 FAX 011-378-6630

<http://www.town.nanporo.hokkaido.jp>

編集 生涯学習課社会教育グループ